

早期実装にむけた先進的技術やデータを活用した
スマートシティの実証調査(その8)

調 査 報 告 書

令和4年9月

国土交通省 都市局

新潟市スマートシティ協議会

報 告 書 目 次

1. はじめに.....	1-1
1-1 対象区域の概要および課題について	1-1
1-2 コンソーシアムについて	1-3
2. 目指すスマートシティとロードマップ	2-1
2-1 目指す未来	2-1
2-2 ロードマップ	2-6
2-3 KPI	2-8
3. 実証実験の位置づけ	3-1
3-1 実証実験を行う技術・サービスのロードマップ内の位置づけ	3-1
3-2 ロードマップの達成に向けた課題および本実証実験の意義・位置づけ	3-4
4. 実験計画.....	4-1
4-1 実験で実証したい仮説	4-1
4-2 実験内容・方法および仮説の検証に向けた調査方法	4-2
4-2-1 公共空間等活用実証実験	4-3
4-2-2 施策の周知に係る取組み	4-16
5. 実験実施結果	5-1
5-1 プラットフォームの作成	5-1
5-1-2 公開用システム	5-2
5-1-3 管理者用システム	5-16
5-2 ホスト・コンテンツの募集	5-19
5-2-1 ホストの募集結果	5-19
5-2-2 コンテンツの募集結果	5-27
5-3 コンテンツの実施	5-30
5-3-1 コンテンツの実施内容	5-30
5-3-2 コンテンツの実施状況	5-34
5-4 仮説検証に向けた調査	5-38
5-4-1 ゲストの意向把握調査	5-39
5-4-2 ホストの意向把握調査	5-57
5-4-3 空間所有者の意向把握調査	5-70
5-4-4 人流データの解析	5-85
5-4-5 その他	5-90

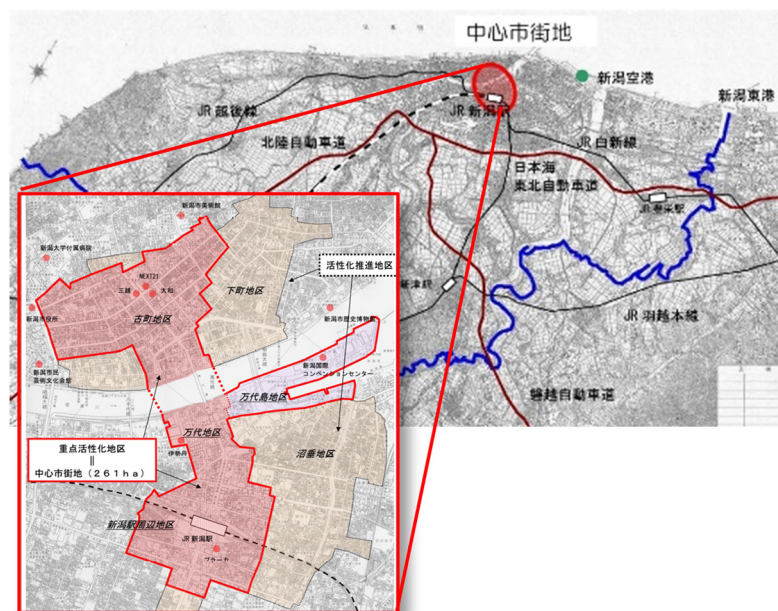
6. 横展開に向けた一般化した成果.....	6-1
6-1 仮説の検証と成果及び今後の課題	6-1
6-2 全体とりまとめ	6-43
7. まちづくりと連携して整備することが効果的な施設・設備の提案	7-1
7-1 提案施設・設備の提案	7-1
7-2 施設・設備の設置、管理、運用に係る留意点など	7-3

1. はじめに

1-1 対象区域の概要および課題について

(1) 区域の概要

対象区域は、人口 77 万 9 千人(令和 4 年 1 月末現在)を有する政令指定都市新潟市の中心市街地である。



▲対象区域

対象区域の概要

- ・ 名称：新潟市中心市街地(新潟駅周辺地区、万代地区・万代島地区、古町地区)
- ・ 面積：261ha
- ・ 人口：16,449 人(令和 2 年 4 月 30 日現在)

【新潟駅周辺地区】

- ・ 陸の玄関口である新潟駅を中心に大手事業所の本・支店等の業務系機能が集積し、ビジネス街の様相を呈している一方、近年では既成市街地の再開発も進んでいる。

【万代地区】

- ・ 昭和に入って大規模な商業開発が進み、百貨店や大規模集客施設が集積する商業地区である。
- ・ 大型店や立体駐車場が隣接している構造を活かし、各施設の二階部分をペデストリアンデッキで結んだことにより、地区内を回遊でき、人気ブランドショップも多いことから若い人にとって人気の高い地区である。

【古町地区】

- ・新潟湊が繁栄を極めていた時代から商業・業務の集積地であり、大型店と老舗小売店が中心となって、市外、県外からも買い物客が訪れる商店街である。
- ・市民の間ではかつては「まちに行く」とは「古町に行く」と同義であったほど、新潟市の顔となっている地区である。

【万代島地区】

- ・用途地域上では準工業地域となっているが、ここは同時に臨港地区でもあり、近年、都市における港の役割が見直され、賑わいを生む空間として整備が進んでいる。
- ・特に、コンベンション施設として平成15年にオープンした「朱鷺メッセ」が拠点機能を担っており、また、平成19年に移転した魚市場跡の活用等により、港の魅力を活かした集客効果が期待されている。

1-2 コンソーシアムについて

地方自治体	新潟市
民間事業者等代表	(株)NTT ドコモ新潟支店
有識者	新潟大学工学部教授 佐々木 重信 事業創造大学院大学
その他構成員	(株)BSN アイネット、木山産業(株)、 Gugenka®(株)シーエスレポーターズ、日本ユニシス(株)、 (株)ジェイアール東日本企画新潟支店、フラー(株)、 (一社)新潟県都市整備協会、(株)福山コンサルタント東京支社、 新潟古町まちづくり(株)、東京海上日動火災保険(株)、 ソフトバンク(株)、OpenStreet(株)、エヌシーイー(株)、 あいおいニッセイ同和損害保険(株)新潟支店、 富士通 Japan(株)新潟支社、(株)ナカノアイシステム、 日本電信電話(株)新潟支店、太陽交通(株)、太陽交通新潟(有)、 新潟商工会議所、(株)第四銀行営業本部、東日本旅客鉄道(株)新潟支社、 グリーン産業(株)、佐渡汽船(株)、新潟駐車協会、(株)国際総合計画、 新潟市ハイヤータクシー協会、グローリー(株)新潟営業所、 (公財)新潟観光コンベンション協会、(一社)新潟市医師会、 (一社)新潟 MICE サポート ※順不同
オブザーバー	新潟国道事務所、信濃川下流河川事務所

2. 目指すスマートシティとロードマップ

2-1 目指す未来

(1) 区域の目標

本取り組みでは、地域ストック(施設、空間、文化)を活かしたアイデアが次々に具現化される「クリエイティブシティ」の実現を目指す。

クリエイティブシティの実現により、まちなかでのアクティビティが充実して来街者の満足度やQOLが最大化するとともに、まちなかならではのクリエイティブなコンテンツの充実により、様々な価値観の対流を促進し、まちなかの賑わい創出を図るものである。

まちなかの賑わい創出の仕組みを実装



目標とする効果

まちなかでのアクティビティの充実により来街者の満足度やQOLが最大化

まちなかならではのクリエイティブなコンテンツが充実し、様々な価値観の対流が促進

賑わい創出

▲クリエイティブシティ実現の全体像

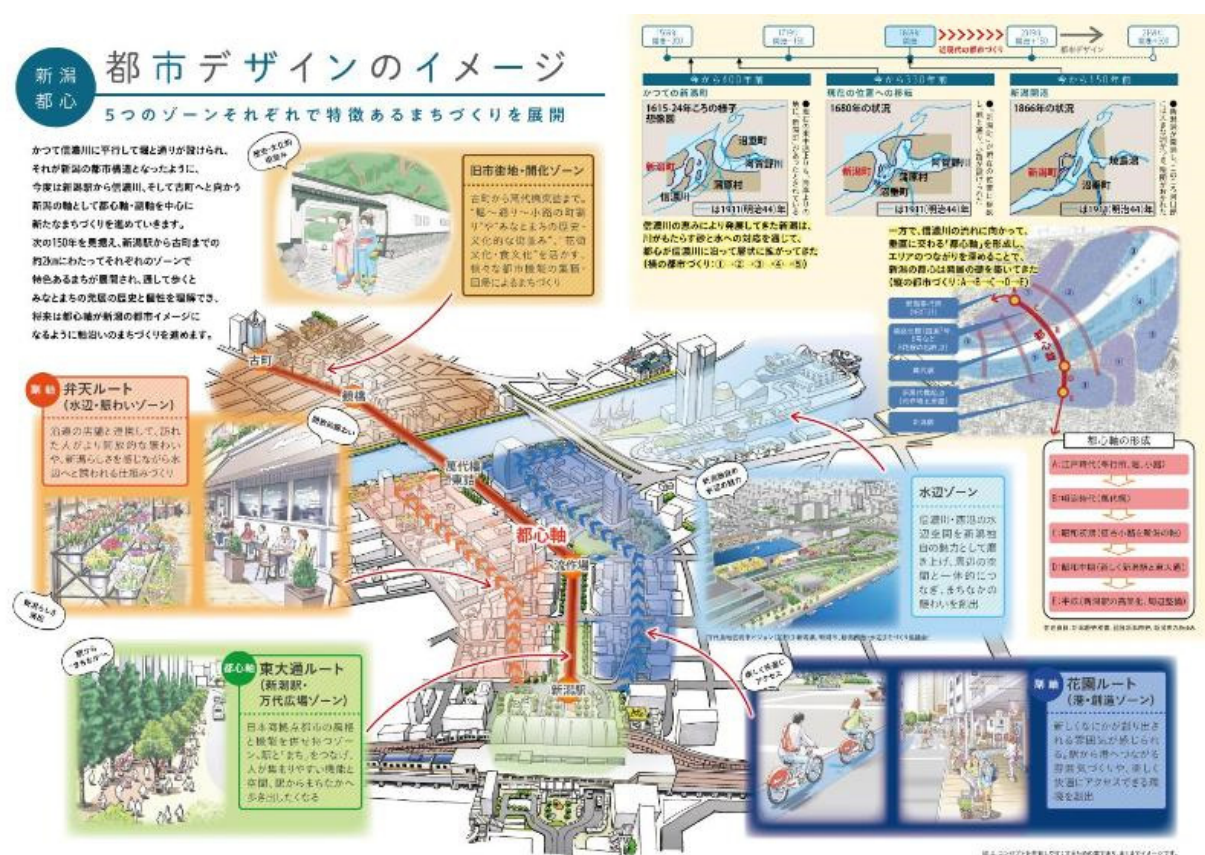
※(参考)区域における関連ビジョン

区域のまちづくりに関し、以下のビジョンが掲げられており、本スマートシティの取り組みとの親和性も高いことから、本スマートシティの取り組みは当該ビジョンとの整合性にも配慮しつつ、互いに連携しながら区域の目指すまちづくりの実現を目指す。

◆新潟都心の都市デザイン

2019年の開港150周年や新潟駅のリニューアル等、まちづくりの節目を契機として、新潟市の魅力向上や暮らしをより豊かなものとするため、これから先150年を見据えた都市デザインとして描かれたものである。

これまでの都市の歴史の中で、現在に至るまでの都市構造の変遷を振り返り、これから先150年を見据えた都市デザインとして理念がまとめられており、それぞれの特徴を有するゾーンと、新潟駅～古町地区を結ぶ都心軸及び都心軸を補完する副軸が都市の目指すビジョンとして描かれている。



出典：新潟都心の都市デザイン

▲新潟都心の都市デザイン

◆にいがた2km(ニキロ)

新潟駅、万代、古町を結ぶ都心軸(ほぼ2km)沿線エリアを中心としたまちづくりを官民連携で進めるため、当該エリアについて親しみやすい呼称とロゴが新潟市より発信されており、今後都心軸を中心にまちなかの活性化を図っていくものとして、本取組みの内容と親和性の高いビジョンが掲げられている。

「選ばれる都市 新潟市」の実現に向け、「新潟市都心のまちづくり推進本部会議」での検討を通じ、関係団体・企業からの意見も参考し、【「にいがた2km」の覚醒】を策定している。基本方針における推進項目のひとつに、「産業DX、ICT推進の先進エリアとしての取組強化」や「くつろげる 歩いても楽しい都市空間の実現」が挙げられている。



出典：新潟市HP

▲にいがた2km

都心のまちづくり 【「にいがた2km」の覚醒】
2km
未定稿

～市民とともに「かわ・まち・みなと」で紡ぐ過去から未来への成長エンジン～

1. 歴史の継承 ○ 江戸時代には、北前船の最大の寄港地となるなど、人・物・文化が交流する日本海側最大の湊町として繁栄し、幕末の開港五港にも選ばれた。その風情や趣は現在に受け継がれている。 ○ 日本海側初の特定重要港湾の指定や、地方空港初の国際空港指定、上越新幹線の開通や、高速道路網の整備など、産業や交通のインフラ整備が着実に進められてきた。 ○ 2007年には本州日本海側で唯一の政令指定都市となり、さらなる拠点性の向上に向けた施策を推進してきた。	6. 基本方針における推進項目 Ⅰ. 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり 官民協働による「稼げる都心づくり」を推進し、その成長エネルギーを全市域へ波及。 ① 都市機能の更新・充実に向けた都心部の再開発促進（都市再生緊急整備地域の活用） ② 戦略的な企業誘致の推進 ③ <u>産業DX、ICT推進の先進エリアとしての取組強化</u> ④ 歴史・文化・スポーツを通じた賑わいの創出 ⑤ 観光資源を活かした交流人口の拡大 Ⅱ. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる 新たな価値の創造 都市と田園が調和する本市の魅力発信と、異業種間の協業・変革を進め、次世代に向けたまちづくり。 ① 「新潟の食と花」の魅力発信 ② 「儲かる農業」の推進 ③ 新たな価値やビジネスが創出される環境づくり ④ 観光資源を活かした交流人口の拡大【再掲】 Ⅲ. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり 都市緑化の推進、道路空間・水辺空間の有効活用など、ゆとりと潤いのあるまちづくり。 ① 信濃川やすざぎ堤の魅力をも十分に活かした賑わいの創出 ② <u>くつろげる 歩いても楽しい都市空間の実現</u> ③ 良好な都市景観の形成
2. 本市の現状・課題 ① 新潟駅周辺整備事業の進展 ② 都心エリアで民間開発の兆し ③ 若い世代の県外流出と人口減少 ④ 古い建築物の更新の停滞 ⑤ 進出企業のニーズを満たすオフィス床の不足	3. 時代の要請 ① ウィズコロナ・アフターコロナへの対応 ② SDGs(持続可能な開発目標)の実現 ③ ゼロカーボンの推進(脱炭素社会の実現) ④ デジタル化の進展
4. 【「にいがた2km」の覚醒】へ みなとまち新潟を象徴する信濃川と萬代橋から広がる「都心エリア」において、高度都市機能の集積や魅力の創出、賑わいづくりを市民の皆様と一体で取り組むことで、『緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア』を創造し、8区のネットワーク強化を図りながら、『本市経済・産業の発展を牽引する成長エンジン』としていく取組を推進。	
5. 都心のまちづくり基本方針 三本の柱 Ⅰ. 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり Ⅱ. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる 新たな価値の創造 Ⅲ. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり	

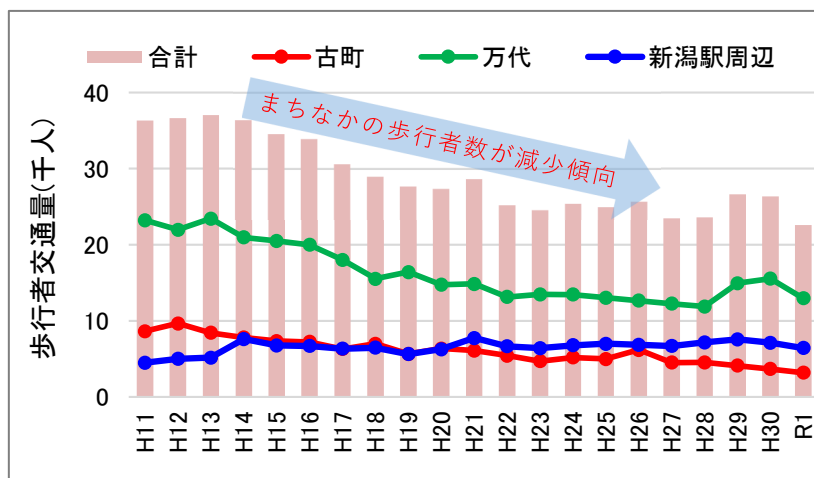
出典：新潟市HP

▲「にいがた2km」の覚醒

(2) 区域の課題

1) 区域の現状

区域内の主要断面における歩行者交通量の推移をみると、新潟駅周辺では横ばい傾向にあるのに対し、古町地区及び万代地区では減少傾向にあり、区域全体としても減少傾向にある。



出典：新潟市商店街連盟による歩行者通行量調査結果

▲区域内主要断面での歩行者交通量の推移(各地区1箇所あたり)

一方で、本区域には商業施設、文化・歴史施設、観光施設、緑地等多様な拠点が点在しており、豊富な地域ストックを有している。



▲区域周辺の地域ストックの分布

2) 区域の課題

区域の現状から、本取組みで対象とする区域の課題を以下のように設定する。

また、以下の課題を解決するため、地域が保有するアイディアの実行を後押しする「アドバイザーツール(スマート・プランニング)」と、創出したコンテンツを来街者に届ける「まち全体で共有する統合媒体(統合アプリ)」からなる「地域ストック活性化ツール」を、地域が主体で活用できるように実装することを目指す。

課題 1

既存ストック(施設、空間、文化)の最大活用

課題 2

点在するストックを結びつけるモビリティ環境の整備

課題 3

地域や民間による自発的・独創的なコンテンツの創出

目標とする効果

まちなかでのアクティビティの充実により来街者の満足度や QOL が最大化

まちなかならではのクリエイティブなコンテンツが充実し、様々な価値観の対流が促進

「地域ストック活性化ツール」の地域実装を実現

地域が主体で活用できる
地域ストック活性化ツール



▲区域の課題及び課題解決を図る地域ストック活性化ツール

2-2 ロードマップ

本スマートシティの実現に向けた施策とロードマップおよびスケジュールは以下の通りである。

地域ストック活性化ツールの実装

データ駆動型コンテンツ統合アプリの開発

スマート・プランニングの実装

都市情報基盤(動的データプラットフォーム)の構築

このツールの活用を軸に・・・

新たなまちづくりの仕組みの実装

スマートなインセンティブ付与

あらゆる空間を活用した集客系コンテンツの創出

レンタサイクルの高度化

来街者への情報発信・レコメンド

公共空間、空き地・空き家活用促進プラットフォーム

ヘルスケア・ビューティーケアプラットフォーム

新潟市版 MaaS および新たなモビリティの導入

▲個別の取組み内容(実行計画策定時点)



▲実行計画のロードマップ及びスケジュール(実行計画策定時点)

2-3 KPI

- ・プロジェクトの実施による区域の課題解決及び目標の達成状況を評価するため、実行計画全体としてのKPIを下表の通り設定する。
- ・KPI設定の考え方として、本実行計画で全体の目標としているまちなかの賑わい創出の達成に対し「来街者の視点」及び「地域関係者・事業者の視点」の両面の活性化が重要と考えており、これら両面の視点により計画の進捗管理を行っていくものとし、また、成果重視の進捗管理を行う観点から、アウトカム指標を用いるものとする。
- ・具体的なKPIの設定として、「来街者の視点」については、来街者の満足度を直接アンケート等により調査することが考えられるが、現状ではこのようなアンケートを定期的な実施できる体制が整っていない状況である。
- ・一方で、既往文献等を参考とすると、人の行動と満足度には関連性があり、行動頻度または目的地や移動経路として選択される施設や空間が多い程来街者の満足度が高くなることが示唆されているものもあることから、当面は現状でも計測が可能な来街者数や滞在時間・立寄り箇所数をKPIとして設定する。
- ・また、「地域関係者・事業者の視点」については、本来であれば区域内における消費額の増加割合等が直接的な評価指標と考えられるが、これも現時点で計測が困難と考えられることから、当面は地域の関係者や事業者により自発的に創出・提供される新たなサービス等の件数を暫定的な評価指標として設定する。

▼実行計画全体のKPI

区域の目標	プロジェクト全体のKPI	目標値	
		現状	2022年度
◆ <u>来街者の視点</u> 回遊性の向上及び来街者の満足度やQOL向上	主要箇所における歩行者数・来街者数	約5,850人/箇所	6,000人/箇所
	区域内の一人あたり滞在時間	今年度から計測	2022年度まで毎年
	区域内の一人あたり立寄り箇所数	今年度から計測	前年度以上を維持
	(参考)アンケート調査による来街者の満足度	※計測方法等を精査の上適宜計測	
◆ <u>地域関係者・事業者の視点</u> まちなかならでの自発的・独創的コンテンツの充実	区域内の空家・空き店舗の自発的な活用件数	90件/年(全市)	2022年度まで毎年
	公共空間を利用したイベントの自発的な発生数	今年度から計測	前年度以上を維持
	地域企業等による自発的な統合アプリ活用数	今年度から計測	
	(参考)区域内における消費額の増加割合	※計測方法等を精査の上適宜計測	

3. 実証実験の位置づけ

3-1 実証実験を行う技術・サービスのロードマップ内の位置づけ

本調査により以下の技術・サービスに係る実証実験を行う。実行計画で目指す地域ストック活性化の仕組みを試行的に稼働させ、目指す仕組み全体の可能性検証を行う。

▼実証実験を行う技術・サービス

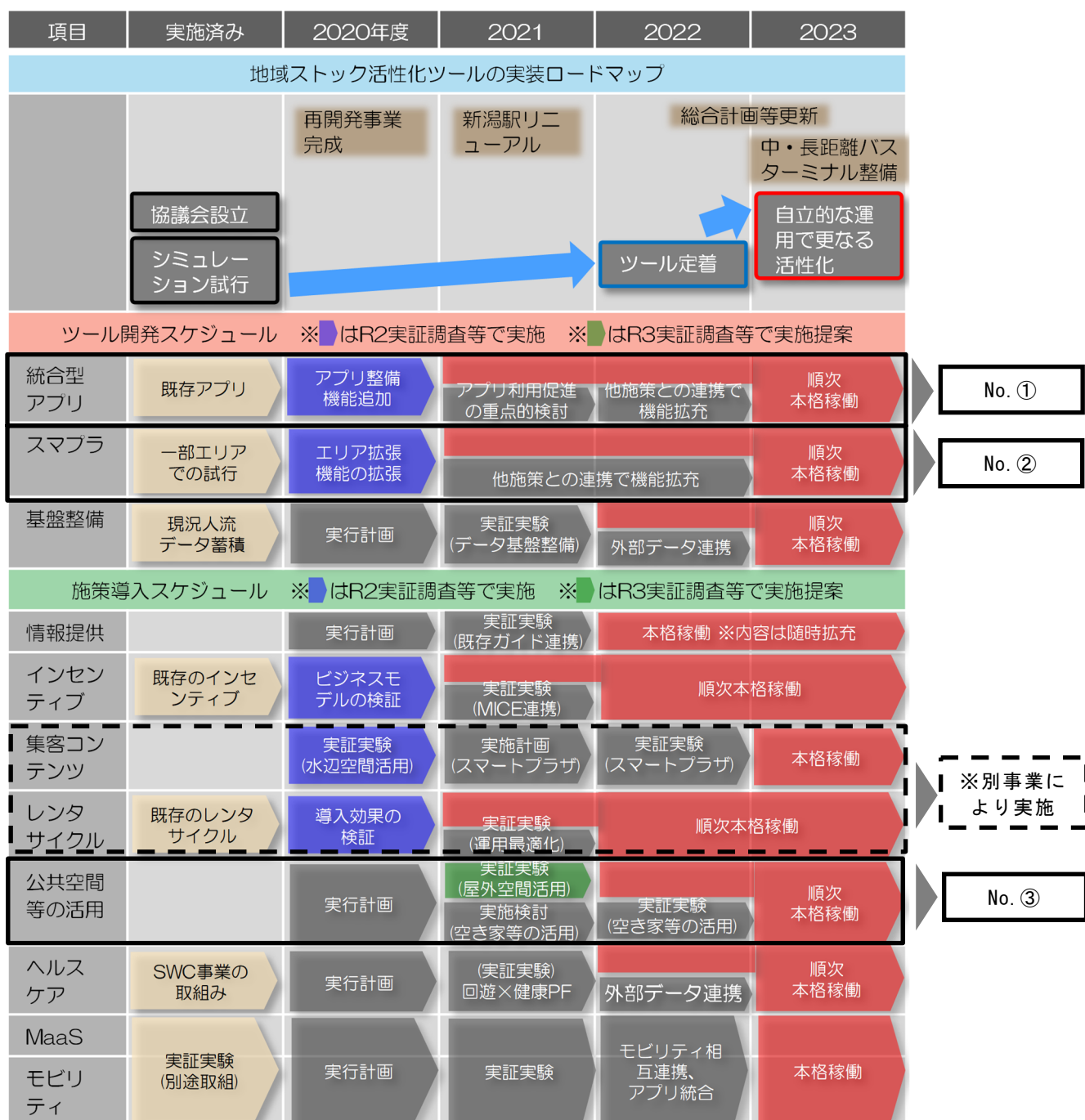
No.	導入技術	概要
①	データ駆動型コンテンツ統合アプリ	・ 既存のシティガイドアプリを活用し、まちなかにおける様々なサービスを統合する媒体。 ・ 対象エリア内での個々のアクティビティデータが取得できる仕組みを構築。
②	スマート・プランニング	・ 取得したアクティビティデータを分析し、各コンテンツの実施効果を可視化するツール。 ・ 蓄積されたアクティビティデータを基に、来街者の行動モデルを順次更新し、コンテンツの実施効果を事前にシミュレーションできるツールの開発。
③	空間活用促進プラットフォーム	・ 公共や民間など多様な主体が所有するオープンスペースを包括的に活用する仕組みの構築し、遊休空間の利用促進を図る。 ・ ICT 技術により、活用手続き（使用許可・申請等）を簡素化・省力化するツール。 ・ GIS や既存データの利活用による空間情報の可視化により、利用可能なスペースの情報を空間利用者に提供するツール。 ・ 仕組み構築によるまちへの波及効果や、持続的なビジネスモデルの可能性を検証。

※③が本年度実証調査の対象

実証実験を行う技術・サービスの実行計画での位置づけを以下に示す。



▲実行計画における実証実験の位置づけ



▲実行計画のロードマップにおける実証実験の位置づけ

3-2 ロードマップの達成に向けた課題および本実証実験の意義・位置づけ

本実証実験の実施内容について、ロードマップの達成による課題解決に向けた本実証実験の意義・位置づけは以下の通りである。

本実証実験の意義

- ・新たなサービスである空間活用促進プラットフォームの実装を目指し、「訴求力の高い空間の提供」「空間で魅力的な活動をする主体の確保」「サービスを提供し続けることができる仕組み」の3つハードルをクリアすることで、“まちなかの賑わい”を獲得する。
- ・新たなサービスと統合アプリとスマート・プランニングを連動させ、データを用いたまちづくりに活用可能なツールの実装に関する知見が得られる。

▼ロードマップの達成に向けた課題

No.	導入技術・サービス	ロードマップ達成に向けた課題	本取組みの意義
①	データ駆動型コンテンツ統合アプリ	・アプリの実装 ・アクティビティデータの取得(GPS、利用ログ) ・アプリの登録促進(500サンプル程度のデータが取得できる状態を目標)	・アプリ利用情報とGPS位置情報を紐づけたアクティビティデータの取得より、様々なホストのコンテンツ実施評価が可能となる
②	スマート・プランニング	・KPI計測ツールの実装 ・アプリによるデータ等を活用した行動モデル作成ツールの実装 ・回遊シミュレーションツールの実装 ・データサンプル数の確保 ・取得データの種類の拡充(購買データなど) ・施策実施効果やシミュレーション結果を活用した資金調達手法の確立(協賛金、SIB等)	・現行の回遊性評価手法では考慮できない様々な行動特性をモデル化し、スマート・プランニングの機能拡張の可能性に関する知見が得られる ・アプリと連動したスマート・プランニングをツール化することで、データの収集や分析・可視化作業が効率化できる
③	空間活用促進プラットフォーム	・多様な主体が所有する空間を包括的に活用するための仕組みづくり ・ICT技術による空間情報の可視化 ・活用手続き(使用許可・申請等)の簡素化 ・空間所有者及び空間利用者の参画促進 ・仕組みの運用やビジネスモデルの構築 ・市街地内に散在する遊休化・余剰化している空間資源の高度利用	・遊休空間の利用促進をすることで、まちに潜在する魅力的なヒト・モノ・コンテンツの発掘・発信が図られる ・上記により、賑わいの創出や地域経済の活性化につながり、まち全体の魅力向上につながる ・仕組みの構築により、空間の利用手続きを一元化し、空間所有者の事務作業の省力化や維持管理にかかる負担軽減ができる

※青字の項目は、本業務の実証調査による達成を目指す。

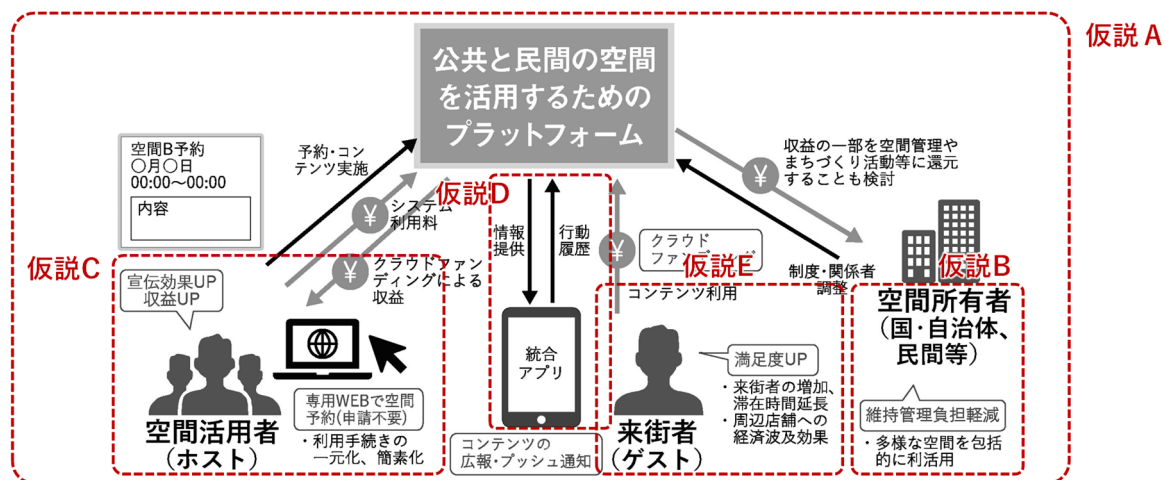
4. 実験計画

4-1 実験で実証したい仮説

本調査により実証する仮説は以下のとおりである。

▼本実験で検証する仮説

- ◇仮説A． 公民にかかわらず多様な主体が所有する空間を包括的にまとめ、その活用を促す仕組みを構築することができる
- ◇仮説B． 空間の活用手続きを一元化することで、所有者の事務作業の省力化や維持管理にかかる負担軽減につながる
- ◇仮説C． これまで使われていなかった空間の活用により、従来のコンテンツの高度化や新たなコンテンツの創造につながる
- ◇仮説D． スマート・プランニングによるまちづくりに有効な新たなデータを取得することができる
- ◇仮説E． 来街者の数及び滞在時間が増加し、地域全体への経済的な波及効果が期待できる



▲ 仮説の位置づけ

4-2 実験内容・方法および仮説の検証に向けた調査方法

本調査における実証実験の内容および方法について整理する。

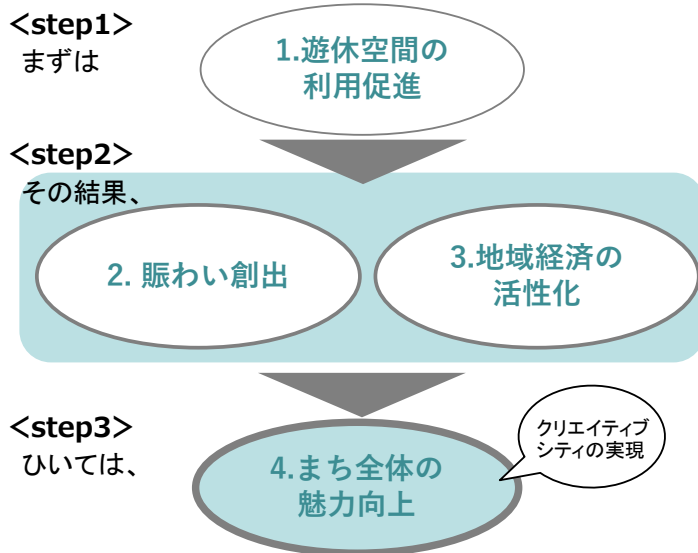
また、各実証実験の詳細を次頁以降に示す。

▼実証実験の概要

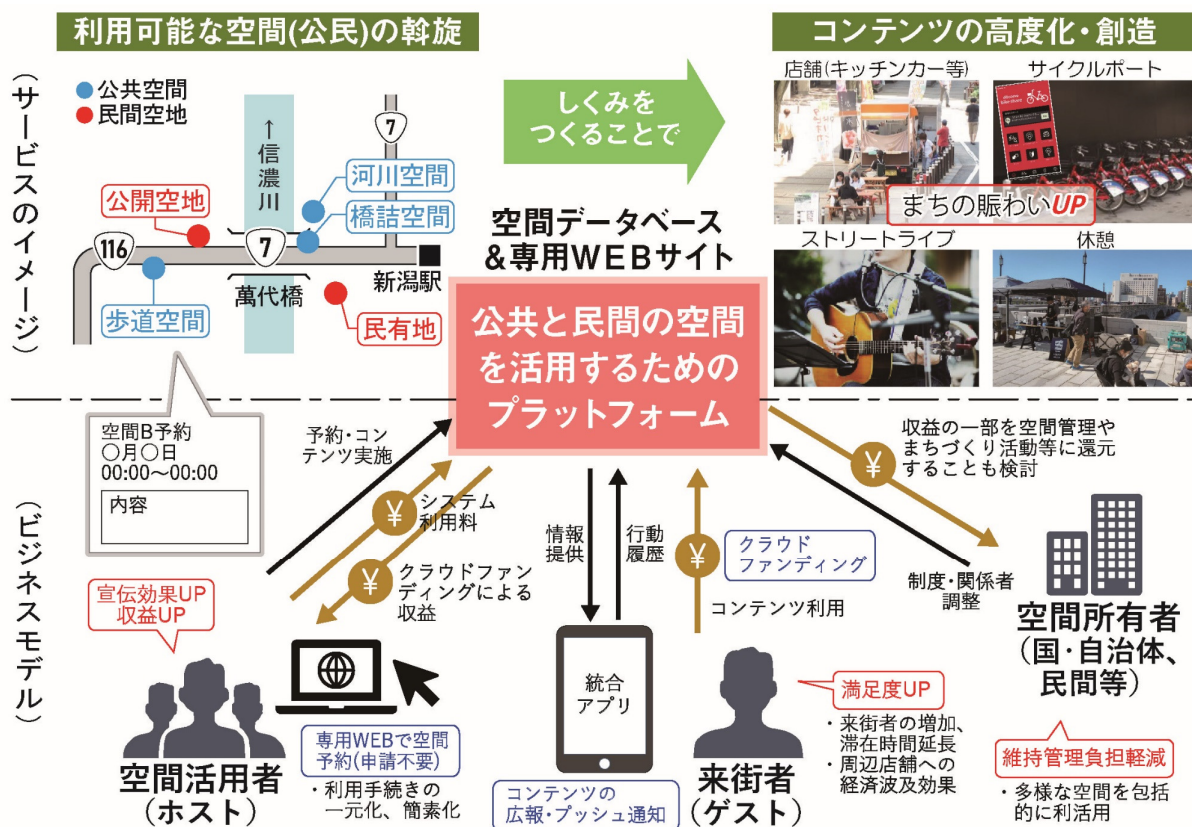
実験 No.	実証実験	実験概要
1	公共空間等活用実証実験 (通称：ニキロモール)	◆都市、地域の課題と実験との関係 - 公共や民間など多様な主体が所有するオープンスペース“活用スポット”を包括的に活用する仕組みを構築し、①遊休空間の利用促進、②“まちなか”の賑わい創出、③地域経済の活性化、④まち全体の魅力向上につながるビジネスモデルの可能性を検証する。 ◆ターゲット - 空間活用者（空間でコンテンツを実施する者）※ホスト - 空間所有者（国・自治体、民間等） - 来街者（一般市民、観光来訪者等）※ゲスト

4-2-1 公共空間等活用実証実験

公共や民間など多様な主体が所有するオープンスペース“活用スポット”を包括的に活用する仕組みを構築し、①遊休空間の利用促進、②“まちなか”の賑わい創出、③地域経済の活性化、④まち全体の魅力向上につながるビジネスモデルの可能性を検証する。

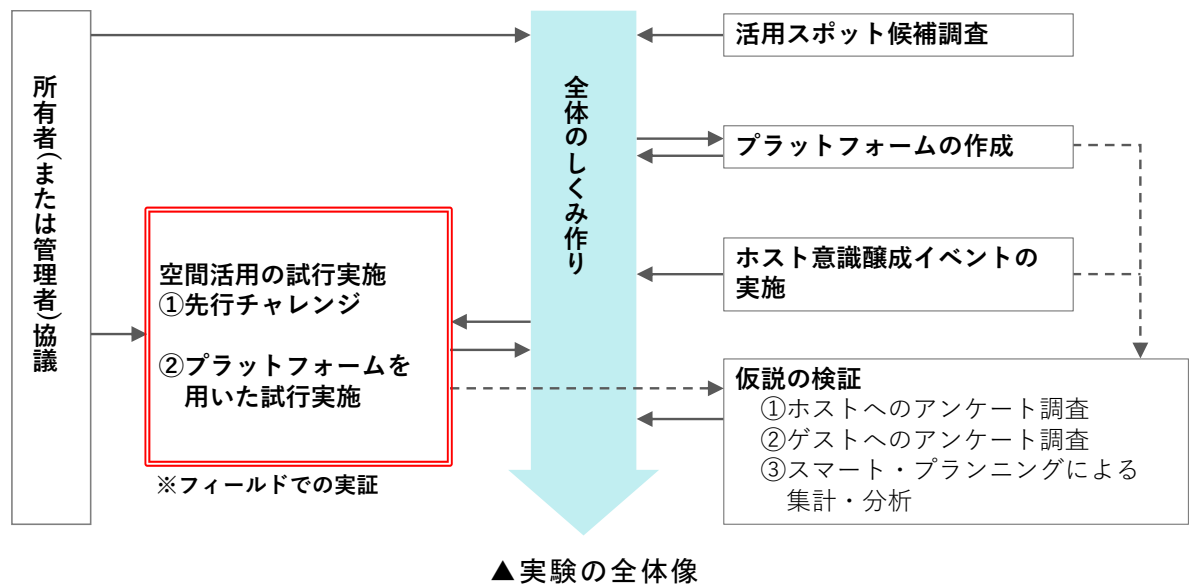


▲仕組み構築により目指す効果・発展



▲ビジネスモデル(当初案)

(1) 実験の全体像



(2) 取組の名称

今回の実証実験で行う取組のコンセプトを以下のように定め、取組のネーミングを「ニキロモール」とした。

[取組のコンセプト]

- ・ まちに潜在するおもしろいヒト・モノ・コンテンツの発掘・発信
- ・ ポストコロナ時代におけるまちでの新たなライフスタイル(ストリートカルチャー)の創造

[取組名]

- ・ ニキロモール

＜リアルモールは＞

- ・ モールのオーナーが「箱」の中の空間に配置するテナントをセレクト・コーディネート

↓

＜”ニキロモール”は＞

- ・ プロジェクトマネージャーが「まち」の中の空間に配置するヒト・モノ・コンテンツをセレクト・コーディネート

(3) 仕組みの具体化と環境構築

①全体の仕組み作り

検討内容および想定する空間の種類を以下に示す。

▼検討内容

1) 現状課題と空間活用の方向性の整理

- ・各種空間の現状の使用ルールから実装に向けた課題を整理するとともに、より空間の利用を促すための方向性を検討する

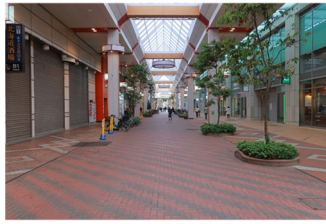
2) 仕組みの運営者に必要な業務

- ・仕組みの運用に際し、運営者に必要な業務を検討する
- ※広報など、空間利用の促進に向けた事項を含めて検討する

3) ホスト向けの運用ルール

- ・WEB サイトの使用ルールや空間利用時のルールなど、ホストに示さなければならない事項を検討する
- ・空間活用にあたって考えられるトラブルを整理し、運営者とホストの責任の範囲を定める

A. 道路



B. 公開空地



C. その他民有地



D. 河川 ※港湾エリア含む



E. 公園



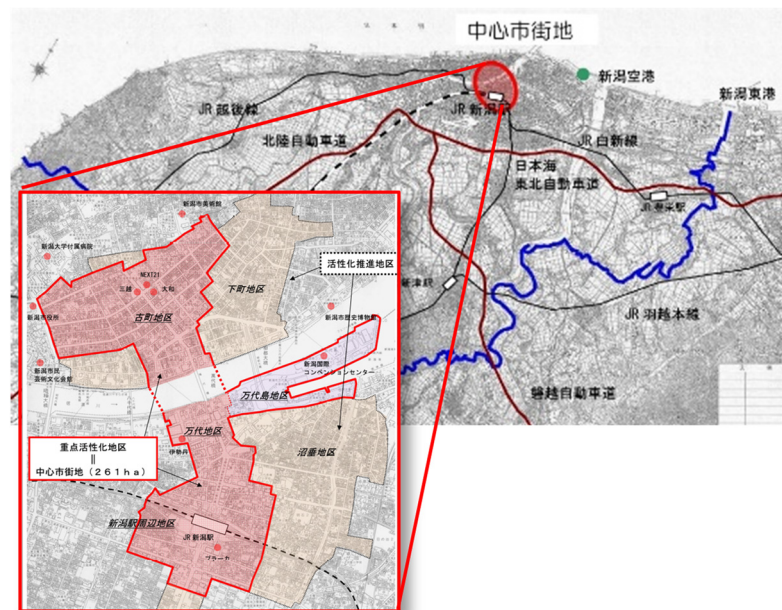
▲ 想定する空間の種類

②活用スポット候補調査

活用スポットの候補としてにいがた **2km** 周辺のオープンスペースの現地確認を行う。

※候補の抽出であるため、所有者の意向確認は行わない。

対象エリアは新潟市中心市街地活性化基本計画における重点活性化地区とする。



▲対象エリア

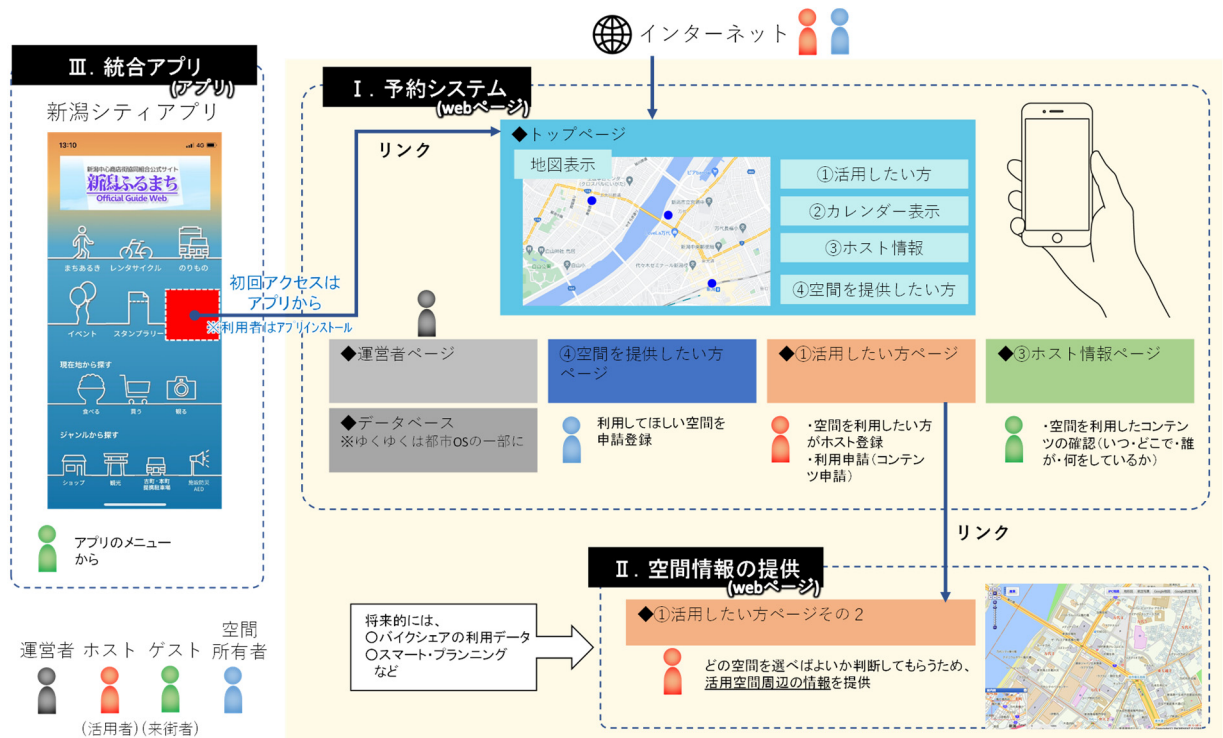
③プラットフォームの作成

空間利用の予約や、ホスト・コンテンツの情報を提供するためプラットフォームを作成する。以下のⅠ・Ⅱの機能を搭載した web ページを作成する。

また、統合アプリの改修を行い、プラットフォームと連携させる。

▼プラットフォームに搭載する機能

Ⅰ．予約システム（新規作成）	Ⅱ．空間情報の提供（新規作成）
[1] 基本機能] ・活用可能なスポットの場所を確認する機能 ・WEB サイト利用上のルール確認する機能 [2] ホスト用の機能] ・スポット毎の利用ルールを確認する機能 ・スポットを利用したい方がホスト登録する機能 ・コンテンツを実施したいホストがスポット利用を申請する機能 [3] ゲスト用の機能] ・どんなホストが登録されているか確認する（ホストの PR ポイントなどを含む）機能 ・スポットを活用したコンテンツを確認する（いつ・どこで・誰が・何をしているか）機能 [4] その他運営するための機能] ・運営者がホスト申請の承認や登録済みホストの管理をする機能 ・運営者がコンテンツ申請の承認や登録済みコンテンツの管理をする機能 ※空間所有者が利用してほしい空間を登録する機能は将来的に搭載 ※スマートフォン対応	Ⅲ．統合アプリ（改修）
	1) ホストへ活用スポットの周辺状況を提供する機能 ※3D 都市モデル（PLATEAU）や 360° カメラ画像等を活用 ※ホストだけでなく、ゲストも興味を持てる内容とする 1) プラットフォームにアクセスする機能



▲プラットフォームのイメージ

④所有者(または管理者)協議

仕組みの構築や試行実施に向け、所有者の意向や制度上の課題を確認する協議を実施する。

▼主な協議先

スポット の種別	空間所有者 または管理者	想定する 活用空間	現行の活用手続き	その他 関係者
A. 道路	国交省 [新潟国道事務所] 新潟市[中央区建設課]	○ふるまちモール 7 ○萬代橋橋詰	・道路占用許可申請 ・道路使用許可申請 [所轄警察] ※道路占用制度の特例 ※歩行者利便増進道路指定制度	新潟県警 新潟市 ※土木総務課
B. 公開空地	管理者(地権者等)	○コズミックス ○ANA クラウン プラザホテル 新潟	・総合設計制度に係る許可基準 ・公開空地の利用協議申入書	新潟市 ※建築行政課
C. その他民有地	地権者等	○メディアシップ	※地権者と協議	
D. 河川	国交省[信濃川下流事務所] ※港湾エリアは新潟県等	○信濃川(やすらぎ堤) ○万代テラス	・土地の占用許可申請 ・河川敷地の一時使用届	
E. 公園	新潟市[中央区] 新潟国際情報大学(地権者)	○榎谷小路ゆうあい公園 ○弁天公園	・都市公園使用許可申請	新潟市 ※公園水辺課

(4) 地域の意識醸成

ホストとなる地域関係者や、ゲストとなる来街者の共感・参画意識を醸成するため、取組みのコンセプトや意義について、多くの方と共有することが重要。この課題解決を図るため、以下の目的でイベントを実施する。

- ①ニキロモールの意義や、実施により目指すまちなかの将来像の共有
- ②ホスト候補者とのつながり強化
- ③一般の方等に対するニキロモールの認知度の向上

・実施概要：

- ・ホスト候補となり得るまちづくりのプレーヤーを4名程度集め、パネルディスカッションを実施する。
- ・パネルディスカッションは公開することで、ニキロモールの認知度の向上も図る。
- ・結果はHP(プラットフォーム)等に掲載。

・実施日程：R4.2

新潟市スマートシティ協議会 公共空間等活用実証実験 事前企画

にいがた2kmクリエイション

新潟市スマートシティ協議会では、にいがた2kmを中心に、道路、水辺、空地などの、まちなかのちょっとした空間を色々な人が利用しやすい仕組みづくりに取り組んでいます。
今後予定の実証実験に先立ち、まちなかに存在する空間をどのように活用し、どのような創造的なまちがくれるのか、にいがた2kmのポテンシャルについて語り合う場を設けました。

■ 日時：令和4年●月●日（●）18:00～19:30

■ 会場：MOYORE: ～みんなの駅の交流拠点～
（新潟市中央区花園1丁目1-21 CoCoLo南館1F）

■ プログラム

- ◆ 開会挨拶
- ◆ 取組みの説明、目指すまちなかの姿
- ◆ パネルディスカッション

【ゲスト】

●●	●●氏	●●●●●●●●●●
●●	●●氏	●●●●●●●●●●
●●	●●氏	●●●●●●●●●●
●●	●●氏	●●●●●●●●●●

■ お申込み（無料）

・ ●●●●

・ 参加可能人数に限りがございます。お早目のお申込をお勧めいたします。

■ お問合せ

主 催：新潟市スマートシティ協議会
問合せ：ニキロモール運営事務局（エヌシーイー株式会社内）
2kmmall@nceinc.co.jp

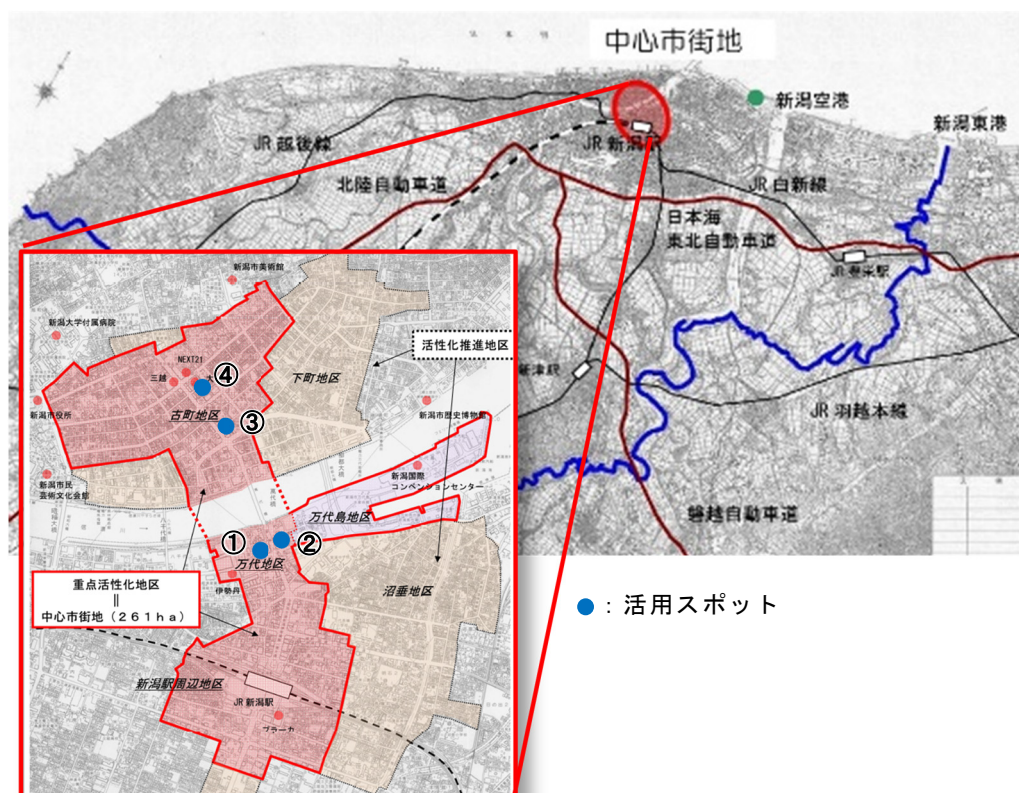
マップ

▲取組イメージ

(5) 実験実施日程および位置

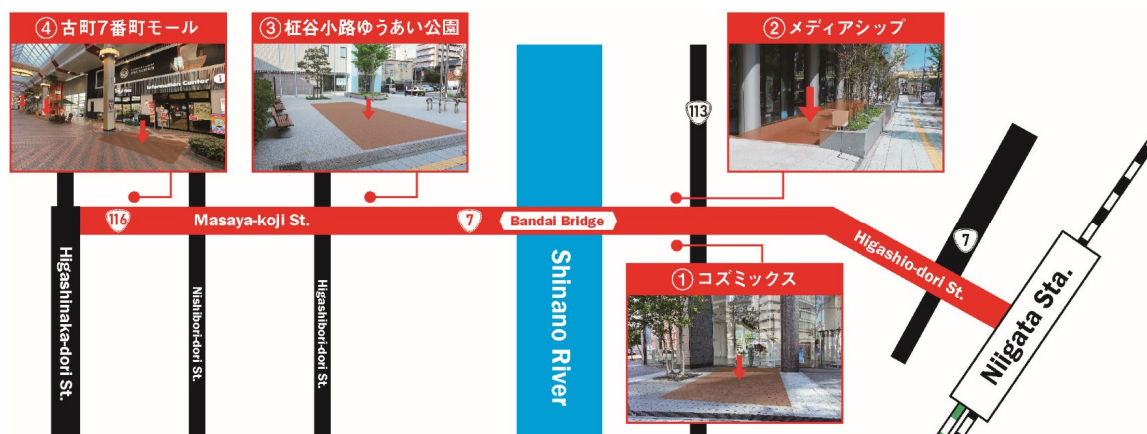
	先行チャレンジ※	プラットフォームを用いた試行実施	
		ホスト・コンテンツの募集	コンテンツの実施
実験の実施日程	R3.10.1～R4.3.31	R4.2～R4.5	R4.7.19～R4.7.24
実験の実施位置 (活用スポット)	④古町7番町モール	①コズミックス ②メディアシップ ③榎谷小路ゆうあい公園 ④古町7番町モール	

※ホストの募集や空間活用予約に対し、プラットフォームを使用せずにコンテンツを実施。



出典：新潟市中心市街地活性化基本計画の記載を加工して作成

▲活用スポットの位置



▲活用スポットの写真

(6) 仮説の検証に向けた調査方法

本実験により、それぞれの仮説について、以下の項目について検証する。

◇**仮説 A**． 公民にかかわらず多様な主体が所有する空間を包括的にまとめ、その活用を促す仕組みを構築することができる

検証内容	検証方法
・「プラットフォームの作成」や「所有者(または管理者)協議」、「空間活用の試行実施」を通じて、実現可能性や実装に向けた課題を整理する	・ 全体の仕組み作り ・ ホストへのアンケート調査（調査③） ・ 空間所有者へのアンケート調査（調査⑤）
・ ゲストによるホストや本仕組みへの投げ銭の可能性を評価する	・ ゲストへのアンケート（調査①） ・ 市民への WEB アンケート調査（調査④）

◇**仮説 B**． 空間の活用手続きを一元化することで、所有者の事務作業の省力化や維持管理にかかる負担軽減につながる

検証内容	検証方法
・ 空間の提供に関する空間所有者の意向や期待を聞き取る	・ 所有者(または管理者)協議 ・ 空間所有者へのアンケート調査（調査⑤） 【再掲】

◇**仮説 C**． これまで使われていなかった空間の活用により、従来のコンテンツの高度化や新たなコンテンツの創造につながる

検証内容	検証方法
・ プラットフォームに登録されたコンテンツ数・種類を計測する	・ プラットフォームを公開し、ホスト・コンテンツ登録を募集
・ プラットフォーム利用に対するホストの利用意向や支払い意思額を計測する	・ ホストへのアンケート調査（調査③） 【再掲】 ・ ホスト意識醸成イベントの実施

◇**仮説 D**． スマート・プランニングによるまちづくりに有効な新たなデータを取得することができる

検証内容	検証方法
・「空間活用の試行実施」の参加者の人流データを抽出し、滞在時間や回遊ルートを把握できるか分析する	・ 統合アプリや別途調査で取得するデータを活用して解析

◇仮説E．来街者の数及び滞在時間が増加し、地域全体への経済的な波及効果が期待できる。

検証内容	検証方法
・ゲストによる本仕組みへのニーズを評価する	・ゲストへのアンケート（調査①） 【再掲】 ・市民へのWEBアンケート調査（調査④） 【再掲】
・活用された空間が存在するエリアにおけるゲストの滞在時間を分析する	・人流データ解析（調査⑥）
・ゲストのまちなかにおける総移動距離を分析する	
・ゲストのまちなかでの立寄り箇所数を分析する	

仮説検証のための調査は、以下のとおり。

▼仮説検証のための調査

仮説検証 の調査	対象〔想定規模等〕	設問項目（分析項目）
調査① ゲストへの アンケート 調査 (実証実施時調査)	調査対象： コンテンツに來場 したゲスト 〔20 人〕	設問項目： a.二キロモールの評価 b.ホストへの期待(実施してほしいコンテンツ) c.空間利用によるコンテンツの高度化や創造の 可能性 d.ホストや本仕組みへの投げ銭の可能性
調査② 人流挙動の 解析 (実証実施時調査)	調査対象： 活用スポット前 〔1 箇所(コズミックス)〕	設問項目： a.歩道通過人数 b.立ち止まり人数 c.立ち寄り人数・立ち寄り時間
調査③ ホストへの アンケート 調査 (実証実施後調査)	調査対象： 登録ホストおよび ホスト候補者 〔10 団体〕	設問項目： a.プラットフォームの評価（操作性・機能） b.プラットフォームの利用意向 c.空間利用によるコンテンツの高度化や創造の 可能性 d.プラットフォーム利用に対する支払い 意思額
調査④ 市民への WEB アンケート 調査 (実証実施後調査)	調査対象： 新潟市民のうち、都心 來訪者をスクリーニン グして実施 〔400 人〕	設問項目： a.二キロモールの評価 b.ホストへの期待(実施してほしいコンテンツ) c.空間利用によるコンテンツの高度化や創造の 可能性 d.ホストや本仕組みへの投げ銭の可能性
調査⑤ 空間所有者への アンケート調査 (実証実施後調査)	調査対象： 実証実験実施箇所および 各種空間所有者 (または管理者) 〔7 団体〕	設問項目： a.二キロモールの評価（受容性） b.ホストへの期待(実施してほしいコンテンツ) c.ホストへの不安 d.費用についての考え
調査⑥ 人流データ解析 (実証実施後調査)	使用データ： 統合アプリ人流データ 〔1 か月間（R4.7）〕	分析項目： 以下について、コンテンツあり（「空間活用の試 行実施」実施時等）・なしの差を評価する a.エリア滞在時間 b.立寄り箇所数

4-2-2 施策の周知に係る取組み

各施策の実施にあたり、施策効果を評価するためのデータ収集を促進するため、以下に示す広報を行った。

(1) プラットフォームの公開および地域の意識醸成イベントに係る広報

①新潟市によるプレスリリース

地域の意識醸成イベント実施に合わせ、プラットフォーム公開を周知するプレスリリースを行った。



新潟市報道資料
令和4年1月28日
新潟市都市計画課

報道各位

まちなかの“ちょっとした”空間を活用してみませんか？
にいがた2kmのポテンシャルについてトークイベントを開催

○トークイベント概要（資料①）

にいがた2kmにある“ちょっとした”空間を活用した、まちの活性化を探るオンライン・トークイベントが2月4日（金）に開催されます。全国各地の都市再生戦略の立案に取り組む西村浩氏をゲストファシリテーターに、市内でイベント等を仕掛けている方々と語り合います。

つきましては、広報活動にご協力をお願いします。なお、オンライン開催となりますが、取材は可能です。

名 称	にいがた2kmクリエイション
日 時	令和4年2月4日（金）18時から20時
参 加 費	無料（オンライン開催）
登 壇 者	西村 浩氏（建築家・クリエイティブディレクター） 稲葉 一樹氏（本町8Ban リノベーション） 風間 彰充氏（株式会社ジョイフルタウン 月刊にいがた編集部） 原田 智子氏（株式会社リビタ/MOYORé：コミュニケーションマネージャー） 肥田野正明氏（株式会社バウハウス 代表取締役）
参 加 方 法	参加には事前の申し込みが必要（2月3日締切） ニキロモール運営事務局にメール 2kmmall@nceinc.co.jp または、右QRコードから
取 材 場 所	MOYORé：～みんなの駅の交流拠点～（新潟駅直結 CoCoLo 南館1階）
主 催	新潟市スマートシティ協議会



○“ちょっとした”空間の活用に向けて（資料②）

まちなかにある“ちょっとした”空間を利用するには煩雑な手続きが必要ですが、新潟市スマートシティ協議会ではICT技術による簡素化など、より使いやすくすることでまちなかの活性化を支援するしくみ、ニキロモール実証実験の準備を進めています。飲食や購買だけでなく、作品や広告展示、ライブ・パフォーマンスなどで空間を活用してみたい方を2月1日から募集します。

お問い合わせ先

○この記事に関すること	新潟市都市政策部都市計画課 担当：阿部、小日向 電話025-226-2825（直通）
○取組の詳細に関すること	新潟市スマートシティ協議会 ニキロモール運営事務局 エヌシーイー株式会社 都市・地域計画部 担当：岩淵、木村 電話025-285-8540（代表）

▲プレスリリース資料 その1

オンライン開催

資料①

新潟市スマートシティ協議会

公共空間等活用実証実験

事前企画

にいがた2kmクリエイション

新潟市スマートシティ協議会では、にいがた2kmを中心に、道路、水辺、空地などの、まちなかのチョットとした空間を色々な人が利用しやすい仕組みづくりに取り組んでいます。

今後予定の実証実験に先立ち、まちなかに存在する空間をどのように活用し、どのような創造的なまちがつかれるのか、にいがた2kmのポテンシャルについて語り合う場を設けました。

■ 日時：令和4年2月4日（金）18:00～20:00

■ 会場：MOYORE: ～みんなの駅の交流拠点～

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般の方の参加はオンラインのみとします
今後の感染状況によっては、開催中止や内容変更の可能性があります

■ プログラム

◆ まちなかの空間活用プラットフォーム「ニキロモール」について

◆ にいがた2kmクリエイション

～にいがた2kmが目指す新たなまちのすがた～

ゲストファシリテーター

西村 浩氏

株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役
オン・ザ・ルーフ株式会社 代表取締役
呉服元町ストリートマーケット株式会社 取締役
マチノシゴトバCOTOC0215 代表



ゲストスピーカー

稲葉 一樹氏

本町8Banリノベーション

風間 彰充氏

株式会社ジョイフルタウン 月刊にいがた編集部

原田 智子氏

株式会社リビタ/MOYORE: コミュニケーションマネージャー

肥田野 正明氏

株式会社バウハウス 代表取締役

■ お申込み（無料）※2/3(木) 〆切

- ・ 下記に記載のニキロモール運営事務局宛てに、「氏名」「所属」を記載の上、メールによりお申し込みください。後日、オンライン参加URLを送付いたします。
- ・ 参加人数は先着100名までとさせていただきます。お早目のお申込をお勧めいたします。

■ お問合せ・申込先

主 催：新潟市スマートシティ協議会

問合せ：ニキロモール運営事務局（エヌシーイー株式会社内）

2kmmall@nceinc.co.jp

※右QRコードのメールフォームからも申込みいただけます



▲ プレスリリース資料 その2

パブリックスペース
活用プロジェクト

ニキロ

モール

資料②

新潟の
「ストリート」を
おもしろく。

R4.2月～
ホスト募集
開始

Concept

「まちなかの活性化を
目的とする取り組みに対し、
**空間の提供を
サポート**」

「コンテンツや内容そのものよりも
**出店者のこだわりや
発信したい思いを重視**」

まちなかの“ちょっとした”空間を様々な用途で利用可能に!

飲食店

購買

作品・広告展示

ライブ・パフォーマンス and more...

System

ホスト
(空間活用者)

申請 → WEB → 発信

ゲスト
(来訪者)

来街者との
交流を促進

ホスト随時募集!!

※詳細は裏面をご参照ください

▶様々な空間利用を簡単に申請!

▶webにより取組をPRできます!

ニキロモール

2/1(火) 公開!

Spots

④ 古町7番町モール

③ 榎谷小路ゆうあい公園

② メディアシップ

① コスミックス

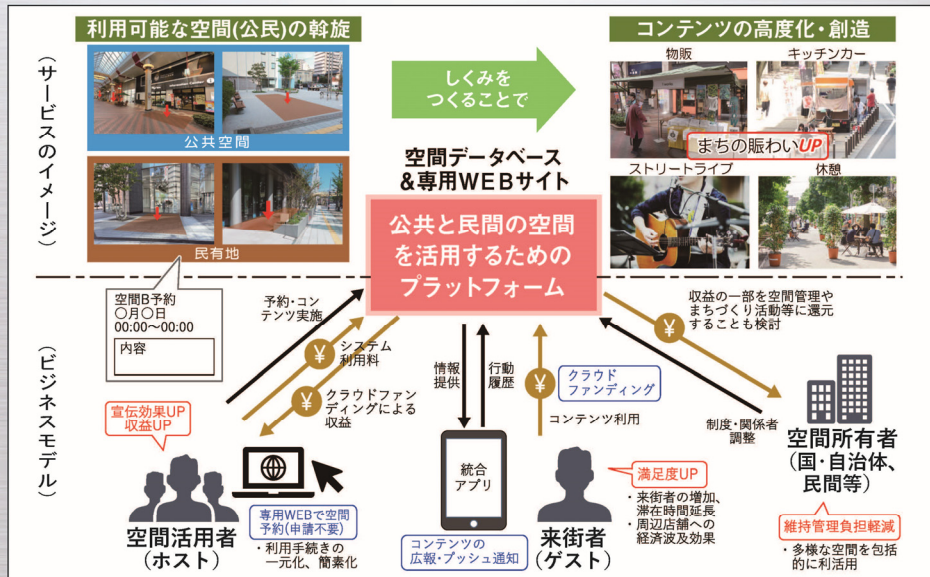
①～④ : R4.5月以降の試行実施での予定場所です。
(変更される場合があります)

▲プレスリリース資料 その3

What's ニキロモール

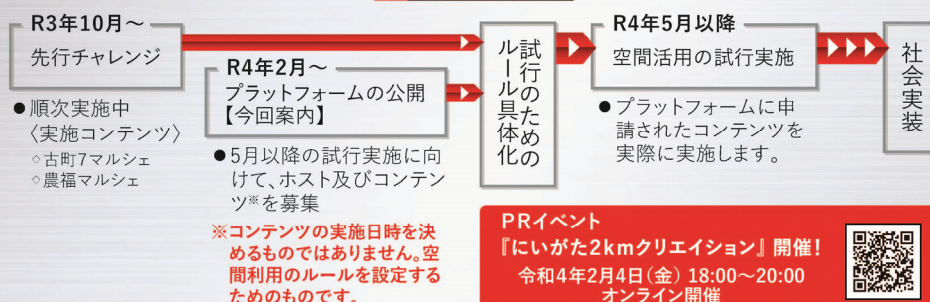
ICTを活用した住みやすい街づくりを目指す新潟市スマートシティ協議会では、まちなかの活性化を目的とする様々なコンテンツを行うための空間の提供をサポートするしくみ『ニキロモール』の社会実装に向けた取組をスタートします。

今回、R4年度の試行に向け、ホスト(空間を活用する人)とコンテンツ(まちなかの空間を使ってやってみたいこと)の募集を開始します。



ニキロモールが目指すサービス像

取組のながれ



お問合せ



主催：新潟市スマートシティ協議会
問合せ：ニキロモール運営事務局(エヌシーイー株式会社内)
✉ 2kmmall@nceinc.co.jp

作成年月日：2022年1月27日

▲プレスリリース資料 その4

②新潟市スマートシティ協議会ページへの掲載

新潟市 HP 内の新潟市スマートシティ協議会ページにプラットフォーム公開（ホスト・コンテンツの募集）及び地域の意識醸成のためのイベントの情報を掲載した。

新潟市

[くらし・手続き](#)[子育て・教育](#)[健康・医療・福祉](#)[観光・文化・スポーツ](#)[産業・経済・ビジネス](#)

パブリックスペース活用プロジェクト「ニキロモール」について

まちなかにある“ちょっとした”空間を利用するには煩雑な手続きが必要です。新潟市スマートシティ協議会ではICT技術による簡素化など、より使いやすくすることで、まちなかの活性化を支援するしくみ、ニキロモール実証実験の準備を進めています。飲食や購買だけでなく、作品や広告展示、ライブ・パフォーマンスなどで空間を活用してみたい方を2月1日から募集します。

[ニキロモールチラシ（PDF：1,473KB）](#)

[ニキロモール専用プラットフォーム（外部サイト）](#)

ニキロモール実証実験で空間を活用してみたい方は、2月1日より公開する上記専用プラットフォームからご応募ください。

ニキロモール事前企画 いいがた2kmクリエイションの開催

いいがた2kmにある“ちょっとした”空間を活用した、まちの活性化を探るオンライン・トークイベントが2月4日（金曜）に開催されます。全国各地の都市再生戦略の立案に取り組む西村浩氏をゲストファシリテーターに、市内でイベント等を仕掛けている方々と語り合います。

[いいがた2kmクリエイションチラシ（PDF：7,023KB）](#)

日時
令和4年2月4日（金曜） 18時から20時

参加費
無料（オンライン開催）

参加方法
ニキロモール運営事務局にメール2kmmall@nceinc.co.jp
または以下のQRコードから



申込メールフォーム

▲新潟市スマートシティ協議会ページへの掲載状況

(2) にいがた 2km クリエイションの実施

地域の意識醸成とともに、取組の周知を目的に、「にいがた 2km クリエイション」を実施した。詳細は、「5.実験実施結果」に示す。



▲にいがた 2km クリエイション実施状況

(3) ホスト・コンテンツ募集に係る広報

ホスト・コンテンツ募集に際し、下記の資料をプラットフォーム内に公開した。

- ①What's ニキロモール？Vol.1【私たちが目指していること・取り組みたいこと 編】
ニキロモールの目的や今後の実施手順を示す資料を作成し、公開した。

What's ニキロモール？



Vol.1 私たちが目指していること・取り組みたいこと 編

01

新潟市スマートシティ協議会

基本的な認識

新潟の街なか（新潟駅周辺～万代～古町にかけてエリア）は、新潟市の都心として位置づけられています....



でも、
新潟の街なかは、賑わいが足りないと感じています

一方で、
新潟の街なかには、ヒトやモノ（場所）、情報（文化）などの魅力的な資源が今でもたくさん存在していると思っています

私たちは、
そうした潜在する資源が、賑わいのコンテンツとして活かされていないことも賑わい不足の1つの要因だと考えています

～そうしたコンテンツに出会うことができるステージ（舞台）を、街なかにつくることができないだろうか？～

02

着眼点



一 考えました

街なかには、あまり使われていない**チョットした空間**が存在しています。その**チョットした空間**を、賑わいのコンテンツを“提供する場”、コンテンツに“出会える場”として活用できないだろうか？

一 でも、

そうした**チョットした空間**は、所有者が様々で、使い方や使うための手続きも異なり、一般市民が簡単に活用することはできません。

一 だとすれば、

そうした**チョットした空間**を今よりも簡単に活用できるようになれば、より多くの人たちが、街なかで魅力的なコンテンツを提供（表現）してくれるのではないだろうか？

『街なかのチョットした空間を、様々な用途で手軽に利用できるようにしたい！』

03



<取組のイメージ>

街なかの活性化を目的とする取組（コンテンツ）を行うための『**空間の提供をサポートする**』しくみをつくることです

<想い・目指す姿>

- ・私たちは、取組（コンテンツ）の内容よりも、それを実施する人たちの“**こだわり**”や伝えたい“**思い**”こそが、大切な価値だと思っています。
- ・そうした**様々な価値**を街なかに持ち寄り、共有する（刺激しあう）ことで、よりクリエイティブな街なかをつくることができると考えています。
- ・そして「**新たな体験価値**」との**出会い**を通じて、より多くの人に新潟の街なかの魅力や面白さを再発見してほしいと願っています。
- ・空間提供をサポートするしくみをつくることは、そのための手段です。



04



「空間の提供をサポートする」しくみ

ーやりたい人とやりたいことの

「申請・登録」

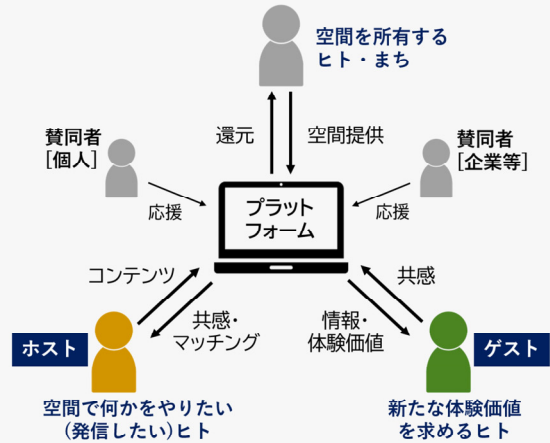
ーコンテンツを実施する

「空間の提供」

ーこだわりを発信し共感したい人とマッチングする

「情報提供」

を一元的に行うプラットフォームと運用のしくみをつくること。



05



空間を活用してみませんか？



① まずは**ホスト登録**をしてください

・ホストとは、空間を活用してコンテンツを実施する人。すなわち、何かをやってみたい(=発信したい)人たちです。
・登録内容(プロフィール)はプラットフォーム上で公開。広くPRすることができます。

② 次に**コンテンツ**を企画提案してください

・ホストとしてやってみたいこと(コンテンツ)を企画提案してください。
・①と同様に、コンテンツ内容(こだわり・思い)はプラットフォーム上で公開します。

ここで、私たちがサポートしたいコンテンツは、『**街なかに賑わいをもたらす、公益性を備えた取り組み**』です。それに当てはまるものであれば、内容は基本的に自由です。(自己の利益や自己満足だけの公益性が認められない取組は対象外となります。)

06



▲What's ニキロモール？Vol.1 その3

当面の予定



- ・ 3月くらいまでに、**ホスト登録**と**コンテンツ募集**をします。
- ・ 募集内容をもとに、空間の利用ルールを具体化します。
- ・ 5月以降に、提案されたコンテンツをルールに基づき**試行実施**し、その効果を検証、更に改善すべき点を整理します。

↓

- ・ そうした試行を重ねながら、『空間の提供をサポートする』しくみの社会実装を目指します。

(注) 3月くらいまでに行うコンテンツ募集は、**5月以降に予定する試行での実施日時を決めるものではありません。**
(企画提案いただいたコンテンツを確認し、試行する空間所有者と協議した上で、試行実施の可否や日時を相談調整させていただきます)

07



to be continued...

作成年月日 令和4年2月1日

作成者 新潟市スマートシティ協議会

問合せ ニキロモール運営事務局（エヌシーイー株式会社内）
2kmmall@nceinc.co.jp

08

▲What's ニキロモール？Vol.1 その4

②What's ニキロモール？Vol.2【ホストになってみませんか？ 編】

ホスト・コンテンツの申請方法を示す資料を作成し、公開した。

What's ニキロモール？



Vol.2 ホストになってみませんか？ 編

01

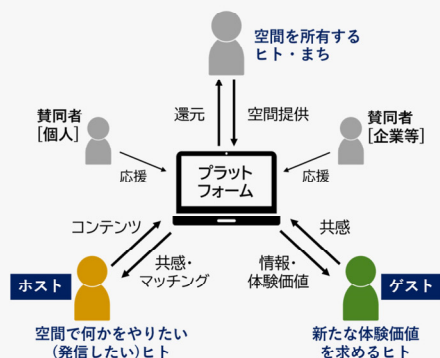
新潟市スマートシティ協議会



『ニキロモール』とは 街なかの活性化を目的とする取組（コンテンツ）を行うための 『空間の提供をサポートする』しくみをつくることです

- ーやりたい人とやりたいことの
「**申請・登録**」
- ーコンテンツを実施する
「**空間の提供**」
- ーこだわりを発信し共感したい人とマッチングする
「**情報提供**」
を一元的に行うプラットフォームと運用のしくみ
をつくること。

このしくみの実現可能性を検証するため、街なかの空間で実際に
コンテンツを実施する**実証実験**を行います。（5月以降予定）



02



▲What's ニキロモール？Vol.2 その1

ホストとコンテンツを募集中

ホストとは

ホストとは、空間を活用してコンテンツを実施する人。
すなわち、何かをやりたい（＝発信したい）人たちのことです。

コンテンツとは

空間を活用してホストが実際にやってみたい取組のこと。

注）ニキロモールでサポートしたいコンテンツは、『街なかに賑わいをもたらす、公益性を備えた取り組み』と考えています。

<ニキロモールのホストになるメリットは？>

- ① ホストのプロフィールを公開します！
- ② コンテンツ（こだわり・思い）を公開します！
- ③ 提案したコンテンツを実施できます※

<自分たちの活動や思いを広くPRできる！>
<様々なホストの情報を共有できる！>



試行実施

- 空間の使用料や手続きは不要
- 実施費用の一部を事務局が補助

03

※企画提案いただいたコンテンツ全ての実施をお約束するものではありません。内容を確認させていただき、空間所有者と協議した上で、実施の可否や日時を相談調整させていただきます。



ホストになる

- ・ホスト登録は、プラットフォーム内で行います。
<https://niigata-smartcity.com/2kmmall/>
- ・基本的な手順は、以下の通りです。

必要事項の入力
・
申し込み

事務局による
内容確認

登録通知メール
の送信
(ログイン・パスワード
の提供)

プラットフォーム
で情報公開



<ポイント>

- ・ホスト登録の件数に上限は設けていません。
- ・内容を事務局で確認させていただきます。必要に応じ問合せをさせていただきます。
- ・利用規約、プライバシーポリシーに同意していただく必要があります。

04



05

- ・●マークは、必ず入力していただくものです。
- ・★マークは、プラットフォームを通じて公開される情報です。

① **ホスト登録
ボタン**

③申請完了

⑥ プラットフォームに情報掲載

④自動返信メール

【ニキロモール】ホスト登録を受け付けました

※このメールはシステムからの自動配信メールです

以下の内容で本スト登録を受け付けました。
内容を確認し、改めて担当者よりご連絡させていただきます。

日時	
団体名・氏名	
フリガナ	

※サンプルイメージです

コンテンツ申請する

- ・コンテンツ申請は、プラットフォーム内で行います。
- ・申請するには、ホスト登録が必要です。
- ・基本的な手順は以下の通りです



<ポイント>

- ・コンテンツは何件でも申請可能です。
- ・内容を事務局で確認させていただきます。必要に応じ確認の問合せをさせていただきます。
- ・利用規約、プライバシーポリシーに同意していただく必要があります

07

* 今回のコンテンツ募集は、5月以降に予定する実証実験での実施日時を決めるものではありません。
(企画提案いただいたコンテンツを確認させていただき、空間所有者と協議した上で、実施の可否や日時を相談調整させていただきます)



コンテンツ申請する (登録に必要な事項)

- ・プラットフォーム内に**記載例**を掲載しています！
<https://niigata-smartcity.com/2kmmall/event/list>



項目名	補足説明等	必須	公開
①コンテンツ名		●	★
②カテゴリ	※次のページをご覧ください	●	★
③活動を希望する日・時間帯	(注) 今回のコンテンツ申請では入力する必要はありません		
④コンテンツの説明・PR	コンテンツの内容を具体的に記載してください	●	★
⑤コンテンツの「こだわり・発信ポイント」	とても重要だと考えています。このコンテンツの想いを記載ください！	●	★
⑥PR写真画像など	過去のチラシや活動状況などを使用してください	●	★
⑦具体的な設置物など	実施にあたり必要な什器、大道具などがあれば記載ください	●	
⑧他の活用スポットでの実施可否	活用できそうな空間が他にあれば選んでください		
⑨当日の担当者	(注) 今回のコンテンツ申請では入力する必要はありません		
⑩当日の緊急連絡先	(注) 今回のコンテンツ申請では入力する必要はありません		
⑪過去のコンテンツの実施有無		●	
⑫その他運営者への連絡事項	確認したいことや要望などございましたら、何なりと記載下さい。		

08

<ポイント>

- ・●マークは、必ず入力していただくものです。
- ・★マークは、プラットフォームを通じて公開される情報です。



▲What's ニキロモール？Vol.2 その4

コンテンツ申請する (コンテンツのイメージ)

- ・ニキロモールでサポートしたいコンテンツは、『**街なかに賑わいをもたらす、公益性を備えた取り組み**』です。
- ・以下のイメージ以外にも、様々な企画提案を期待しています。

	カテゴリー	具体的なメニュー(例えば.....)
1	飲食店	オープンカフェ、キッチンカー、屋台
2	購買(飲食物あり)	食品販売、農水産物直売・朝市等
3	購買(飲食物なし)	フリーマーケット、芸術・工芸などの作品の展示販売、物品販売、授産施設等福祉団体が実施する物品販売等、物産展、品評会、展示即売会
4	広報・啓発活動	直接販売収益を目的としない企業等のキャンペーン、食文化の啓発に貢献するイベント等、ボランティア活動、観光交流イベント、環境フェア(環境・エネルギー・新技術等)等、福祉フェア(医療・保健・介護・児童・育児等)等、社会貢献キャンペーン、交通安全運動、フォーラム、講演会、公共広報活動
5	コミュニティスペース	休憩・待ち合せスペース、地域交流スペース、サテライトオフィス
6	サービス提供	スポーツ教室等、エクササイズ
7	作品・広告展示	美術展覧会、アート・マンガイベント、児童・学生作品展示、市民作品展
8	ライブ・パフォーマンス	パフォーマンス、太道芸、演奏ライブ、ファッションショー、トークショー、公開番組・公開録音、踊り、伝統芸能
9	利便増進物品等の貸出し	自転車等の貸出し、物品の貸出し
10	ワークショップ	ワークショップ

09

「公益性」とは、簡単に言えば「多くの人の役に立つこと」だと考えます。解釈は色々あると思いますが、だからこそ申請時の『④コンテンツの説明・PR』や『⑤コンテンツの「こだわり・発信ポイント」』で、お考えを聞かせてください。



コンテンツ申請する(登録完了までの手順 1 / 3)

①ログイン

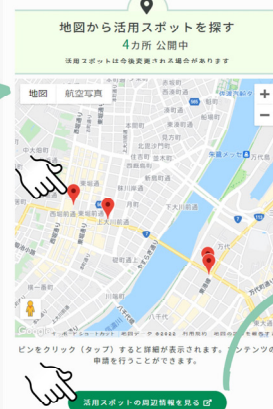


②コンテンツ申請ボタン



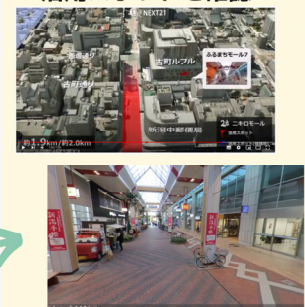
③活用スポットを選ぶ

<使ってみたい場所を選択しよう!>



③-2

活用スポットを確認



このボタンから、空から見たにいがた2kmや、活用スポット周辺を360度写真で確認することができます!

10

*今回のコンテンツ募集は、5月以降に予定する実証実験での実施日時を決めるものではありません。(企画提案いただいたコンテンツを確認させていただき、空間所有者と協議した上で、裏施の可否や日時を相談調整させていただきます)



▲What's ニキロモール? Vol.2 その5

コンテンツ申請する（登録完了までの手順 2 / 3）

③活用スポットを選択後の画面

⇒「コンテンツを申請する」ボタンを押す



④ホスト登録内容の入力

コンテンツ申請

(ご注意) 現在は、コンテンツの企画提案までを受け付けています。実際の利用申し込みは4月頃より行う予定です。

申請場所：根谷小路ゆあい公園

この空間をご利用の方は、利用できる用途・禁止事項・利用上の留意点を必ずお読みください

※マークは当システムを利用する他のユーザに公開される情報です。※マーク以外の情報が許可なく公開されることはございませんので安心ください。

コンテンツ名(*)

例: 地産地消ワークショップ

カテゴリ(*)

飲食店

11

* 今回のコンテンツ募集は、5月以降に予定する実証実験での実施日時を決めるものではありません。
(企画提案いただいたコンテンツを確認させていただき、空間所有者と協議した上で、実施の可否や日時を相談調整させていただきます)

コンテンツ申請する（登録完了までの手順 3 / 3）

⑤申請完了

2キロモール

コンテンツ申請完了

申請しました。

<同時に>

⑥自動返信メール

【2キロモール】コンテンツ申請を受け付けました

※このメールはシステムからの自動返信メールです

様

以下の内容でコンテンツ申請を受け付けました。
内容を確認し、改めて担当者よりご連絡させていただきます。

日時	2022年01月30日 00:15
活用スポット名	メディアアシップ
コンテンツ名	
カテゴリ	飲食店
活用を希望する日・時間帯 [第1希望]	
活用を希望する日・時間帯 [第2希望]	未設定
活用を希望する日・時間帯 [第3希望]	未設定

⑦登録通知メール

【2キロモール】コンテンツ申請承認のご連絡

様

日頃より2キロモールのサービスをご利用いただきありがとうございます。
下記の内容でコンテンツ申請の申請が承認されましたことをご連絡申し上げます。

申請日時	2022年01月30日 00時15分
活用スポット	メディアアシップ
コンテンツ名	
カテゴリ	飲食店
コンテンツ日時	

コンテンツの説明・PR

⑧プラットフォームに情報掲載

2キロモール

コンテンツ情報



基本情報	
コンテンツ名	【企画案】まちなみアート
開催場所・名称	【企画案】MUGATA FURNITURE
日時	2022/02/09 12:00-18:00

※サンプルイメージです

ご注意：「申請承認」は、活用スポットでの実施をお約束するものではありません。

12

* 今回のコンテンツ募集は、5月以降に予定する実証実験での実施日時を決めるものではありません。
(企画提案いただいたコンテンツを確認させていただき、空間所有者と協議した上で、実施の可否や日時を相談調整させていただきます)

▲What's ニキロモール？ Vol.2 その6

当面の 予定



(募集活動)

- ・ホスト登録とコンテンツ募集は、4月中旬くらいまで行います。
※承認した情報は、順次プラットフォームに公開いたします！

(実証実験に向けた準備)

- ・応募されたコンテンツ内容をもとに、空間利用者等と協議しながら、各空間での利用ルールを具体化します。

(実験実施と効果分析)

- ・5月以降、提案されたコンテンツをルールに基づき実施し、その効果を検証・改善すべき点を洗い出し、『ニキロモール』をアップデートしていきます。

↓

○そうした試行を重ねながら、『**ニキロモール(空間の提供をサポートするしくみ)**』の社会実装を目指します。



ホストになってみませんか？

<https://niigata-smartcity.com/2kmmall/>

to be continued...

作成年月日 令和4年2月10日

作成者 新潟市スマートシティ協議会

問合せ ニキロモール運営事務局（エヌシーイー株式会社内）
2kmmall@nceinc.co.jp

15

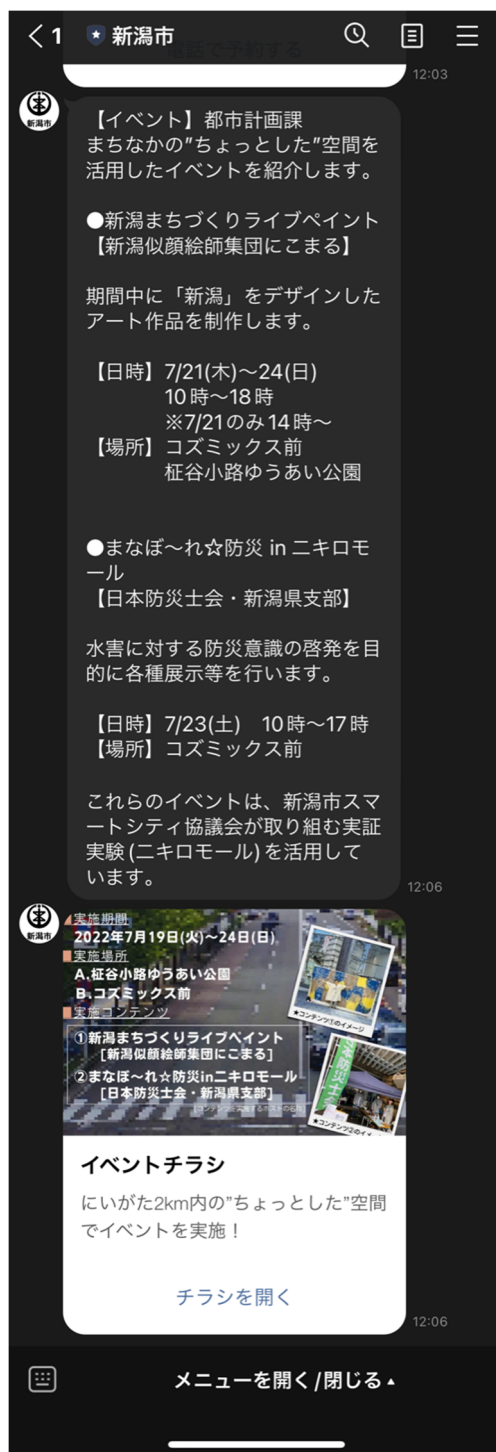
▲What's ニキロモール？Vol.2 その8

(4) プラットフォームを用いた試行実施に係る広報

コンテンツ実施を以下の方法で広報した。

①新潟市公式 LINE への投稿

一般市民向けに新潟市公式 LINE へ投稿した。



▲新潟市公式 LINE への投稿内容

②新潟市役所職員掲示板への投稿

新潟市関連の関係団体向けに市役所職員向け掲示板へ投稿し、関係団体への拡散を依頼した。

▲新潟市役所職員掲示板への投稿内容 その1

ニキロモールとは

街なかに存在するちょっとした空間を簡単に活用いただけるしくみのことです。

街なかのちょっとした空間を、ヒトやモノ、情報・文化などの魅力的な資源を発信する場・出会う場として活用し、街なかの活性化を図ることを目的に新潟市スマートシティ協議会が取り組んでいます。

詳細は、ニキロモールのウェブサイトをご覧ください。

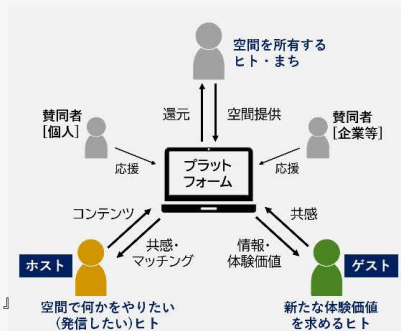


図. 『空間の提供をサポートする』しくみのイメージ

実証実験で行うコンテンツの概要

どなたもご自由にコンテンツにご参加ください。

コンテンツ	①新潟まちづくりライブペイント	②まなぼ〜れ☆防災in ニキロモール
ホスト	新潟似顔絵師集団にこまる 	日本防災士会・新潟県支部 
内 容	期間中に「新潟」をデザインしたもののアート作品を制作します。立ち寄ったお客様がペイント作業を行う参加型アートも実施予定。	水害に対する防災意識の啓発を目的として、映像素材や過去の水害のパネル展および水害時を想定した防災グッズの展示等を行います。
実施場所	コズミックス/ゆうあい公園	コズミックス
実施日時 ※1	7/21(木)~24(日) 10:00~18:00	7/23(土) 10:00~17:00
ホストから一言！	アートでまちづくりをコンセプトに、イラストペイント作品制作を行います。クリエイターの方で新潟を歩くだけで楽しい街に◎	陽気に楽しく「まなぼーれ」×新潟のことを「まなぼーれ」。防災・減災を楽しく学んで「災害で命を失うことの無い地域社会」と「SDGs」の実現を目指しています。

※1：荒天等により、中止または時間変更する場合があります。

＜お願い＞

- ・ご覧になる際は、歩道の歩行者等の妨げにならないようお願いいたします。状況によりお声掛けさせていただく場合があります。
- ・実証実験に立ち寄られた方に簡易な意向調査(アンケート)のご協力をいただく場合があります。



**ホストと
コンテンツを
募集中！**

ニキロモールの取組に興味をお持ちの方は以下のURLまたはQRコードからお問い合わせください。

<https://niigata-smartcity.com/2kmmall/>

ニキロモール
ウェブサイト
はこちら



主催：新潟市スマートシティ協議会
(ニキロモール運営事務局)

▲新潟市役所職員掲示板への投稿内容 その2

③にいがた未来会議 slack への投稿

中心市街地のまちづくり有志のコミュニティへ投稿し、関係団体への拡散を依頼した。

④にいがた 2km クリエイション参加者へのメール

前述の「にいがた 2km クリエイション」参加者に対し、実証実施をお知らせした。

5. 実験実施結果

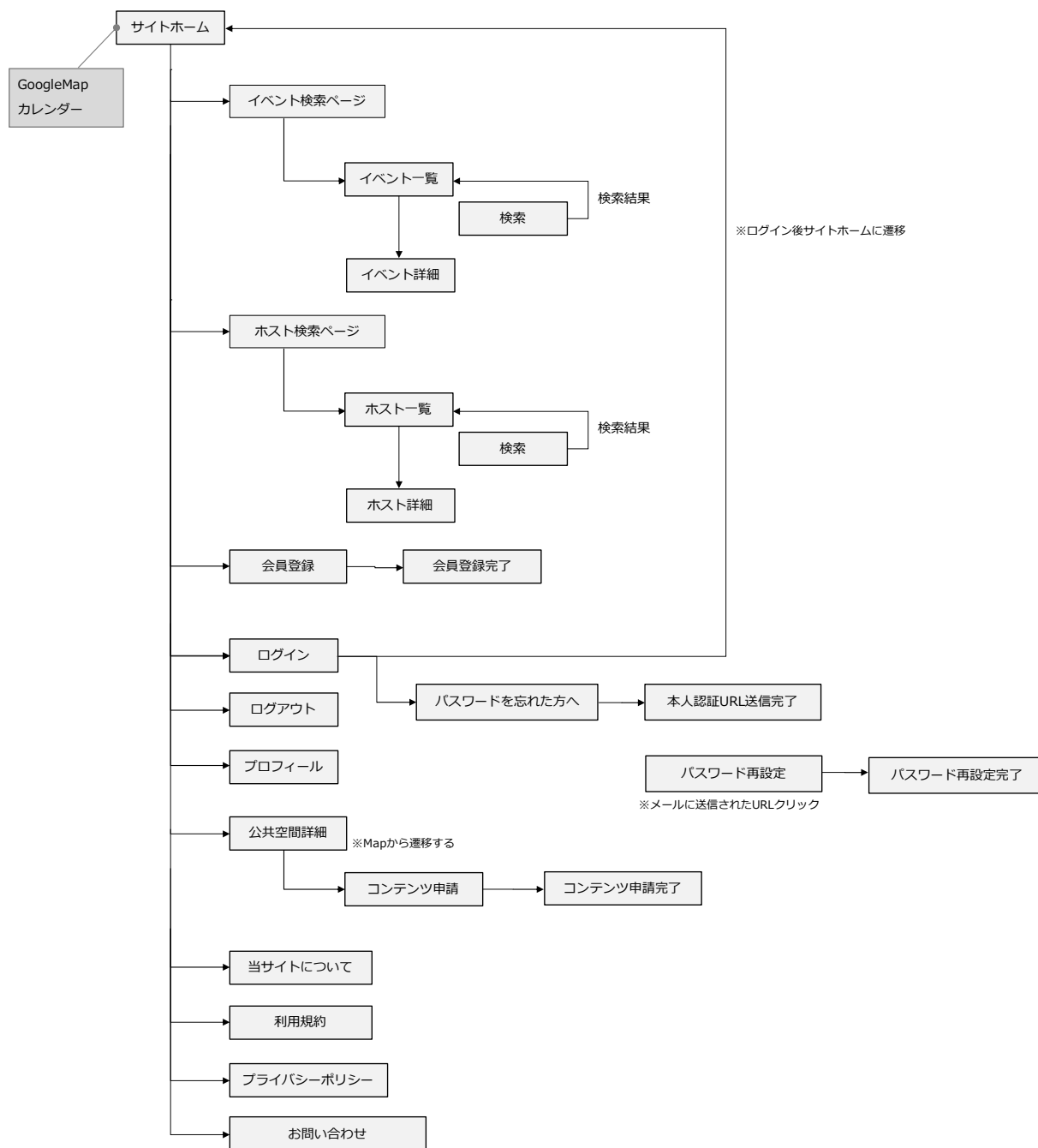
5-1 プラットフォームの作成

空間利用の予約や、ホスト・コンテンツの情報を提供するためプラットフォームを作成した。

(1) プラットフォームの URL

<https://niigata-smartcity.com/2kmmall/>

(2) サイト構成



▲プラットフォームのサイト構成

5-1-1 公開用システム

公開用システムは、本サービス利用者（ホスト・ゲスト・所有者）が活用するものである。

(1) トップページ（ホスト・ゲスト共通）

2km ニキロモール



お知らせ

2022年2月1日

サイトを公開しました。[\(ニキロモールとは\)](#)

ホストおよびコンテンツの募集を開始しました。詳細は[こちら](#)。

にいがた2kmクリエイションを開催します。詳細は[こちら](#)。

地図から活用スポットを探す

4カ所 公開中



ピンをクリック（タップ）すると詳細が表示されます。

▲ トップページおよび活用スポット位置図

(2) ホストー一覧（ホスト・ゲスト共通）

2. ニキロモール



ホストー一覧

検索条件

カテゴリ

- ☐ 飲食店
- ☐ 購買(飲食物あり)
- ☐ 購買(飲食物なし)
- ☐ 広報・啓発活動
- ☐ コミュニティスペース
- ☐ サービス提供
- ☐ 作品・広告展示
- ☐ ライブ・パフォーマンス
- ☐ 利便増進物品等の貸出し
- ☐ ワークショップ

フリーワード

検索する

検索結果 11 件



日本防災士会・新潟県支部

広報・啓発活動

日本防災士会・新潟県支部は、特定非営利活動法人日本防災士会の一県一支部の直系支部として、幅広い防災

▲ホストー一覧・検索画面

(3) コンテンツ一覧（ホスト・ゲスト共通）

2~~※~~ ニキロモール



コンテンツ一覧

検索条件

活用スポット

- ☐ コズミックス
- ☐ メディアシップ
- ☐ 榎谷小路ゆうあい公園
- ☐ 古町モール(7番町)

フリーワード

カテゴリ

- ☐ 飲食店
- ☐ 購買(飲食物あり)
- ☐ 購買(飲食物なし)
- ☐ 広報・啓発活動
- ☐ コミュニティスペース
- ☐ サービス提供
- ☐ 作品・広告展示
- ☐ ライブ・パフォーマンス
- ☐ 利便増進物品等の貸出し
- ☐ ワークショップ

日付

2022/07/28



～

年/月/日

※過去に開催したコンテンツも検索できます。

検索する

検索結果 0 件

条件に一致するコンテンツが見つかりませんでした。

▲コンテンツ一覧・検索画面

(4) 活用スポットの周辺情報（ホスト・ゲスト共通）

2k ニキロモール



ニキロモールの取組エリア（にいがた2km）

この動画は、PLATEAU（3D都市モデル）と航空写真画像（オルソ画像）を用いて作成しています。



※活用スポットは今後変更される場合があります。

活用スポットを360度写真で見る 4カ所 公開中

ピンをクリック（タップ）すると360度写真へのリンクが表示されます。



このページの情報は株式会社ナカノアイシステムが作成しています。

▲ PLATEAU を活用したニキロモール取組エリアの紹介映像と 360 度写真のページ



二キロモール（公共空間等活用実証実験）

🔒 限定公開

123 回視聴 2021/12/24 ICTを活用した住みやすい街づくりを目指す新潟市スマートシティ協議会では、新潟市都心部（『にいがた2km』エリア）を対象に、まちなかの活性化を目...もっと見る

👍 1 🗨️ 低評価 ➦ 共有 ⬇️ オフライン ⋮ 保存 ...

▲PLATEAU を活用した二キロモール取組エリアの紹介映像



▲活用スポットの 360 度写真

(5) コンテンツ申請（ホスト専用）

2~~※~~ ニキモール



コンテンツ申請

(ご注意) 7/19(火)～7/24(日)での試行実施に対する申請を受け付けています。

申請場所：コズミックス

この空間をご利用の方は、利用できる用途・
禁止事項・利用上の留意点を必ずお読みください

★マークは当システムを利用する他のユーザに公開される情報です。
★マーク以外の情報が許可なく公開されることはございませんのでご安心ください。

コンテンツ名(★)

必須

例: 地産地消ワークショップ

カテゴリ(★)

必須

飲食店

活用を希望する日・時間帯
[第1希望]

必須

※7/19(火)～7/24(日)での試行実施期間内で申請してください。

年/月/日 日 ~ 年/月/日 日

例: 9:00~12:00(※3日目のみ13:00~16:30)

※コンテンツは最大5日間開催可能です。

活用を希望する日・時間帯
[第2希望]

年/月/日 日 ~ 年/月/日 日

例: 9:00~12:00(※3日目のみ13:00~16:30)

▲コンテンツ申請および活用スポット利用上の注意

<利用できる用途・禁止事項・利用上の留意点>

The screenshot shows the Nikiro MALL website interface. At the top left is the logo with the text "ニキロモール". At the top right are links for "ニキロモールとは" and "お問い合わせ", and buttons for "プロフィール" and "ログアウト". A modal window titled "必ずご確認ください" (Please confirm) is open, containing the following sections:

- 1. 利用できるカテゴリ**
 - ・令和3年度内のコンテンツ申請は、コンテンツのアイディアの募集です。
 - ・申請されたコンテンツの内容に対し、活用スポットの所有者・管理者と協議し、各活用スポットの利用のルールを設定しますので、様々な活用方法を申請してください。
- 2. 禁止事項**
 - ・法令または公序良俗に違反する行為
 - ・犯罪行為に関連する行為
 - ・所定の空間以外の交通に支障となる行為
 - ・既存の施設等に損傷を与える行為
- 3. 利用上の留意点**
 - ・令和3年度内のコンテンツ申請は、コンテンツのアイディアの募集です。
 - ・「コンテンツ申請承認のご連絡」があった場合も、活用スポットの利用はできませんので、ご注意ください。

At the bottom of the modal window, it says "※実際の利用申し込みは4月頃より行う予定です。" (Actual application for use is planned for around April). The date "2022年2月1日 制定" (Established February 1, 2022) is also present. A "閉じる" (Close) button is at the bottom center of the modal.

(6) その他

1) 統合アプリの改修

ゲスト等の人流データ取得のため、統合アプリのインストール・利用を促進させる必要があるため、統合アプリからプラットフォームへのリンクを作成したうえで、広報等では統合アプリからのアクセスを促すこととした。

統合アプリの改修内容を以下に示す。



▲統合アプリの改修内容

2) 利用規約の設定

利用規約

この利用規約（以下、「本規約」といいます。）は、新潟市スマートシティ協議会二キロメートル運営事務局（以下、「当事務局」といいます。）がこのウェブサイト上で提供するサービス（以下、「本サービス」といいます。）の利用条件を定めるものです。登録宿主およびゲストの皆さま（以下、「ユーザー」といいます。）には、本規約に従って、本サービスをご利用いただきます。

第1条（適用）

本規約は、ユーザーと当事務局との間の本サービスの利用に関わる一切の関係に適用されるものとします。

当事務局は本サービスに関し、本規約のほか、ご利用にあたってのルール等、各種の定め（以下、「個別規定」といいます。）をすることがあります。これら個別規定はその名称のいかんに関わらず、本規約の一部を構成するものとします。

本規約の規定が前条の個別規定の規定と矛盾する場合には、個別規定において特段の定めなき限り、個別規定の規定が優先されるものとします。

第2条（利用登録）

本サービスにおいては、登録希望者が本規約に同意の上、当事務局の定める方法によって利用登録を申請し、当事務局がこれを承認することによって、利用登録が完了するものとします。

当事務局は、利用登録の申請者に以下の事由があると判断した場合、利用登録の申請を承認しないことがあり、その理由については一切の開示義務を負わないものとします。

利用登録の申請に際して虚偽の事項を届け出た場合

本規約に違反したことがある者からの申請である場合

その他、当事務局が利用登録を相当でないと判断した場合

第3条（ユーザーID およびパスワードの管理）

ユーザーは、自己の責任において、本サービスのユーザーID およびパスワードを適切に管理するものとします。

ユーザーは、いかなる場合にも、ユーザーID およびパスワードを第三者に譲渡または貸与し、もしくは第三者と共用することはできません。当事務局は、ユーザーID とパスワードの組み合わせが登録情報と一致してログインされた場合には、そのユーザーID を登録しているユーザー自身による利用とみなします。

ユーザーID 及びパスワードが第三者によって使用されたことによって生じた損害は、当事務局に故意又は重大な過失がある場合を除き、当事務局は一切の責任を負わないものと

します。

第4条（利用料金および支払方法）

ユーザーは、本サービスの有料部分の対価として、当事務局が別途定め、本ウェブサイトに表示する利用料金を、当事務局が指定する方法により支払うものとします。

ユーザーが利用料金の支払を遅滞した場合には、ユーザーは年 14. 6%の割合による遅延損害金を支払うものとします。

第5条（禁止事項）

ユーザーは、本サービスの利用にあたり、以下の行為をしてはなりません。

法令または公序良俗に違反する行為

犯罪行為に関連する行為

本サービスの内容等、本サービスに含まれる著作権、商標権ほか知的財産権を侵害する行為

当事務局、ほかのユーザー、またはその他第三者のサーバーまたはネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為

本サービスによって得られた情報を商業的に利用する行為

当事務局のサービスの運営を妨害するおそれのある行為

不正アクセスをし、またはこれを試みる行為

他のユーザーに関する個人情報等を収集または蓄積する行為

不正な目的を持って本サービスを利用する行為

本サービスの他のユーザーまたはその他の第三者に不利益、損害、不快感を与える行為

他のユーザーに成りすます行為

当事務局が許諾しない本サービス上での宣伝、広告、勧誘、または営業行為

面識のない異性との出会いを目的とした行為

当事務局のサービスに関連して、反社会的勢力に対して直接または間接に利益を供与する行為

その他、当事務局が不適切と判断する行為

第6条（本サービスの提供の停止等）

当事務局は、以下のいずれかの事由があると判断した場合、ユーザーに事前に通知することなく本サービスの全部または一部の提供を停止または中断することができるものとします。

本サービスにかかるコンピュータシステムの保守点検または更新を行う場合

地震、落雷、火災、停電または天災などの不可抗力により、本サービスの提供が困難となった場合

コンピュータまたは通信回線等が事故により停止した場合

その他、当事務局が本サービスの提供が困難と判断した場合

当事務局は、本サービスの提供の停止または中断により、ユーザーまたは第三者が被ったいかなる不利益または損害についても、一切の責任を負わないものとします。

第7条（利用制限および登録抹消）

当事務局は、ユーザーが以下のいずれかに該当する場合には、事前の通知なく、ユーザーに対して、本サービスの全部もしくは一部の利用を制限し、またはユーザーとしての登録を抹消することができるものとします。

本規約のいずれかの条項に違反した場合

登録事項に虚偽の事実があることが判明した場合

料金等の支払債務の不履行があった場合

当事務局からの連絡に対し、一定期間返答がない場合

本サービスについて、最終の利用から一定期間利用がない場合

その他、当事務局が本サービスの利用を適当でないと判断した場合

当事務局は、本条に基づき当事務局が行った行為によりユーザーに生じた損害について、一切の責任を負いません。

第8条（退会）

ユーザーは、当事務局の定める退会手続により、本サービスから退会できるものとします。

第9条（保証の否認および免責事項）

当事務局は、本サービスに事実上または法律上の瑕疵（安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性、セキュリティなどに関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害などを含みます。）がないことを明示的にも黙示的にも保証しておりません。

当事務局は、本サービスに起因してユーザーに生じたあらゆる損害について一切の責任を負いません。ただし、本サービスに関する当事務局とユーザーとの間の契約（本規約を含みます。）が消費者契約法に定める消費者契約となる場合、この免責規定は適用されません。

前項ただし書に定める場合であっても、当事務局は、当事務局の過失（重過失を除きます。）による債務不履行または不法行為によりユーザーに生じた損害のうち特別な事情から生じた損害（当事務局またはユーザーが損害発生につき予見し、または予見し得た場合を含みます。）について一切の責任を負いません。また、当事務局の過失（重過失を除きます。）による債務不履行または不法行為によりユーザーに生じた損害の賠償は、ユーザーから当該損害が発生した月に受領した利用料の額を上限とします。

当事務局は、本サービスに関して、ユーザーと他のユーザーまたは第三者との間において生じた取引、連絡または紛争等について一切責任を負いません。

第10条（サービス内容の変更等）

当事務局は、ユーザーに通知することなく、本サービスの内容を変更または本サービスの提供を中止することができるものとし、これによってユーザーに生じた損害について一切の責任を負いません。

第 11 条（利用規約の変更）

当事務局は、必要と判断した場合には、ユーザーに通知することなくいつでも本規約を変更することができるものとします。なお、本規約の変更後、本サービスの利用を開始した場合には、当該ユーザーは変更後の規約に同意したものとみなします。

第 12 条（個人情報の取扱い）

当事務局は、本サービスの利用によって取得する個人情報については、当事務局「プライバシーポリシー」に従い適切に取り扱うものとします。

第 13 条（通知または連絡）

ユーザーと当事務局との間の通知または連絡は、当事務局の定める方法によって行うものとします。当事務局は、ユーザーから、当事務局が別途定める方式に従った変更届け出がない限り、現在登録されている連絡先が有効なものとみなして当該連絡先へ通知または連絡を行い、これらは、発信時にユーザーへ到達したものとみなします。

第 14 条（権利義務の譲渡の禁止）

ユーザーは、当事務局の書面による事前の承諾なく、利用契約上の地位または本規約に基づく権利もしくは義務を第三者に譲渡し、または担保に供することはできません。

第 15 条（準拠法・裁判管轄）

本規約の解釈にあたっては、日本法を準拠法とします。

本サービスに関して紛争が生じた場合には、当事務局の本店所在地を管轄する裁判所を専属的合意管轄とします。

以上

3) プライバシーポリシーの設定

プライバシーポリシー

新潟市スマートシティ協議会ニキロモール運営事務局（以下、「当事務局」といいます。）は、当事務局が取得した個人情報の取扱いに関し、個人情報の保護に関する法律、個人情報保護に関するガイドライン等の指針、その他個人情報保護に関する関係法令を遵守します。

第1条（個人情報の安全管理）

当事務局は、個人情報の保護に関して、組織的、物理的、人的、技術的に適切な対策を実施し、当事務局の取り扱う個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講ずるものとします。

第2条（個人情報の取得等の遵守事項）

当事務局による個人情報の取得、利用、提供については、以下の事項を遵守します。

(1)個人情報の取得

当事務局は、このウェブサイト上で提供するサービス（以下、「本サービス」といいます。）の運営に必要な範囲で、本サービスの登録ホストおよびゲストの皆さま（以下「ユーザー」といいます。）から、ユーザーに係る個人情報を取得することがあります。

(2)個人情報の利用目的

当事務局は、当事務局が取得した個人情報について、法令に定める場合又は本人の同意を得た場合を除き、以下に定める利用目的の達成に必要な範囲を超えて利用することはありません。

- ① 本サービスの運営、維持、管理
- ② 本サービスを通じたサービスの提供及び紹介
- ③ 本サービスの品質向上のためのアンケート

(3)個人情報の提供等

当事務局は、法令で定める場合を除き、本人の同意に基づき取得した個人情報を、本人の事前の同意なく第三者に提供することはありません。なお、本人の求めによる個人情報の開示、訂正、追加若しくは削除又は利用目的の通知については、法令に従いこれを行うとともに、ご意見、ご相談に関して適切に対応します。

第3条（個人情報の利用目的の変更）

当事務局は、前条で特定した利用目的は、予め本人の同意を得た場合を除くほかは、原則として変更しません。但し、変更前の利用目的と相当の関連性を有すると合理的に認めら

れる範囲において、予め変更後の利用目的を公表の上で変更を行う場合はこの限りではありません。

第4条（個人情報の第三者提供）

当事務局は、個人情報の取扱いの全部又は一部を第三者に委託する場合、その適格性を十分に審査し、その取扱いを委託された個人情報の安全管理が図られるよう、委託を受けた者に対する必要かつ適切な監督を行うこととします。

第5条（個人情報の取扱いの改善・見直し）

当事務局は、個人情報の取扱い、管理体制及び取組みに関する点検を実施し、継続的に改善・見直しを行います。

第6条（個人情報の廃棄）

当事務局は、個人情報の利用目的に照らしその必要性が失われたときは、個人情報を消去又は廃棄するものとし、当該消去及び廃棄は、外部流失等の危険を防止するために必要かつ適切な方法により、業務の遂行上必要な限りにおいて行います。

第7条（苦情や相談の担当窓口）

当事務局は、個人情報の取扱いに関する担当窓口及び責任者を以下の通り設けます。

【二キロモール運営事務局（エヌシーイー株式会社内）】

E-mail：2kmmall@nceinc.co.jp

個人情報苦情・相談窓口責任者 木村 光伸

5-1-2 管理者用システム

管理者用システムは、ホストやコンテンツの応募申請登録などの受付・確認を行うためのものである。

(1) ホーム画面

24 ニキロモール

ホーム

ホスト管理

コンテンツ管理

ホーム

承認済みホスト
11件
一覧を見る

公開されているコンテンツ
7件
一覧を見る

ホストの登録 1件

団体名・氏名	代表者名	メールアドレス	状態	登録日	操作
新潟県観光協会にこまる	阿部将章	nicomaru.order@gmail.com	登録中	2022/07/19 06:20	登録処理

コンテンツの申請

現在、申請はありません。

© 新潟市スマートシティ協議会

▲管理者用システム ホーム画面

(2) ホスト管理画面



 ホーム

 ホスト管理

 コンテンツ管理

三

ホーム / ホスト一覧

ホスト一覧

検索条件

団体名・氏名または代表者名

カテゴリ

承認状況

検索する

一覧 15 件

団体名・氏名	代表者名	カテゴリ	状態	更新日	操作
テストホスト	テスト太郎	飲食店, 購買(飲食物あり), 購買(飲食物なし), 広報・啓発活動, コミュニティスペース, サービス提供, 作品・広告展示, ライブ・パフォーマンス, 利便増進物品等の貸出し, ワークショップ	退会	2022/01/31 10:26	編集
テスト同好会	テスト太郎	飲食店	退会	2022/01/31 16:21	編集
エヌシーイー株式会社	大平 豊	広報・啓発活動	否認	2022/02/02 14:11	編集
日本防災士会・新潟県支部	西潟清二	広報・啓発活動	承認	2022/02/16 11:13	編集
PANDACAFE	手島ひとみ	飲食店	承認	2022/02/21 17:14	編集
多幸坊主	本田 雅彦	飲食店	承認	2022/02/21 17:14	編集
embuddy	土居 明莉	サービス提供	承認	2022/03/10 22:12	編集
ヒットバレード合同会社	塚野弘達	飲食店	承認	2022/03/22 20:53	編集
株式会社ジョイフルタウン	風間彰亮	購買(飲食物あり), 購買(飲食物なし), 広報・啓発活動, サービス提供, ライブ・パフォーマンス, ワークショップ	承認	2022/03/31 09:26	編集
【記載例】チームフォレスト	【記載例】森ヒナタ(※芸名)	ライブ・パフォーマンス	承認	2022/04/04 09:42	編集
【記載例】育児サポートの会	【記載例】吉方慶子	広報・啓発活動, ワークショップ	承認	2022/04/04 09:42	編集
【記載例】手作り雑貨愛好会	【記載例】木岡彩月	作品・広告展示, ワークショップ	承認	2022/04/04 09:42	編集
【記載例】NIIGATA FURNITURE	【記載例】カワシムウツ(※ビジネスネーム)	購買(飲食物あり), 購買(飲食物なし), コミュニティスペース, サービス提供	承認	2022/04/04 09:42	編集
新潟県顔絵師集団にごまる	阿部将章	作品・広告展示, ライブ・パフォーマンス, ワークショップ	登録	2022/07/19 06:20	編集
新潟県顔絵師集団にごまる	阿部将章	サービス提供, 作品・広告展示, ライブ・パフォーマンス, ワークショップ	承認	2022/07/20 07:07	編集

<< < 1 > >>

▲管理者用システム ホスト管理画面

(3) コンテンツ管理画面


ニギロモール

ホーム

ホスト管理

コンテンツ管理

ホーム / コンテンツ一覧

コンテンツ一覧

検索条件

活用スポット

☐ コズミックス ☐ メディアシップ ☐ 榎谷小路ゆうあい公園 ☐ 古町モール(7番町)

団体名・氏名

コンテンツ名

カテゴリ

☐ 飲食店 ☐ 購買(飲食物あり) ☐ 購買(飲食物なし) ☐ 広報・啓発活動
☐ コミュニティスペース ☐ サービス提供 ☐ 作品・広告展示 ☐ ライブ・パフォーマンス
☐ 利便増進物品等の貸出し ☐ ワークショップ

日付

~

状態

☐ 申請中 ☐ 承認 ☐ 否認 ☐ 中止

検索する

一覧 10 件

活用スポット	コンテンツ名	カテゴリ	団体名・氏名	状態	更新日	操作
コズミックス	テストコンテンツ	飲食店	テスト同好会	中止	2022/01/31 16:21	編集
榎谷小路ゆうあい公園	地産地消ワークショップ	飲食店	【記載例】育児サポートの会	否認	2022/02/02 14:11	編集
コズミックス	【記載例】パントマイムショー	ライブ・パフォーマンス	【記載例】チームフォレスト	承認	2022/02/09 19:24	編集
メディアシップ	【記載例】あおぞら子育て相談	飲食店	【記載例】育児サポートの会	承認	2022/02/09 19:25	編集
古町モール(7番町)	【記載例】フラワーアレンジメント展	作品・広告展示	【記載例】手作り雑貨愛好会	承認	2022/02/09 19:25	編集
榎谷小路ゆうあい公園	【記載例】まちなかデルアウト	飲食店	【記載例】NIIGATA FURNITURE	中止	2022/02/17 15:54	編集
メディアシップ	【記載例】まちなかデルアウト	サービス提供	【記載例】NIIGATA FURNITURE	承認	2022/02/17 16:12	編集
榎谷小路ゆうあい公園	新潟まちづくりライブイベント	ライブ・パフォーマンス	新潟似顔絵師集団にこまる	承認	2022/07/20 09:36	編集
コズミックス	新潟まちづくりライブイベント	ライブ・パフォーマンス	新潟似顔絵師集団にこまる	承認	2022/07/20 15:50	編集
コズミックス	まなぼ〜れ☆防災in.ニギロモール	広報・啓発活動	日本防災士会・新潟県支部	承認	2022/07/22 15:39	編集

<< < 1 > >>

© 新潟市スマートシティ協議会

▲ 管理者用システム コンテンツ管理画面

5-2 ホスト・コンテンツの募集

作成したプラットフォームを用い、本実証実験のホスト・コンテンツを募集した。

5-2-1 ホストの募集結果

ホストを募集した結果、以下の7件の応募登録があった。

▼プラットフォームに登録されたホスト一覧

	名称	事業内容等
1	新潟似顔絵師集団にこまる	似顔絵・イラスト・ペイントなど
2	日本防災士会・新潟県支部	防災啓発活動
3	PANDACAFE（パンダカフェ）	キッチンカー
4	多幸坊主	キッチンカー
5	embuddy（エンバディ）	筋トレ、ヨガなど
6	ヒットパレード合同会社	キッチンカーなど
7	株式会社ジョイフルタウン	出版、ワークショップなど

(1) 新潟似顔絵師集団にこまる



基本情報

団体名・氏名	新潟似顔絵師集団にこまる
フリガナ	ニイガタニガオエシシュウダンニコマル
代表者名	阿部将章
カテゴリ	サービス提供, 作品・広告展示, ライブ・パフォーマンス, ワークショップ
過去の活動実績・取組に対する思いなど	似顔絵・イラスト・ペイントを通して、みんなの"にこにこ"をあつめます 新潟でクリエイティブな力が集まる地域にしたいです◎ ――過去の実績―― 似顔絵パフォーマンス 似顔絵ライブペイント ライブペイント 似顔絵ワークショップ 絵の具、イラスト講習 謎解きイベント開催
団体ホームページ等のURL	https://www.nicomaru.jp/

▲新潟似顔絵師集団にこまるのホスト登録情報

(2) 日本防災士会・新潟県支部



基本情報

団体名・氏名	日本防災士会・新潟県支部
フリガナ	ニホンボウサイシカイ・ニイガタケンシブ
代表者名	西潟清二
カテゴリ	広報・啓発活動
過去の活動実績・取組に対する思いなど	日本防災士会・新潟県支部は、特定非営利活動法人日本防災士会の一県一支部の直系支部として、幅広い防災啓発活動を通じて、地域の安全安心の実現に努めています。実績：「にいがたカナル彩」出展R3.4、「おやこぼうさい教室」R3.7、「小千谷そなえ館まつり」出展R3.10などのイベント出展。日頃は、学校防災教育や防災講演会などの事前防災や災害ボランティアを展開しています。
団体ホームページ等のURL	https://sites.google.com/view/bousaishikai-niigata

▲日本防災士会・新潟県支部のホスト登録情報

(3) PANDACAFE（パンダカフェ）



基本情報

団体名・氏名	PANDACAFE
フリガナ	パンダカフェ
代表者名	手島ひとみ
カテゴリ	飲食店
過去の活動実績・取組に対する思いなど	みなとびあプロジェクションマッピング ふるさと村クレープ祭り 胎内チューリップフェスティバル 等 新潟を盛り上げて行けたらと思います。
団体ホームページ等のURL	https://pandacafeblack.wixsite.com/pandacafe

▲PANDACAFE（パンダカフェ）のホスト登録情報

(4) 多幸坊主



基本情報

団体名・氏名	多幸坊主
フリガナ	タコボウズ
代表者名	本田 雅彦
カテゴリ	飲食店
過去の活動実績・取組に対する 思いなど	関西出身キッチンカーの【多幸坊主】です 新潟県各地に出発させていただいて います 楽しく笑顔があふれれば幸いです(●´ω´●)
団体ホームページ等のURL	https://instagram.com/takobouzu87?r=nametag

▲多幸坊主のホスト登録情報

(5) embuddy（エンバディ）



基本情報

団体名・氏名	embuddy
フリガナ	エンバディ
代表者名	土居 明莉
カテゴリ	サービス提供
過去の活動実績・取組に対する 思いなど	embuddyはどこでも新しい運動習慣を作る鏡です。鏡にインストラクターが映り、筋トレ、ヨガなどレッスンを見ながら気軽に仲間と運動を楽しめます。ダンス歴が10年以上の代表が、鏡前の運動が自己効力感を高めると気づき東京大学在学中に立ち上げました。現在までに丸の内ランニングステーションイベント経験があり、事業者様への導入、個人購入も増加中です。空間の新しい使い方で人々を繋げ、街の活性化に繋がりたいです。
団体ホームページ等のURL	https://embuddy.jp/

▲embuddy（エンバディ）のホスト登録情報

(6) ヒットパレード合同会社



基本情報

団体名・氏名	ヒットパレード合同会社
フリガナ	ヒットパレードゴウドウガイシャ
代表者名	塚野弘達
カテゴリ	飲食店
過去の活動実績・取組に対する思いなど	キッチンカーやイベント等で様々な商材を扱っております。西堀前通に店舗を構えるFunky Turkeyのケバブ、新潟名物のぼっぼ焼き、クレープ等の軽食等、お客様のニーズにお応えする事が可能です。販売希望のメニュー等がございましたらご相談ください。
団体ホームページ等のURL	https://www.instagram.com/funky_turkey_niigata/

▲ヒットパレード合同会社のホスト登録情報

(7) 株式会社ジョイフルタウン



基本情報

団体名・氏名	株式会社ジョイフルタウン
フリガナ	カブシキガイシャジョイフルタウン
代表者名	風間彰亮
カテゴリ	購買(飲食物あり), 購買(飲食物なし), 広報・啓発活動, サービス提供, ライブ・パフォーマンス, ワークショップ
過去の活動実績・取組に対する思いなど	新潟市の顔といえる「にいがた2km」を広く市民、県民に知っていただきたいと考えます。情報誌「月刊にいがた」、ウェブメディア「日刊にいがたWEB」を運営する新潟のローカルメディアカンパニーとして、新潟市の活性化を担いたいです。
団体ホームページ等のURL	https://tjniigata.jp/

▲株式会社ジョイフルタウンのホスト登録情報

5-2-2 コンテンツの募集結果

登録したホストに対して、コンテンツを募集した結果、以下の2件の応募登録があった。

▼プラットフォームに登録されたコンテンツ一覧

	コンテンツ名	ホスト名	活用空間
1	新潟まちづくりライブペイント	新潟似顔絵師集団にこまる	・コズミックス ・榎谷小路ゆうあい公園
2	まなぼーれ☆防災 in ニキロモール	日本防災士会・新潟県支部	・コズミックス

(1) 新潟まちづくりライブペイント



基本情報

コンテンツ名	新潟まちづくりライブペイント
開催団体・氏名	新潟似顔絵師集団にこまる
日付	2022/07/21 14:00～18:00 2022/07/22～2022/07/24 10:00～18:00
カテゴリ	ライブ・パフォーマンス
コンテンツの説明・PR	期間中に「新潟」をデザインしたもののアート作品を制作します。立ち寄ったお客様がペイント作業を行う参加型アートも実施予定。
コンテンツの「こだわり・発信ポイント」	アートでまちづくりをコンセプトに、イラスト・ペイント作品制作を行います。クリエイターの力で新潟を歩くだけで楽しい街に。

▲新潟まちづくりライブペイントのコンテンツ内容

(2) まなぼーれ☆防災 in ニキロモール



基本情報

コンテンツ名	まなぼーれ☆.防災in.ニキロモール
開催団体・氏名	日本防災士会・新潟県支部
日付	2022/07/23 13:00～17:00※天候回復次第開始予定です
カテゴリ	広報・啓発活動
コンテンツの説明・PR	水害に対する防災意識の啓発を目的として、映像素材や過去の水害のパネル展および水害時を想定した防災グッズの展示等を行います。
コンテンツの「こだわり・発信ポイント」	陽気に楽しく『マナボーレ』× 新潟のことを『まなぼーれ』。「防災・減災」を楽しく学んで「災害で命を失うことの無い地域社会」と「SDGs」の実現を目指しています。

▲まなぼーれ☆防災 in ニキロモールのコンテンツ内容

5-3 コンテンツの実施

5-3-1 コンテンツの実施内容

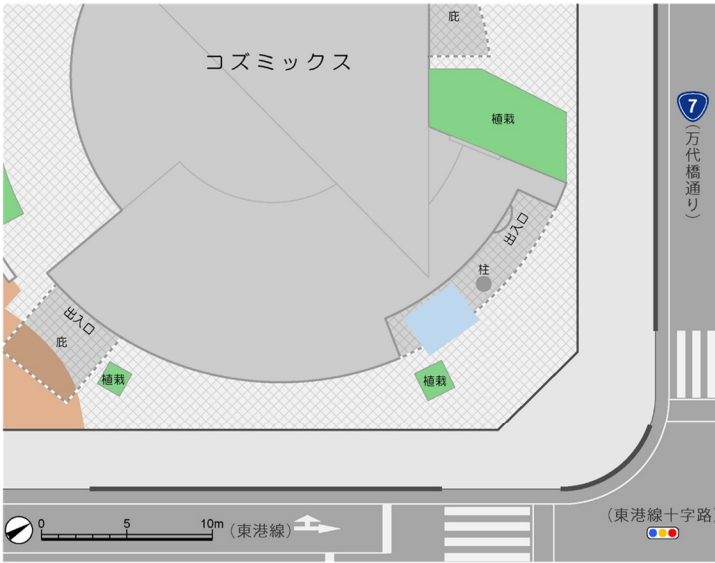
所有者（または管理者）と協議し、下記内容を実施した。

(1) 新潟まちづくりライブペイント

コンテンツ名	新潟まちづくりライブペイント					
ホスト名	新潟似顔絵師集団にこまる					
代表者名	■■■■■			連絡先	■■■■■	
実施予定日時 (実施時間を記入)	7/19(火)	7/20(水)	7/21(木)	7/22(金)	7/23(土)	7/24(日)
	—	—	14:00～18:00	10:00～18:00	10:00～18:00	10:00～18:00
実施場所	コズミックス					
コンテンツの内容	【概要】 ・「新潟」をデザインしたものアート作品を制作 ・一部はベースとなる線画を作成し、参加者が着色する「参加型」で実施 ・クリエイターの作品販売 【作成する作品】 ・横幅182cm×高さ182cmのパネル(1枚)【「参加型」の予定】 ※分割して移動可能 ・横幅182cm×高さ91cmのパネル(1枚) - 計2枚のパネルにペイントを実施(それぞれ別のクリエイターが作成) 【その他】 ・荒天時は実施しない ・夜間・荒天時は、テントの脚をたたんだ状態で存置(重し等で安全対策を実施する) ・転倒防止対策は十分に実施 ・養生シートを敷いて実施 ・着色は、乾いたら剥がせるアクリル絵の具を使用(仮に養生外についた場合でも薬剤等使用せず現状復帰可能)					
ホストからの要望	・夜間・荒天時に制作物を保管するスペースをお借りしたい ※制作物の保証は必要なし ・実証実験期間以後、一定期間、ビル内(1階スペース)で展示したい ・水の使用(水を用いた重し、絵の具の水として使用)および排水(絵の具使用後の水の排水)をさせてほしい ※1度固まった絵の具や筆の洗浄には使用しない					

コンテンツ名	新潟まちづくりライブペイント	
ホスト名	新潟似顔絵師集団にこまる	
配置図 (実施時)		
留意事項 (関係者との 協議事項)	実施イメージ(過去事例等) 	

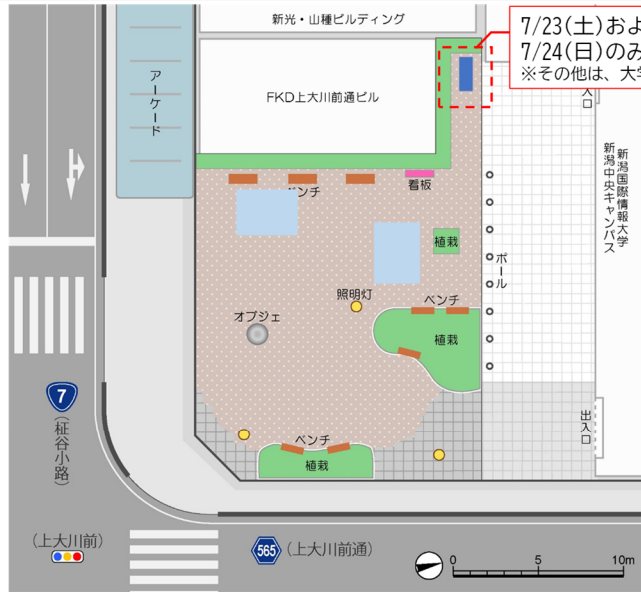
▲新潟まちづくりライブペイントの実施内容 その1

コンテンツ名	新潟まちづくりライブペイント	
ホスト名	新潟似顔絵師集団にこまる	
配置図 (夜間)		イメージ  ※テントは脚をたたんで存置
留意事項 (関係者との 協議事項)		

コンテンツ名	新潟まちづくりライブペイント					
ホスト名	新潟似顔絵師集団にこまる					
代表者名	■■■■■			連絡先	■■■■■	
実施予定日時 (実施時間を記入)	7/19(火)	7/20(水)	7/21(木)	7/22(金)	7/23(土)	7/24(日)
	—	—	14:00～18:00	10:00～18:00	10:00～18:00	10:00～18:00
実施場所	砦谷小路ゆうあい公園					
コンテンツの内容	【概要】 ・「新潟」をデザインしたものアート作品を制作 ・一部はベースとなる線画を作成し、参加者が着色する「参加型」で実施 ・クリエイターの作品販売 【作成する作品】 ・横幅182cm×高さ182cmのパネル(2枚) ※分割して移動可能 ・計2枚のパネルにペイントを実施(それぞれ別のクリエイターが作成) 【その他】 ・荒天時は実施しない ・夜間・荒天時は、テントの脚をたたんだ状態で存置(重し等で安全対策を実施する) ・7/23(土)および7/24(日)の夜間は、作品を公園の隅に存置 ・転倒防止対策は十分に実施 ・養生シートを敷いて実施 ・着色は、乾いたら剥がせるアクリル絵の具を使用(仮に養生外についた場合でも薬剤等使用せず現状復帰可能)					
ホストからの要望	・夜間・荒天時に制作物を保管するスペースをお借りしたい ※制作物の保証は必要なし ・実証実験期間以後、一定期間、ビル内(1階スペース)で展示したい ・水の使用(水を用いた重し、絵の具の水として使用)および排水(絵の具使用後の水の排水)をさせてほしい ※1度固まった絵の具や筆の洗浄には使用しない					

▲新潟まちづくりライブペイントの実施内容 その2

コンテンツ名	新潟まちづくりライブペイント		
ホスト名	新潟似顔絵師集団にこまる		
配置図 (実施時)			実施イメージ(過去事例等)  ※合成イメージ 出入口前は使用しない ※古町どんでの実施事例 ※作品販売のイメージ
留意事項 (関係者との協議事項)	・本町商店街に実施内容を事前報告。		

コンテンツ名	新潟まちづくりライブペイント		
ホスト名	新潟似顔絵師集団にこまる		
配置図 (夜間)			イメージ  ※テントは脚をたんで存置
留意事項	・テントは転倒等防止のため、脚をたんで存置。また、重し等で安全対策を実施する。		

▲新潟まちづくりライブペイントの実施内容 その3

(2) まなぼーれ☆防災 in ニキロモール

コンテンツ名	まなぼーれ ☆ 防災 in ニキロモール					
ホスト名	日本防災士会・新潟県支部					
代表者名	[REDACTED]			連絡先	[REDACTED]	
実施日時 (実施時間を記入)	7/19(火)	7/20(水)	7/21(木)	7/22(金)	7/23(土)	7/24(日)
	—	—	—	—	10:00~17:00	—
実施場所	コズミックス					
コンテンツの内容	【概要】 ・水害に対する防災意識の啓発 ・映像素材や過去の水害のパネル展および水害時を想定した防災グッズの展示等を行う ・防災士との直接的な対話を通じ、ゲストへ“気付き”を促す 【内容】 ・非常時持ち出し品等の展示 ・災害・防災パネルの展示 ・各種リーフレット等の配布 ・NHK防災映像素材の放映 ・自宅のハザード認知度チェック ・非常用トイレの紹介【スポット】 ・ぼうさい〇×クイズ【スポット】 など 【感染予防対策】 ・ゲストへのマスク着用・手指消毒の声かけ・徹底 ※天候等により早めに撤収の可能性あり					
ホストからの要望						

コンテンツ名	まなぼーれ ☆ 防災 in ニキロモール					
ホスト名	日本防災士会・新潟県支部					
配置図	配置図 - テント① 300×300cm - テント②、③ 200×200cm - 長机① 180×90cm - 長机② 180×60cm - 大型モニタ 120×60cm - カセットボンベ発電機 37×27cm - 防災士のぼり 80×60cm - ニキロモールのぼり 80×50cm - ニキロモールパネル 80×50cm 実施イメージ(過去事例等) ※パネル展・防災グッズの展示例 ※防災クイズの実施例 ※NHK防災映像素材の画面例					
留意事項 (関係者との協議事項)						

▲まなぼーれ☆防災 in ニキロモールの実施内容

5-3-2 コンテンツの実施状況

実証実験実施時の状況を示す。



実証実験しています。

ニキロモール（『空間の提供をサポートする』しくみ）の実現可能性を検証するため、街なかの空間で実際にコンテンツを実施する実証実験を行っています。

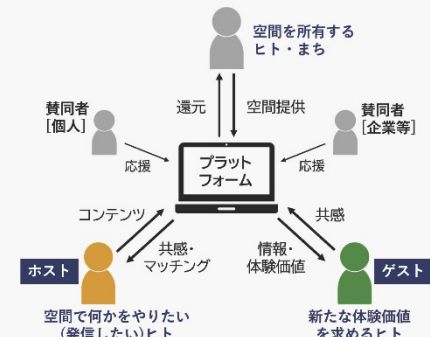
ご覧になる際は、歩道の歩行者等の妨げにならないようお願いします。

ニキロモールとは

街なか存在するちょっとした空間を簡単に活用いただけるしくみのことです。

街なかのちょっとした空間を、ヒトやモノ、情報・文化などの魅力的な資源を発信する場・出会う場として活用し、街なかの活性化を図ることを目的に新潟市スマートシティ協議会が取り組んでいます。

実証実験で行うコンテンツ



プラットフォーム

空間を所有するヒト・まち

賛同者【個人】 賛同者【企業等】

還元 空間提供

コンテンツ 共感・体験価値

共感・マッチング 情報・体験価値

ホスト ゲスト

空間で何かをやりたい（発信したい）ヒト 新たな体験価値を求めるヒト

コンテンツ	①新潟まちづくりライブペイント	②まなぼ〜れ☆防災in ニキロモール
ホスト	新潟似顔絵師集団にこまる	日本防災士会・新潟県支部
内 容	期間中に「新潟」をデザインしたもののアート作品を制作します。立ち寄ったお客様がペイント作業を行う参加型アートも実施予定。	水害に対する防災意識の啓発を目的として、映像素材や過去の水害のパネル展および水害時を想定した防災グッズの展示等を行います。
実施場所	コズミックス／ゆうあい公園	コズミックス
実施日時	7/21(木)～24(日) 10:00～18:00	7/23(土) 10:00～17:00



マスク着用・手指消毒

ご協力をお願いいたします



ご理解のほどよろしくお願いいたします

Keep your distance !

主催：新潟市スマートシティ協議会（ニキロモール運営事務局）

▲現地設置看板の掲示内容

(1) 新潟まちづくりライブペイント

実施状況	日時・場所
	日時：7/21(木)15 時台 場所：コズミックス
	日時：7/21(木)17 時台 場所：榎谷小路ゆうあい公園
	日時：7/22(金)13 時台 場所：コズミックス
	日時：7/22(金)15 時台 場所：榎谷小路ゆうあい公園

▲新潟まちづくりライブペイントの実施状況 その1

実施状況	日時・場所
	日時：7/23(土)17 時台 場所：コズミックス
	日時：7/23(土)15 時台 場所：榎谷小路ゆうあい公園
	日時：7/24(日)16 時台 場所：コズミックス
	日時：7/24(日)12 時台 場所：榎谷小路ゆうあい公園

▲新潟まちづくりライブペイントの実施状況 その2

(2) まなぼ一れ☆防災 in ニキロモール

実施状況	日時・場所
	日時：7/23(土)12 時台 場所：コズミックス
	日時：7/23(土)13 時台 場所：コズミックス
	日時：7/23(土)13 時台 場所：コズミックス
	日時：7/23(土)15 時台 場所：コズミックス

▲まなぼ一れ☆防災 in ニキロモールの実施状況

5-4 仮説検証に向けた調査

仮説検証に向けた調査として、以下の内容を実施した。

▼仮説検証のための調査

調査名	内 容
ゲストの意向把握調査	・コンテンツによるサービスを享受する側であるゲスト（市民等街なか来訪者）の意向を把握するため、実証実験実施時にコンテンツに参加した方へのヒアリングおよび市民 400 名を対象としたアンケートを実施。
ホストの意向把握調査	・コンテンツを実施しサービスを提供する側であるホストの意向を把握するため、ホスト登録した団体および未登録であってもホストになりえる団体へのアンケートを実施。
空間所有者の意向把握調査	・コンテンツを実施する空間を提供する側である空間所有者の意向を把握するためのアンケートを実施。
人流データの解析	・コンテンツサービスを楽しんだゲストの人流データを取得・分析。
その他	・「プラットフォームの閲覧状況」、「活用スポット候補調査」、「有識者等の意見聴取」を実施。

5-4-1 ゲストの意向把握調査

コンテンツによるサービスを享受する側であるゲスト（市民等街なか来訪者）の意向を把握するためのアンケートを実施した。

(1) 調査方法

調査は、実証実験実施時にコンテンツに参加した方（ゲスト）へのヒアリングに加えて、市民 400 名を対象とした Web アンケートを実施した。

▼調査の方法（ゲストヒアリング）

	内 容
実施日	令和 4 年 7 月 22 日～23 日
方法	下記 2 か所(コンテンツ実施場所)でのインタビュー調査 ①コズミックス ②ゆうあい公園
対象者	試行実施しているコンテンツに訪れた方（足を止め眺めた方）
設問数	7 問 ※個人属性に関する質問は含まれない（目視判定）
主な設問項目	a.二キロモールの評価 b.ホストへの期待(実施してほしいコンテンツ) c.空間利用によるコンテンツの高度化や創造の可能性 d.ホストや本仕組みへの投げ銭の可能性
回収数	26 件

▼調査の方法（Web アンケート）

	内 容
実施日	<スクリーニング>令和 4 年 8 月 26 日～ < 本 調 査 >令和 4 年 9 月 2 日～
方法	Web アンケート
対象者	新潟市民 ※都心部への訪問頻度に応じスクリーニング（来訪頻度別に バランス調整）
設問数	12 問 ※個人属性に関する質問は含まれない（予め把握済み）
主な設問項目	a.二キロモールの評価 b.ホストへの期待(実施してほしいコンテンツ) c.空間利用によるコンテンツの高度化や創造の可能性 d.ホストや本仕組みへの投げ銭の可能性
回収数	488 件

(2) 調査結果

1) 実証実験時のヒアリング

<設問>

Q 1. この取り組みをここでやっていることをご存知でしたか？

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
知らなかった（たまたまここに来て知った）	 9	 11	 20
（昨日や一昨日見て）また見に来た。	 2	 1	 3
事前に知っていて、この取り組みを見るために来た。	 2	 1	 3
その他	 0	 0	 0
	13	13	26

Q 2 - 1. このような「街なかの空間を活用して賑わい創出する取組」をどう思いますか？

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
大いに賛同できる	 9	 10	 19
どちらかと言えば賛同できる	 4	 3	 7
どちらかと言えば賛同できない	 0	 0	 0
大いに賛同できない	 0	 0	 0
わからない	 0	 0	 0
	13	13	26

Q 2 - 2. その理由はなぜですか？（自由意見）

●：コズミックス ●：ゆうあい公園	意見数
●絵やアートを見ることが好きなのでいいと思う。	1
●賑わいができるので、どんどんやるべき。	3
●特に反対の理由がない。	1
●街に多様性が生まれると思う。	1
●街に活気がない。スケートや弾き語りが見たい。	1
●人目に触れやすく、PRになると思う。	1
●賑わいが出て良いと思う。市民への周知が大事だと思う。	1
●イベントが楽しい。	1
●街が楽しくなる。	1
●気軽に立ち寄れる場所があるのがよい。	1
●今は祭りなどもほとんどなくなっている。子供たちが楽しめる機会。	1
●自分もコンテンツを実施したい。	1
●楽しくなるとよい	1
●今日のように何かやっていたらまちに来たくなる。	2

17

Q 3. こうした取組実施の情報を事前に入手する方法としてどれが望ましいと考えますか？

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
専用ホームページ	3	2	5
S N S	7	8	15
電子メール市報など広報	1	2	3
チラシ、ポスター掲示	3	3	6
ラジオ	1	3	4
その他（※記述意見）	4	5	9
事前に入手する必要はない	2	0	2
	21	23	44

●：コズミックス ●：ゆうあい公園	意見数
●テレビ	1
●友人同士でシェアできるような仕組み	1
●歩きながら見るのが好き。	1
●※分からない	1
●テレビ	4
●学校で配布	1

9

Q 4. 街なかの空間を使って、どのようなコンテンツを実施すると面白いと思いますか？※複数回答可

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
飲食店：オープンカフェ、キッチンカー、屋台など	6	3	9
購買（飲食物あり）：食品販売、農水産物直売など	1	3	4
購買（飲食物なし）：フリーマーケット、物産展示即売会など	1	2	3
広報・啓発活動：観光交流イベント、環境フェア、福祉フェア、交通安全運動など	4	1	5
コミュニティスペース：休憩・待ち合せスペースなど	3	2	5
サービス提供：文化教室、スポーツ教室、エクササイズ	1	1	2
作品・広告展示：美術展覧会、アートイベント、児童・学生作品展示 など	2	6	8
ライブ・パフォーマンス：大道芸、演奏ライブ、ファッションショー など	6	8	14
物品等の貸し出し：自転車等の貸し出し、物品の貸し出し	2	1	3
ワークショップ	3	1	4
	29	28	57

Q 5. 気に入ったコンテンツの実施者に、” 投げ銭 ” を支払っても良いと思いますか？

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
支払っても良い	8	9	17
支払いたくない	0	0	0
わからない	5	4	9
	13	13	26

Q 6. いくらまでなら払っても良いか？

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
10,000円	0	0	0
5000円	0	0	0
1000円	1	0	1
500円	2	6	8
100円	1	0	1
内容による	2	0	2
わからない	2	3	5
	8	9	17

Q 7. この取り組みをより良いものにするため、改善すべき点・工夫すべき点はある
 ですか？（自由意見）

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
※記述意見	7	2	9
	7	2	9

●：コズミックス ●：ゆうあい公園	意見数
●古町を観光スポットにしたい。新潟はまちづくりのリーダーが不足しているように感じる。	1
●万代に住んでいる。いろいろなことが自由になるとよい。	1
●クリエイターが活躍できる場所があるとよいと思う。	1
●都内ではこのような場所が多くあるので、どんどんやってほしい。	1
●このようなアンケートを取って今後に活かす。	1
●取り組みをやって満足しないこと。事例も大事だけど新しい価値をつくること。	1
●見たり、体験できるものがあるとよい。	1
●子どもが楽しめるものをやってほしい。子どもが興味をもてるものであれば、親も来る。	1
●まちにでると誰かが何かやっている状況になるとよい。	1

9

<回答者属性>

■ 住まい

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
新潟市	 11	 13	 24
県内	 2	 0	 2
その他	 0	 0	 0
	13	13	26

■ 来訪の目的・目的地

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
仕事	 2	 0	 2
買い物	 6	 5	 11
イベント	 2	 2	 4
観光	 0	 0	 0
その他（※記述意見）	 3	 6	 9
	13	13	26

■ まちなかの来訪頻度

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
ほぼ毎日	 7	 2	 9
週1～2回	 2	 2	 4
週末	 2	 3	 5
月数回	 1	 5	 6
2～3カ月に1回	 1	 1	 2
	13	13	26

■ 年齢（目視判定）

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
10代以下	 2	 0	 2
20代	 3	 2	 5
30代	 3	 2	 5
40代	 1	 4	 5
50代	 2	 1	 3
60代	 1	 2	 3
70代以上	 1	 2	 3
	13	13	26

■ 性別（目視判定）

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
男性	 8	 9	 17
女性	 5	 4	 9
	13	13	26

2) 市民 Web アンケート

<スクリーニング用設問>

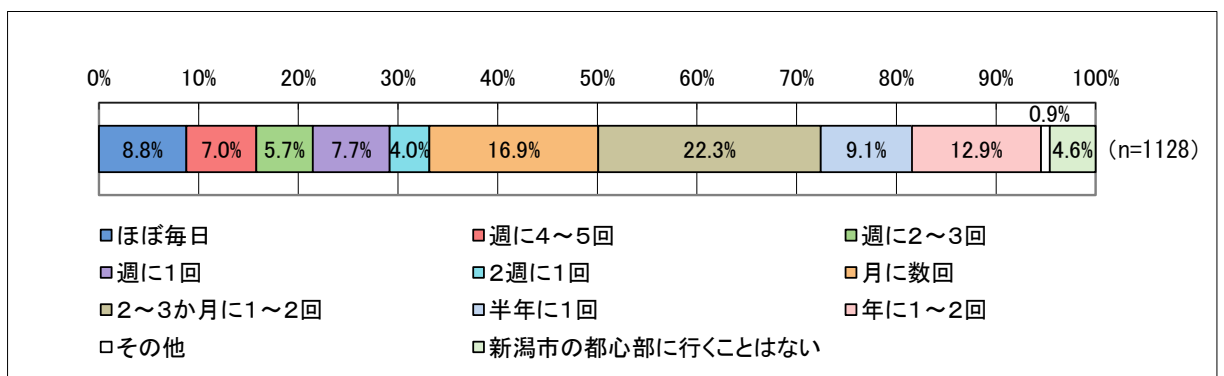
Q 1. あなたは新潟市の都心部（駅南を含む駅周辺～万代～古町のエリア）をどの程度の頻度で訪れていますか？

[選択肢]

- ☐ ほぼ毎日
- ☐ 週に 4 ～ 5 回
- ☐ 週に 2 ～ 3 回
- ☐ 週に 1 回
- ☐ 2 週に 1 回
- ☐ 月に数回
- ☐ 2 ～ 3 か月に 1 ～ 2 回
- ☐ 半年に 1 回
- ☐ 年に 1 ～ 2 回
- ☐ その他
- ☐ 新潟市の都心部（駅南を含む駅周辺～万代～古町のエリア）に行くことはない

<回答結果>

選択肢	回答数
ほぼ毎日	99
週に 4 ～ 5 回	79
週に 2 ～ 3 回	64
週に 1 回	87
2 週に 1 回	45
月に数回	191
2 ～ 3 か月に 1 ～ 2 回	252
半年に 1 回	103
年に 1 ～ 2 回	146
その他	10
新潟市の都心部に行くことはない	52
計	1,128



Q 2.『週末』に限ってお聞きます。

『週末』に新潟市の都心部（駅南を含む駅周辺～万代～古町のエリア）をどの程度の頻度で訪れていますか？（※Q 1で「行くことはない」と答えた方以外）

〔選択肢〕

☐ ほぼ毎週

☐ 月に2～3週

☐ 月に1週

☐ 2～3か月に1週

☐ 半年に1週

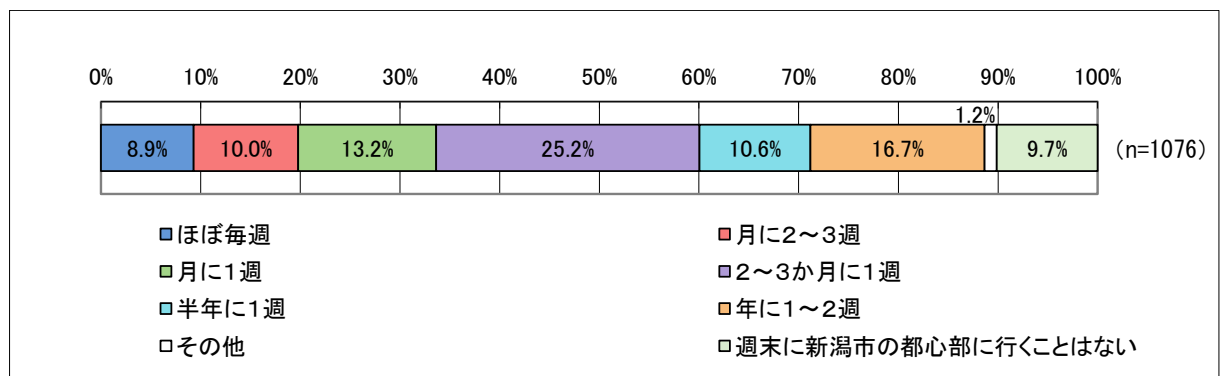
☐ 年に1～2週

☐ その他

☐ 週末に新潟市の都心部（駅南を含む駅周辺～万代～古町のエリア）に行くことはない

<回答結果>

選択肢	回答数
ほぼ毎週	100
月に2～3週	113
月に1週	149
2～3か月に1週	284
半年に1週	120
年に1～2週	188
その他	13
週末に新潟市の都心部に行くことはない	109
計	1,076



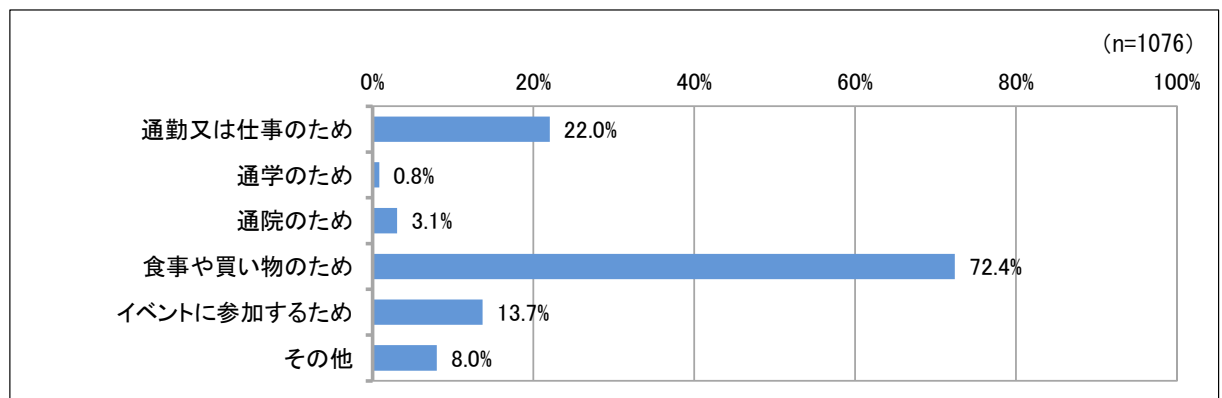
Q 3. あなたが新潟市の都心部を訪れる主な目的は何ですか？

[選択肢]

- ☐ 通勤又は仕事のため
- ☐ 通学のため
- ☐ 通院のため
- ☐ 食事や買い物のため
- ☐ イベントに参加するため
- ☐ その他

<回答結果>

選択肢	回答数
通勤又は仕事のため	237
通学のため	9
通院のため	33
食事や買い物のため	779
イベントに参加するため	147
その他	86
計	1,291



[その他の回答]

- ・住んでいる
- ・通勤や通学、習い事
- ・映画を見る

など

<本調査用設問>

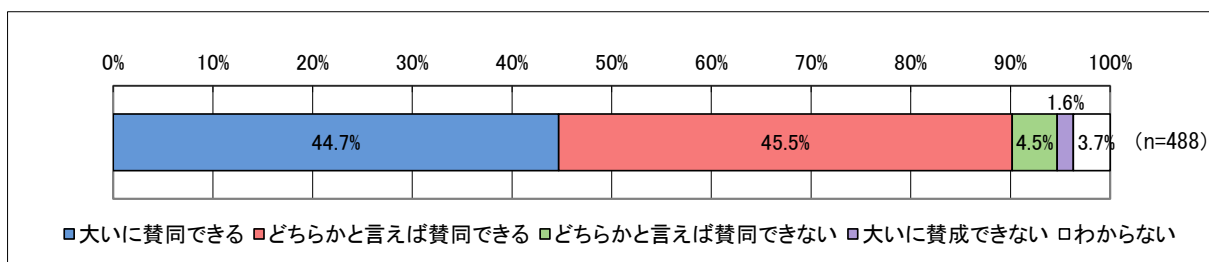
Q 1. このような「街なかの空間を活用して賑わい創出する取組」をどう思いますか？

[選択肢]

- ☐大いに賛同できる
- ☐どちらかと言えば賛同できる
- ☐どちらかと言えば賛同できない
- ☐大いに賛同できない
- ☐わからない

<回答結果>

選択肢	回答数
大いに賛同できる	218
どちらかと言えば賛同できる	222
どちらかと言えば賛同できない	22
大いに賛成できない	8
わからない	18
計	488



Q 1－2. その理由をお聞かせください？（※Q 1－1で「賛同できる」と答えた方）

[自由意見]

<回答結果>

（賛同者）

- ・街が面白くなる、楽しいと感じられる場所が必要
- ・街に賑わいができて活気がでる
- ・周りのお店の消費にも繋がる
- ・スペースの有効活用
- ・通りすがりで興味の沸くものに出会えるかもしれない
- ・様々な実験ができる、若い人が発表する場にもなると思う
- ・邪魔にならないなら、やってもいいと思う

（非賛同者）

- ・通行の邪魔になる、ごちゃごちゃする、景観が損なわれそう
- ・天候がよくない新潟では難しい
- ・コロナ禍ではやらないほうがいい

など

Q 2. 街なかの空間を使って、どのようなコンテンツを実施すると面白いと思いますか？（立ち寄ってみたい、参加・利用してみたいと思いますか？）※複数回答

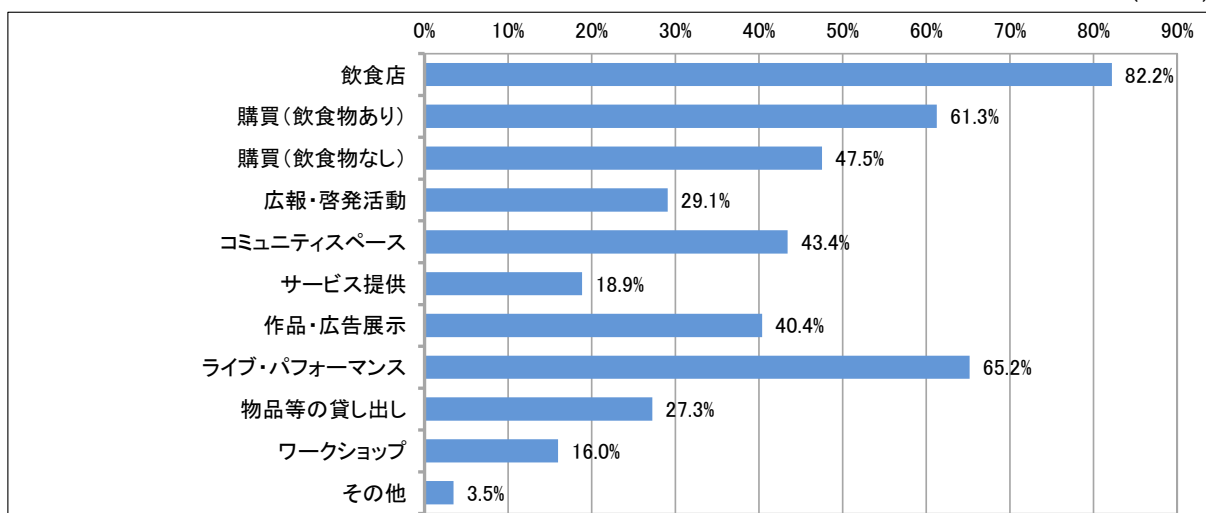
〔選択肢〕

- ☐ 飲食店：オープンカフェ、キッチンカー、屋台など
- ☐ 購買（飲食物あり）：食品販売、農水産物直売など
- ☐ 購買（飲食物なし）：フリーマーケット、物産展示即売会など
- ☐ 広報・啓発活動：観光交流イベント、環境フェア、福祉フェア、交通安全運動など
- ☐ コミュニティスペース：休憩・待ち合せスペースなど
- ☐ サービス提供：文化教室、スポーツ教室、エクササイズ
- ☐ 作品・広告展示：美術展覧会、アートイベント、児童・学生作品展示 など
- ☐ ライブ・パフォーマンス：大道芸、演奏ライブ、ファッションショー など
- ☐ 物品等の貸し出し：自転車等の貸し出し、物品の貸し出し
- ☐ ワークショップ
- ☐ その他

<回答結果>

選択肢	回答数
飲食店	401
購買（飲食物あり）	299
購買（飲食物なし）	232
広報・啓発活動	142
コミュニティスペース	212
サービス提供	92
作品・広告展示	197
ライブ・パフォーマンス	318
物品等の貸し出し	133
ワークショップ	78
その他	17
計	2,121

(n=488)



[その他の回答]

- ・休憩できる場所
- ・学生の発表の場
- ・子育て親子向けの取組

など

Q3. 前の質問のようなコンテンツが、街なかのいろいろな場所でいつも実施されている状況を想像してください。あなたの行動は変わりますか？ ※複数選択

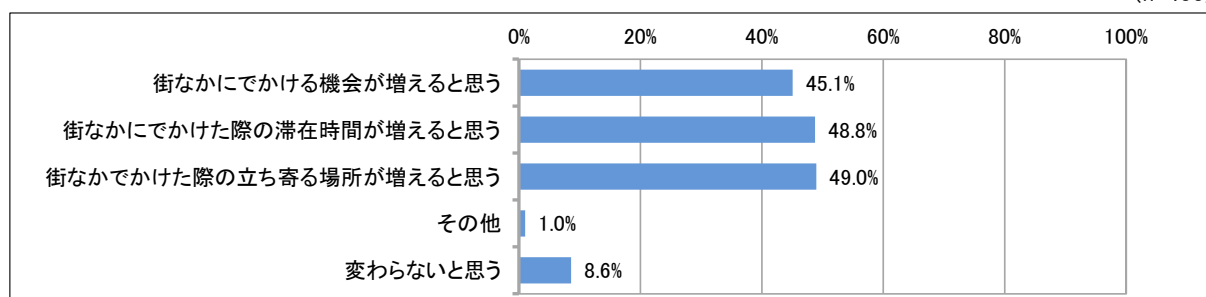
[選択肢]

- ☐ 街なかにでかける機会が増えると思う
- ☐ 街なかにでかけた際の滞在時間が増えると思う
- ☐ 街なかでかけた際の立ち寄る場所が増えると思う
- ☐ その他
- ☐ 変わらないと思う

<回答結果>

選択肢	回答数
街なかにでかける機会が増えると思う	220
街なかにでかけた際の滞在時間が増えると思う	238
街なかでかけた際の立ち寄る場所が増えると思う	239
その他	5
変わらないと思う	42
計	744

(n=488)



Q 4. 気に入ったコンテンツの実施者に、” 投げ銭 ” を支払っても良いと思いますか？

[選択肢]

☐ 支払っても良い

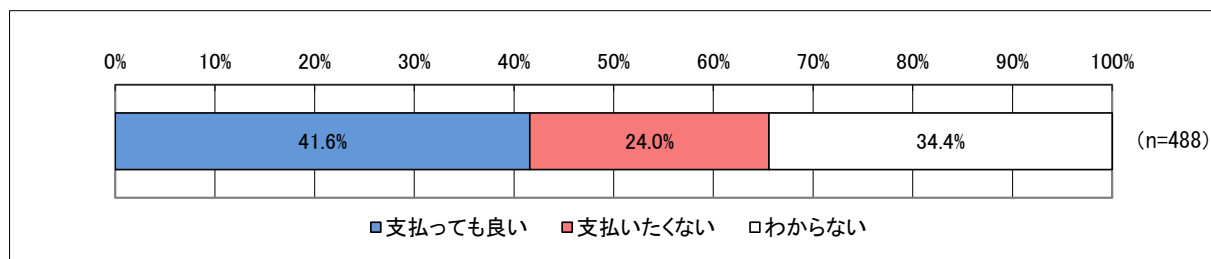
☐ 支払いたくない

☐ わからない

* 投げ銭とは：スマホのアプリなどを使ってオンラインで送金する行為

< 回答結果 >

選択肢	回答数
支払っても良い	203
支払いたくない	117
わからない	168
計	488



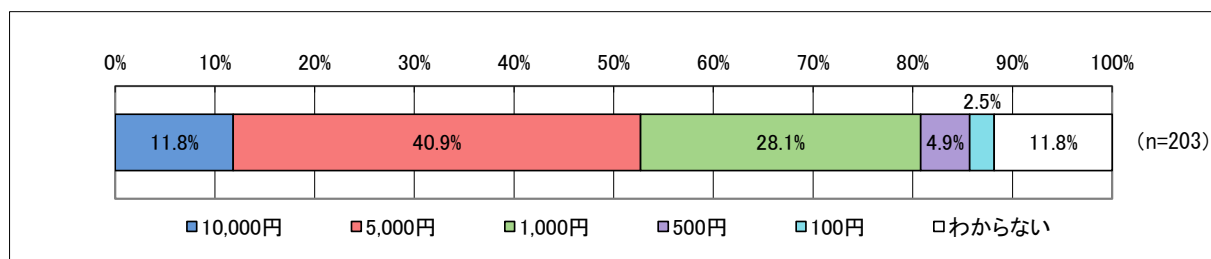
Q 5. いくらまでなら払っても良いですか？（※Q 3 で「支払っても良い」と答えた方）

[選択肢]

- ☐ 10,000 円
- ☐ 5000 円
- ☐ 1000 円
- ☐ 500 円
- ☐ 100 円
- ☐ わからない

<回答結果>

選択肢	回答数
10,000円	24
5,000円	83
1,000円	57
500円	10
100円	5
わからない	24
計	203



[平均支払意思額（支払いたくない、わからないはゼロとして単純平均）]

- ・ 全サンプル : 309 円
- ・ 賛同者のみ : 463 円
- ・ 金額選択者のみ : 979 円

Q 6. なぜ支払たくなかったですか？（※Q 3で「支払いたくない」と答えた方）

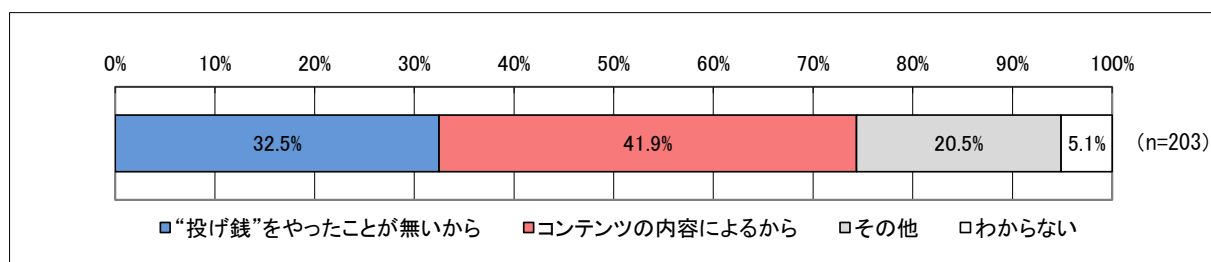
[選択肢]

- ☐ “投げ銭”をやったことが無いから
☐ コンテンツの内容によるから
☐ その他
☐ わからない

*投げ銭とは：スマホのアプリなどを使ってオンラインで送金する行為

<回答結果>

選択肢	回答数
“投げ銭”をやったことが無いから	38
コンテンツの内容によるから	49
その他	24
わからない	6
計	117



[その他の回答]

- ・現金がよい
- ・商売の場にしてほしくないから
- ・アプリを入れたくない
- ・オンラインの送金に抵抗がある
- ・価値を見いだせると思えない
- ・金銭状況が厳しいから

など

Q 7. こうした取組実施の情報を事前に入手する方法としてどれが望ましいと考えますか？

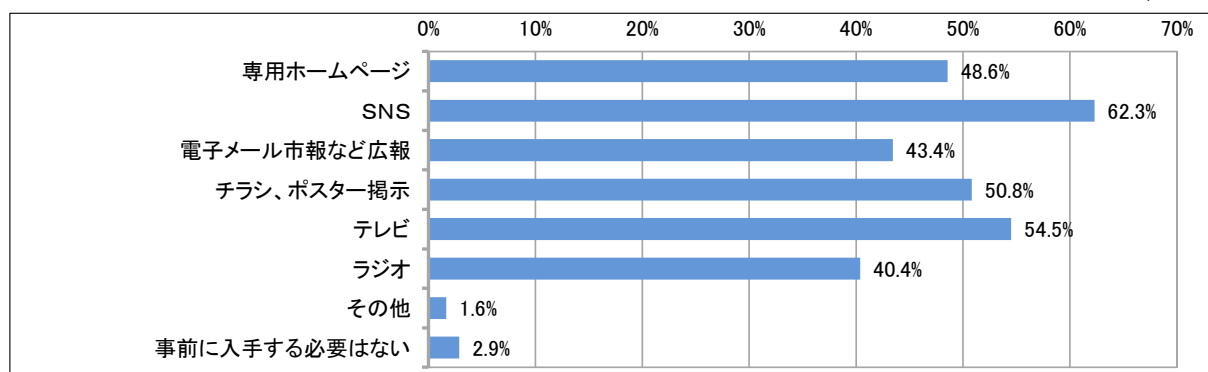
[選択肢]

- ☐ 専用ホームページ
- ☐ SNS
- ☐ 電子メール市報など広報
- ☐ チラシ、ポスター掲示
- ☐ テレビ
- ☐ ラジオ
- ☐ その他
- ☐ 事前に入手する必要はない

<回答結果>

選択肢	回答数
専用ホームページ	237
SNS	304
電子メール市報など広報	212
チラシ、ポスター掲示	248
テレビ	266
ラジオ	197
その他	8
事前に入手する必要はない	14
計	1,486

(n=488)



[その他の回答]

- ・ 専用アプリ
- ・ 新聞
- ・ ネットイベント情報
- ・ 学校や保育園、幼稚園を通じての告知

など

Q 8. この取り組みをより良いものにするため、改善すべき点・工夫すべき点はありませんか？

[自由意見]

<回答結果>

(対象者について)

- ・子どもの楽しめるものが良いと思う
- ・お年寄りも楽しめるような、休める場所などもあった方がよいと思う

(実施方法について)

- ・ホームページなどを見なくてもいいように、毎月日程を決めて、定期的に活動してほしい。
- ・まちにでると誰かが何かやっている状況になるとよい
- ・まずは分散せずにある程度集中して継続する
- ・いまどこでなにをやっているかが、リアルタイムでわかるといい

(実施内容について)

- ・個性的なものより万人受けする物のほうが良い
- ・あえてマニアックな催しにしてコアなファンに足を運んでもらう
- ・新潟ならではの、または地域ならではの食べ物があると良い
- ・クリエイターが活躍できる場所があるとよい
- ・コンセプトが街の空間に上手く調和していること
- ・見るだけでもよいが、参加型がより良いと思う
- ・音が出るものについては場所の選定に注意が必要
- ・あまりにも人を集めてしまうものは避けた方がよい
- ・この場所にはこういうコンテンツ。のようにある程度決まっていると、出掛けやすい
- ・近い場所で関連したコンテンツを出すとか、連携があったほうがよい

(運営について)

- ・ごみをださない、きれいな空間を維持すること
- ・安全に運営できること
- ・当日の交通整理も必要だと思う
- ・周りに迷惑をかけない、無法地帯にはしないこと
- ・天候に影響されない設備を考えてほしい、天候が悪いときも楽しめる場所なら良い
- ・最低限の審査はしっかりしてほしい。街のイメージダウンや、子供の害になるようなものは避けたい

(その他)

- ・若者の意見を取り入れる
 - ・周知をできるだけ広くしてほしい
 - ・道路など人目につきやすいところで実施してほしい
 - ・成功させるにはリーダーが必要
 - ・人が集まりやすい、仕掛けが必要
 - ・感染対策をしっかりする
 - ・潜在するニーズを分析する事。一方で規制を緩和する事が必要
 - ・車社会の新潟では、車ででの来場しやすさを考慮してほしい、駐車場の割引など
 - ・行政が責任を持つ、補助金を出す、地域の一般企業も協力する
 - ・もっとやってみないと改善策はわからない
- など

(3) 考察

＜取組に対する意向・賛同＞

- ・大いに賛同できるが 44.7%。どちらかと言えば賛同できるとあわせると、市民の 90%から賛同を得た。
- ・主な賛同理由は、「街が面白くなる、楽しいと感じられる」や「賑わいが出てきて活気がでる」「周りのお店の消費にも繋がる」など。
- ・一方で、賛同しない理由は、「通行の邪魔」「ごちゃごちゃする」「景観が損なわれそう」など。

＜立ち寄ってみたい、参加・利用してみたいコンテンツ＞

- ・最も多いのは「飲食店：オープンカフェ、キッチンカー、屋台など」の 82%。次いで、「ライブ・パフォーマンス：大道芸、演奏ライブ、ファッションショー など」の 65%、「購買（飲食物あり）：食品販売、農水産物直売など」の 61%の順。このほか、40%以上から指示を得たのは、「購買（飲食物なし）：フリーマーケット、物産展示即売会など」、「コミュニティスペース：休憩・待ち合せスペースなど」、「作品・広告展示：美術展覧会、アートイベント、児童・学生作品展示 など」となる。

＜取組による行動変容の可能性＞

- ・「立ち寄る場所が増えると思う」と「滞在時間が増えると思う」が 49%で、概ね半数の方が街なかにてかけた際に行動変容する可能性がある。また、街なかにてかける機会についても、45%が「増える」と回答。

＜投げ銭サービスに対する意向＞

- ・気に入ったコンテンツの実施者に”投げ銭”を支払っても良いと 42%が回答。また、その支払い金額は「5000 円までなら」が 41 と最も多く、次いで「1000 円までなら」が 28%を占めた。「10,000 円まで」と回答した市民も 12%存在。平均すると、支払意志額は 979 円（金額選択者のみ）。
- ・「支払いたくない」と答えた方の理由は、「コンテンツの内容によるから」が 41%と最も多く、次いで「“投げ銭”をやったことが無いから」が 32%。投げ銭（スマホのアプリなどを使ってオンラインで送金する行為）に対する抵抗する方が約 3 割を占めている。

＜取組実施の情報を事前に入手する方法＞

- ・最も多いのは「SNS」の 62%、次いで「テレビ」の 55%、「チラシ、ポスター掲示」の 51%の順となる。その他の選択肢も 4 割を超えており、またその他の回答として、「専用アプリ」や「新聞」「学校等を通じた告知」などもあり、幅広い手法が

求められている。

<改善すべき点・工夫すべき点>

- ・対象者について、「子供」や「お年寄り」をターゲットに。
- ・実施方法について、「毎月日程を決めて、定期的に活動」や「誰かが何かやっている状況」「分散せずにある程度集中して継続」など。
- ・実施内容について、「万人受けする物のほうが良い」とする意見に対して「あえてマニッシュな催しにしてコアなファンを」など。また「クリエイターが活躍できる場所があるとよい」や「コンセプトが街の空間に上手く調和していること」、「見るだけでもよいが、参加型がより良い」などの意見も得られた。また、「この場所にはこういうコンテンツのようにある程度決める」や「近い場所で関連したコンテンツを出して連携」などの意見も得られた。
- ・運営について、「周りに迷惑かけない」や「当日の交通整理」などのほか、街のイメージダウンや子供の害にならないよう「最低限の審査」の必要も。

<今後のゲストへのアプローチ(案)*>

- ・市民の 90%から賛同を得られたため、所有者やその他関係者に認められる範囲で、実装に向け積極的に社会実験を積み重ねていく。
- ・ホスト数や活用スポットを拡大したうえで、コンスタントなコンテンツの実施により、ゲストにわかりやすい・参加しやすい環境を目指す。
- ・また、ゲストの認知度向上のため、取組の効果的な PR 手法として SNS を活用した情報発信を検討する。運営者の負担軽減のため、プラットフォームと連携（RPA など）した方法とすることが望ましいと考えるが、実現性と PR 効果も含めた検証が必要。
- ・投げ銭サービスについても一定の収入が見込まれることから、ホストの収入・活動支援や運営費の確保のためにも、統合アプリへの機能追加などにより、実装を目指す必要がある。この際のゲストへの案内方法についても検討が必要。

※その他調査結果も踏まえて記載

5-4-2 ホストの意向把握調査

コンテンツを実施しサービスを提供する側であるホストの意向を把握するためのアンケートを実施した。

(1) 調査方法

調査は、実証実験においてホスト登録した団体に加えて、未登録であってもホストになれる団体（以下、「ホスト候補」という）を対象に、簡易な Web アンケートを実施した。

▼調査の方法（ホストアンケート）

	内 容
実施日	令和 4 年 9 月 6 日～
方法	Google フォームによる Web アンケート
対象者	登録したホスト又はホスト候補になり得る団体等
設問数	12 問
主な設問項目	a.プラットフォームの評価（操作性・機能） b.プラットフォームの利用意向 c.空間利用によるコンテンツの高度化や創造の可能性 d.プラットフォーム利用に対する支払い意思額
回収数	10 件

(2) 調査結果

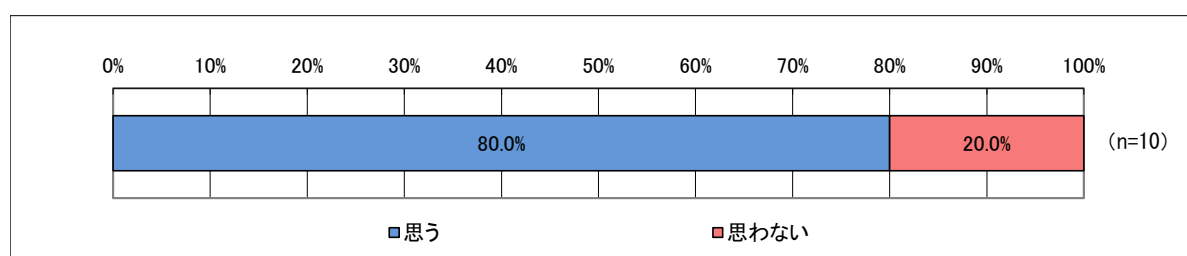
Q1. 街なか（駅南～駅前～万代～古町の周辺エリア）の空間を活用して自分たちのコンテンツを実施したいと思いますか？※二キロモールの活用に限らずお答えください。

[選択肢]

- ・ 思う
- ・ 思わない

<回答結果>

選択肢	回答数
思う	8
思わない	2
計	10



Q2. 自分たちなら、街なかの空間を活用してどのようなコンテンツが実施できそうですか？

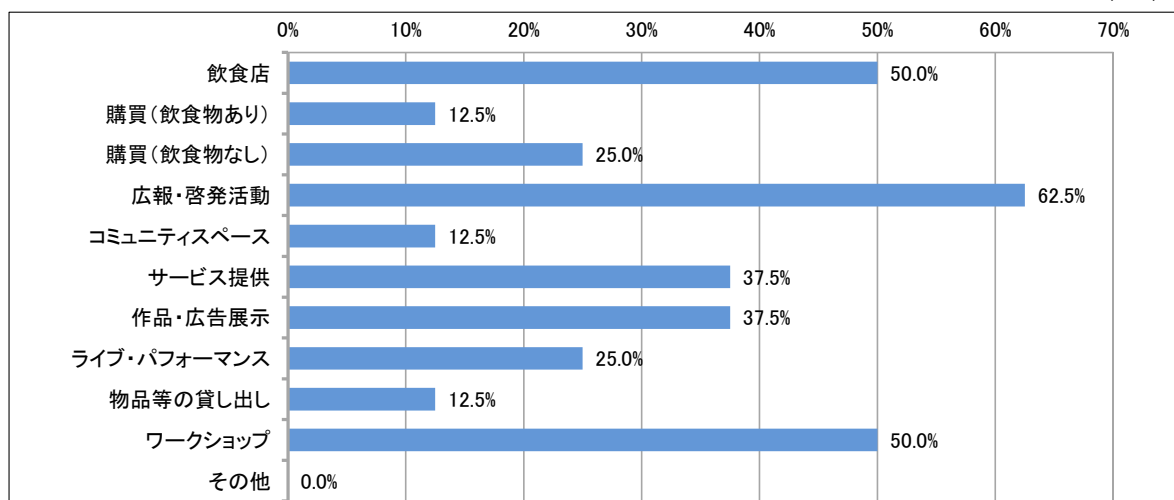
[選択肢]

- ・飲食店：オープンカフェ、キッチンカー、屋台など
- ・購買（飲食物あり）：食品販売、農水産物直売など
- ・購買（飲食物なし）：フリーマーケット、物産展示即売会など
- ・広報・啓発活動：観光交流イベント、環境フェア、福祉フェア、交通安全運動など
- ・コミュニティスペース：休憩・待ち合せスペースなど
- ・サービス提供：文化教室、スポーツ教室、エクササイズ
- ・作品・広告展示：美術展覧会、アートイベント、児童・学生作品展示 など
- ・ライブ・パフォーマンス：大道芸、演奏ライブ、ファッションショー など
- ・物品等の貸し出し：自転車等の貸し出し、物品の貸し出し
- ・ワークショップ

<回答結果>

選択肢	回答数
飲食店	4
購買（飲食物あり）	1
購買（飲食物なし）	2
広報・啓発活動	5
コミュニティスペース	1
サービス提供	3
作品・広告展示	3
ライブ・パフォーマンス	2
物品等の貸し出し	1
ワークショップ	4
その他	0
計	26

(n=8)



Q3. 街なかの空間を活用してコンテンツを実施することで、自分たちにとって以下のような効果があると思いますか？

(効果の例)

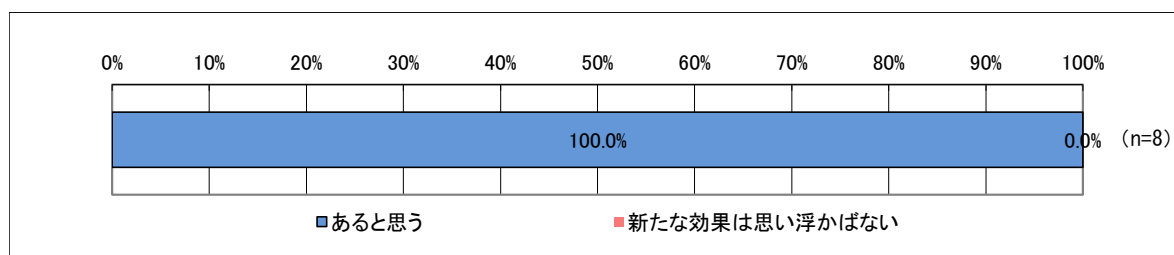
- ・ 普段はできない内容のコンテンツが実施できる
- ・ 普段の取組とは異なる人達（客層）に自分たちの価値観を発信・PRできる
- ・ 普段の取組とは異なる人達（他のホスト）とコラボレーションできる
- ・ ホストメンバーが地域との関わりを感じモチベーションの向上が期待できる
- ・ 来客数が増え、収益が増える

[選択肢]

- ・ あると思う
- ・ 新たな効果は思い浮かばない

<回答結果>

選択肢	回答数
あると思う	8
新たな効果は思い浮かばない	0
計	8



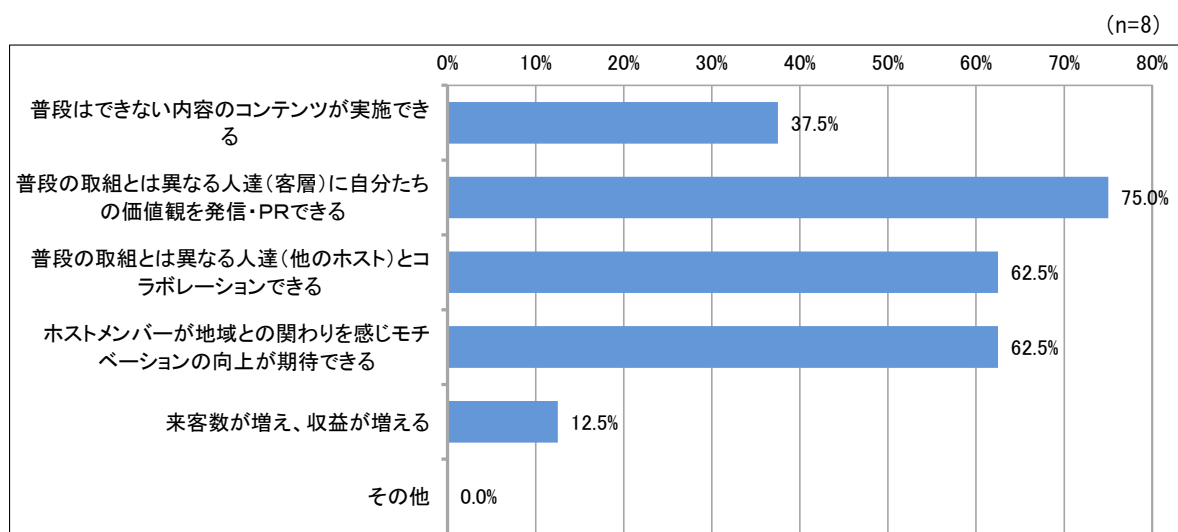
Q4. 自分たちにとっての効果として、期待できるものをすべて選んでください。

[選択肢]

- ・ 普段はできない内容のコンテンツが実施できる
- ・ 普段の取組とは異なる人達（客層）に自分たちの価値観を発信・PRできる
- ・ 普段の取組とは異なる人達（他のホスト）とコラボレーションできる
- ・ ホストメンバーが地域との関わりを感じモチベーションの向上が期待できる
- ・ 来客数が増え、収益が増える

<回答結果>

選択肢	回答数
普段はできない内容のコンテンツが実施できる	3
普段の取組とは異なる人達（客層）に自分たちの価値観を発信・PRできる	6
普段の取組とは異なる人達（他のホスト）とコラボレーションできる	5
ホストメンバーが地域との関わりを感じモチベーションの向上が期待できる	5
来客数が増え、収益が増える	1
その他	0
計	20



Q4-2. 前問で答えた効果について、具体例など思うことがあれば記述してください。

[自由回答]

・新潟にも様々なパフォーマー、クリエイターがいます。そして、新潟にはふらっと足を運んで楽しめるエンタメ・アトラクションが少ない様に感じます。皆さんとコラボレーションして、日常的に楽しめる空間ができれば、様々な人がふらっと足を運んで楽しめる空間作りができると思います。

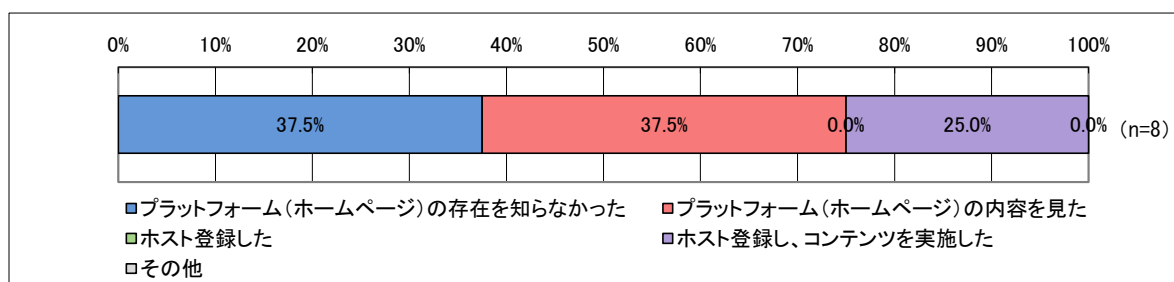
Q5. プラットフォーム（ホームページ）を見たり、利用したりしましたか？最もあてはまるものを選択してください。

[選択肢]

- ・プラットフォーム（ホームページ）の存在を知らなかった
- ・プラットフォーム（ホームページ）の内容を見た
- ・ホスト登録した
- ・ホスト登録し、コンテンツを実施した

<回答結果>

選択肢	回答数
プラットフォーム（ホームページ）の存在を知らなかった	3
プラットフォーム（ホームページ）の内容を見た	3
ホスト登録した	0
ホスト登録し、コンテンツを実施した	2
その他	0
計	8



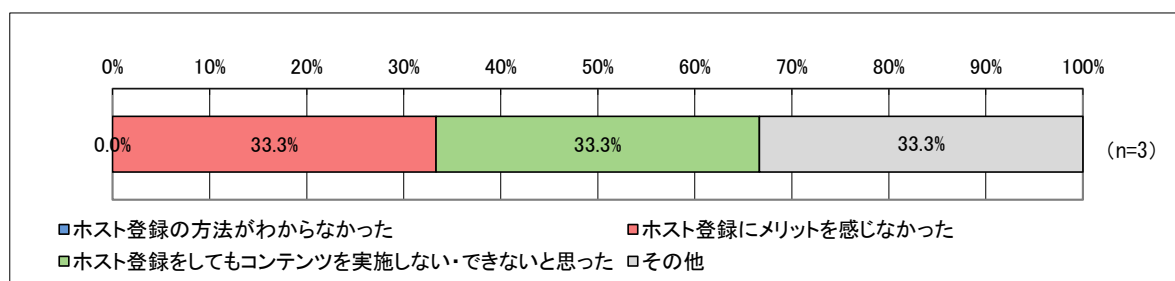
Q6. ホスト登録しなかった理由を選択してください。

[選択肢]

- ・ホスト登録の方法がわからなかった
- ・ホスト登録にメリットを感じなかった
- ・ホスト登録をしてもコンテンツを実施しない・できないと思った

<回答結果>

選択肢	回答数
ホスト登録の方法がわからなかった	0
ホスト登録にメリットを感じなかった	1
ホスト登録をしてもコンテンツを実施しない・できないと思った	1
その他	1
計	3



Q6-2. 前問の選択をした具体的な内容を教えてください。

[自由回答]

- ・時期、タイミング等、具体案にまで至っていなかった。

Q7. プラットフォームで改善が必要と思う部分をすべて選択してください。

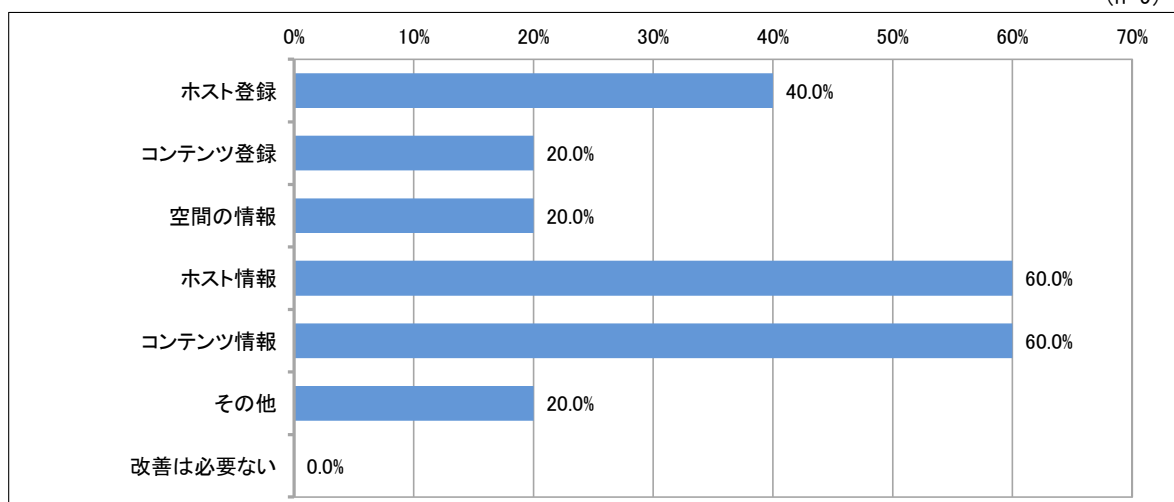
[選択肢]

- ・ ホスト登録
- ・ コンテンツ登録
- ・ 空間の情報
- ・ ホスト情報
- ・ コンテンツ情報
- ・ その他
- ・ 改善の必要はない

<回答結果>

選択肢	回答数
ホスト登録	2
コンテンツ登録	1
空間の情報	1
ホスト情報	3
コンテンツ情報	3
その他	1
改善は必要ない	0
計	11

(n=5)



Q7-2. プラットフォームで改善が必要と思う内容について具体的に記述してください。

[自由回答]

- ・ 先ずは対象者への周知。

仕様としては、いつから申請可能で、採択にどれくらいの時間を要するか、また、いつ利用が可能なのかが、対象スポット、スケジュールが一覧できる等、利便性の向上。

- ・ ホスト、コンテンツ情報が更新されたら、何か別のプラットフォーム等でもシェアされるようにして欲しい

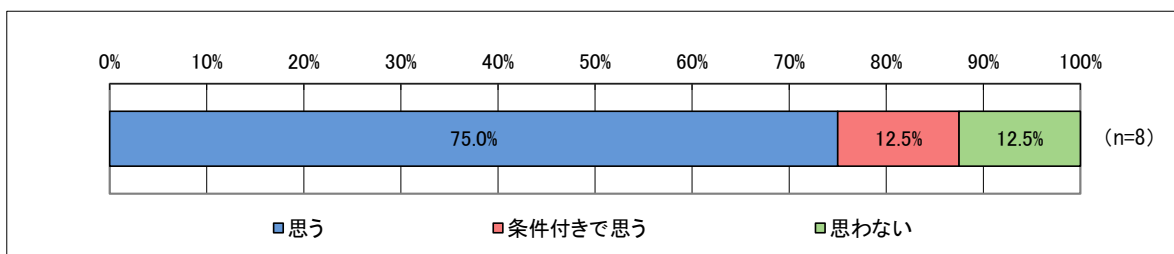
Q8. プラットフォームを活用して、街なかの空間を活用した自分たちのコンテンツを実施してみたいと思いますか？

〔選択肢〕

- ・ 思う
- ・ 条件付きで思う
- ・ 思わない

<回答結果>

選択肢	回答数
思う	6
条件付きで思う	1
思わない	1
計	8



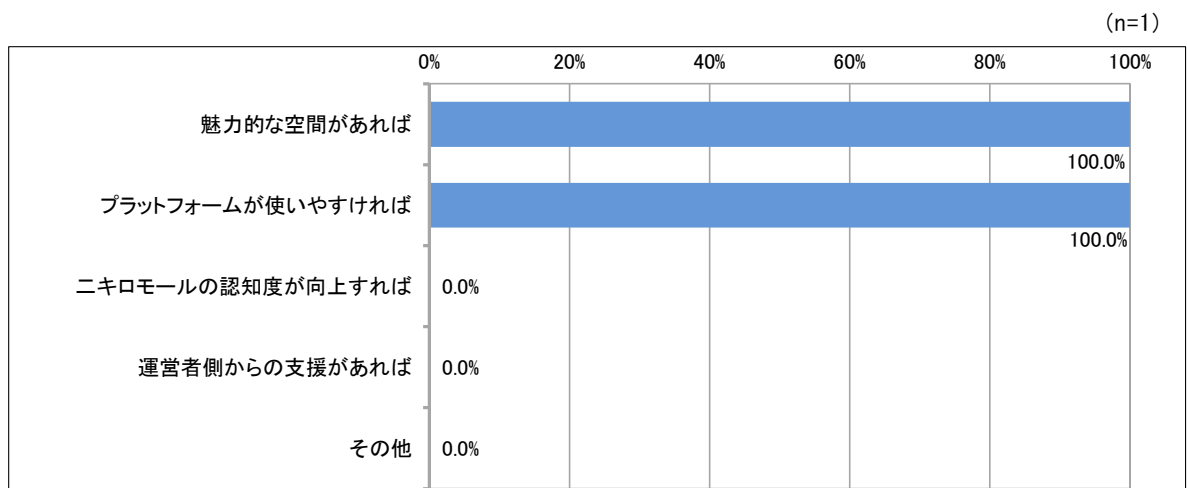
Q9. 「条件付きで思う」と回答した内容についてすべて選択してください。

[選択肢]

- ・魅力的な空間があれば
- ・プラットフォームが使いやすければ
- ・ニキロモールの認知度が向上すれば
- ・運営者側からの支援があれば
- ・その他

<回答結果>

選択肢	回答数
魅力的な空間があれば	1
プラットフォームが使いやすければ	1
ニキロモールの認知度が向上すれば	0
運営者側からの支援があれば	0
その他	0
計	2



Q9-2. 「条件」について具体的に記述してください。

[自由回答]

- ・公共空間の場合における使用許可手続きの簡素化

Q10. コンテンツを実施する際に、運営者または空間の所有者側から提供してもらいたいものはありますか？

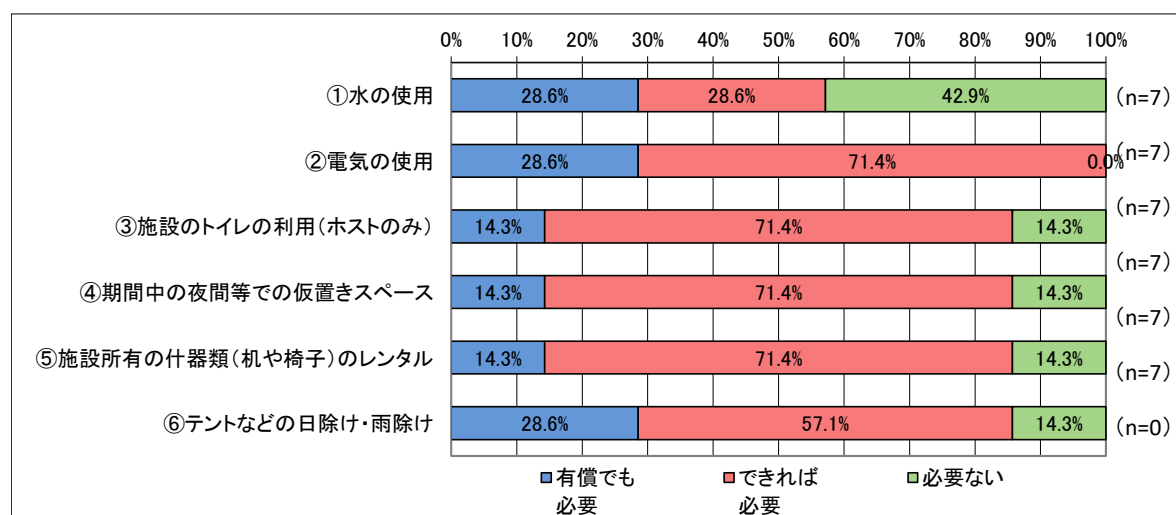
- ①水の使用
- ②電気の使用
- ③施設のトイレの利用（ホストのみ）
- ④期間中の夜間等での仮置きスペース
- ⑤施設所有の什器類（机や椅子）のレンタル
- ⑥テントなどの日除け・雨除け
- ⑦その他、運営者や空間の所有者側から提供してもらいたいものがあれば記述してください。

[選択肢]

- ・有償でも必要
- ・できれば必要
- ・必要ない

<回答結果>

	有償でも必要	できれば必要	必要ない	回答数
①水の使用	2	2	3	7
②電気の使用	2	5	0	7
③施設のトイレの利用（ホストのみ）	1	5	1	7
④期間中の夜間等での仮置きスペース	1	5	1	7
⑤施設所有の什器類（机や椅子）のレンタル	1	5	1	7
⑥テントなどの日除け・雨除け	2	4	1	7
計	9	26	7	42



Q11. プラットフォームを活用して空間を利用する際に、仮に使用料がかかるとした場合、どの程度の金額までなら支払えると思いますか？

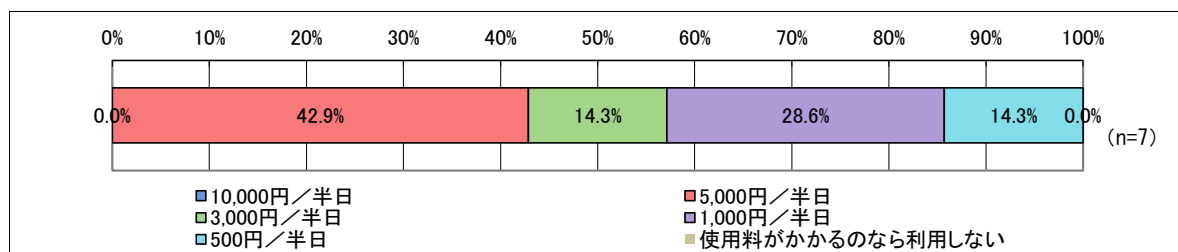
【最も利用したい空間に対し、半日（3～4 時間）あたりでの使用料と思ってください】

[選択肢]

- ・ 10,000 円／半日
- ・ 5,000 円／半日
- ・ 3,000 円／半日
- ・ 1,000 円／半日
- ・ 500 円／半日
- ・ 使用料がかかるのなら利用しない

<回答結果>

選択肢	回答数
10,000円／半日	0
5,000円／半日	3
3,000円／半日	1
1,000円／半日	2
500円／半日	1
使用料がかかるのなら利用しない	0
計	7



Q12. そのほか、ニキロモールについて御意見（ニキロモールの利用促進のために必要なこと、期待すること）などがあればお聞かせください。

[自由回答]

<回答結果>

- ・ 社会実験などにより、理想とするコンテンツの実施例を積み上げ、情報発信を強化されてはいかがでしょうか。
- ・ 歩くのが楽しい道にしましょう。
- ・ 自分は活用することは考えていないがホストを応援したい。
- ・ 歩いて毎日違う空間が感じられる様な活気あふれる仕掛け作りをお願いいたします。
- ・ 様々な企業さんに、限られた空間を有効にシェアして、様々なコラボや新しい価値観が生まれるようにしたい。

(3) 考察

<街なかの空間を活用してコンテンツを実施すること>

- ・回答者すべてが、「自分たちにとって効果がある」と回答。
- ・もっとも期待する効果は、「普段の取組とは異なる人達（客層）に自分たちの価値観を発信・PRできる」で30%。次いで「普段の取組とは異なる人達（他のホスト）とコラボレーションできる」と「ホストメンバーが地域との関わりを感じモチベーションの向上が期待できる」がそれぞれ25%。来客数や収益の増加よりも、質的な変化を期待する声が多い。

<プラットフォームについて>

- ・回答者8名のうち、3名は「プラットフォーム（ホームページ）の存在を知らなかった」。
- ・改善が必要と思う部分としては、「ホスト情報」や「コンテンツ情報」が多く、情報提供の仕方に対する指摘が多い。
- ・回答者8名のうち6名が、「プラットフォームを活用して自分たちのコンテンツを実施してみたい」と回答。その他1名も「魅力的な空間があれば」「プラットフォームが使いやすければ」実施してみたいと回答。
- ・ホスト登録しなかった理由には、「ホスト登録をしてもコンテンツを実施しない・できないと思った」「時期、タイミング等、具体案にまで至っていなかった」などと回答。

<提供してもらいたいもの>

- ・「水の使用」を除き、ほとんどが「有償でも必要」もしくは「できれば必要」と回答。
- ・有償でも必要との回答が比較的多いのは「電気の使用」と「テントなどの日除け・雨除け」。

<使用料金について>

- ・回答者7名のうち、最も多い3名は「5,000円／半日」、次いで2名は「1,000円／半日」。
- ・「使用料がかかるのなら利用しない」と回答した方はいない。

<必要なこと、期待すること>

- ・「歩いて毎日違う空間が感じられる様な活気あふれる仕掛け作りを」や「様々なコラボや新しい価値観が生まれるように」などの前向きな意見。

<今後のホストの参画促進に向けた検討事項(案)*>

- ・街なかでコンテンツを実施することに対し、ホストは自分たちにとっても効果があ

り、実施したいと考えているため、まずはその実施環境をわかりやすく整える必要がある。

- ・具体的には、コンテンツを実施できる日時を絞り込んだ（設定した）うえで、事前に周知し準備期間を確保する。また、活用スポットの情報（水道などの活用可能な設備や、将来的には前面道路の歩行者交通量やその個人属性などの空間情報）の充実により、「できる・できないの判断」や「より効果が期待できる活用スポットの選択」がしやすいようにする。安全管理のためのルール、条件設定などの明示なども必要。
- ・活用スポットの情報の充実にあたっては、運営者の負担を考慮すると、実施スポットの絞り込みが必要であるが、戦略的にターゲットとすべき空間条件を備えた場所を選定すべきと考える。
- ・プラットフォームを知らなかったホストも存在することから、プラットフォームの認知度向上が必要であるが、これはゲスト向けのPRの充実と併せて実施したい。
- ・また、ホストの“チャレンジの場”とできるよう、「投げ銭」の仕組みの早期実装も目指す。

※その他調査結果も踏まえて記載

5-4-3 空間所有者の意向把握調査

コンテンツを実施する空間を提供する側である空間所有者の意向を把握するためのアンケートを実施した。

(1) 調査方法

調査は、実証実験において空間提供を承諾していただいた所有者に加えて、本業務作業を通じ関係した空間所有者になり得る方を対象に、簡易な Web アンケートを実施した。

▼調査の方法（Web アンケート）

	内 容
実施日	令和 4 年 9 月 7 日～
方法	Google フォームによる Web アンケート
設問数	13 問 ※問合せ先に関する設問除く
主な設問項目	a.二キロモールの評価（受容性） b.ホストへの期待(実施してほしいコンテンツ) c.ホストへの不安 d.費用についての考え
回収数	6 件

(2) 調査結果

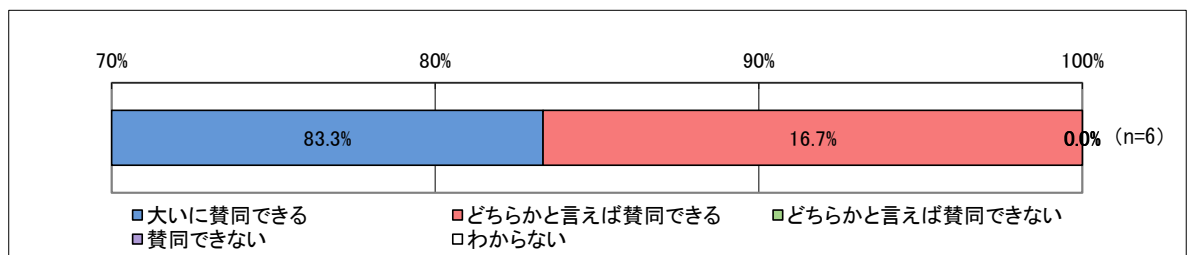
Q1. あなたが空間提供を「する・しない」に関わらず、このような「街なかの空間を活用して賑わい創出する取組」についてどう思いますか？

〔選択肢〕

- ☐ 大いに賛同できる
- ☐ どちらかと言えば賛同できる
- ☐ どちらかと言えば賛同できない → Q13 へ
- ☐ 賛同できない → Q13 へ
- ☐ わからない

<回答結果>

選択肢	回答数
大いに賛同できる	5
どちらかと言えば賛同できる	1
どちらかと言えば賛同できない	0
賛同できない	0
わからない	0
計	6



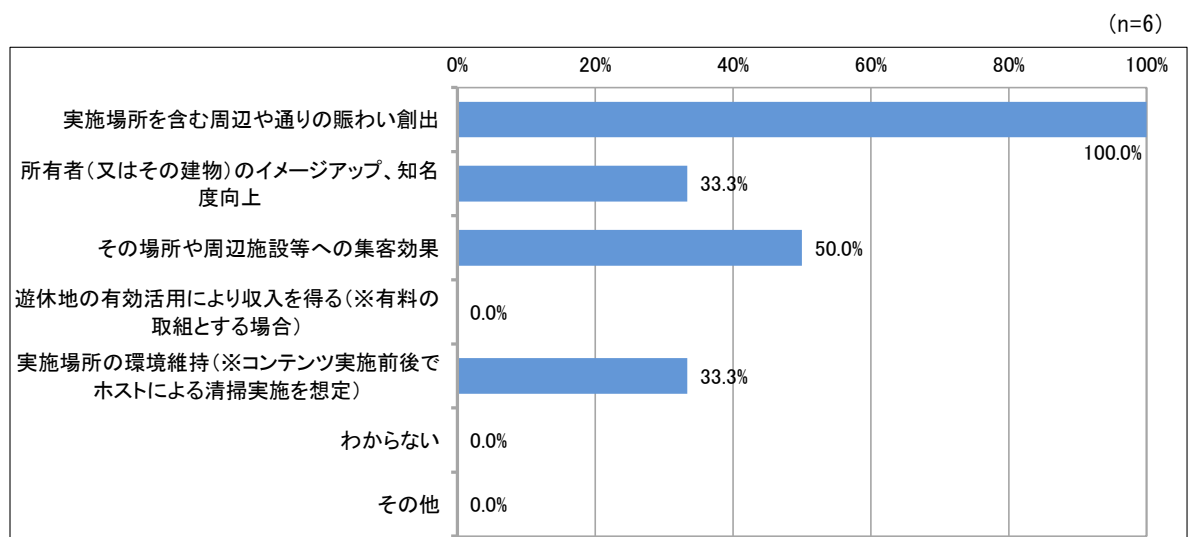
Q 2. この取り組みに参加（コンテンツの実施場所を提供）することで、所有者としてどのような効果（メリット）があると思いますか？※複数回答可

[選択肢]

- ☐ 実施場所を含む周辺や通りの賑わい創出
- ☐ 所有者（又はその建物）のイメージアップ、知名度向上
- ☐ その場所や周辺施設等への集客効果
- ☐ 遊休地の有効活用により収入を得る（※有料の取組とする場合）
- ☐ 実施場所の環境維持（※コンテンツ実施前後でホストによる清掃実施を想定）
- ☐ わからない
- ☐ その他

<回答結果>

選択肢	回答数
実施場所を含む周辺や通りの賑わい創出	6
所有者（又はその建物）のイメージアップ、知名度向上	2
その場所や周辺施設等への集客効果	3
遊休地の有効活用により収入を得る（※有料の取組とする場合）	0
実施場所の環境維持（※コンテンツ実施前後でホストによる清掃実施を想定）	2
わからない	0
その他	0
計	13



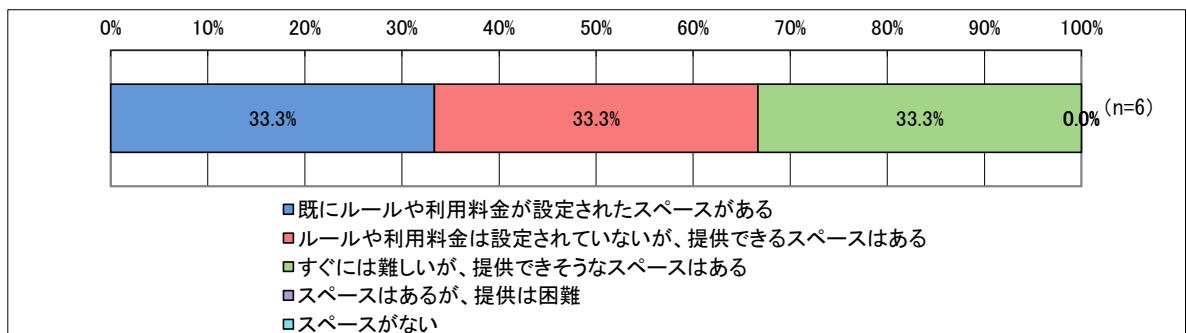
Q 3. ニキロモールのコンテンツを実施する場所として「提供可能な場所（スペース）」
 がありますか？

〔選択肢〕

- ☐ 既にルールや利用料金が設定されたスペースがある
- ☐ ルールや利用料金は設定されていないが、提供できるスペースはある
- ☐ すぐには難しいが、提供できそうなスペースはある
- ☐ スペースはあるが、提供は困難 → Q 13 へ
- ☐ スペースがない → Q 13 へ

< 回答結果 >

選択肢	回答数
既にルールや利用料金が設定されたスペースがある	2
ルールや利用料金は設定されていないが、提供できるスペースはある	2
すぐには難しいが、提供できそうなスペースはある	2
スペースはあるが、提供は困難	0
スペースがない	0
計	6



Q 4. 仮にその場所を提供するとしたら、どのようなコンテンツなら許容できますか？

- ①飲食店 : オープンカフェ、キッチンカー、屋台など
 ②購買（飲食物あり） : 食品販売、農水産物直売など
 ③購買（飲食物なし） : フリーマーケット、物産展示即売会など
 ④広報・啓発活動 : 観光交流イベント、環境フェア、福祉フェア、交通安全運動など
 ⑤コミュニティスペース : 休憩・待ち合せスペースなど
 ⑥サービス提供 : 文化教室、スポーツ教室、エクササイズ
 ⑦作品・広告展示 : 美術展覧会、アートイベント、児童・学生作品展示 など
 ⑧ライブ・パフォーマンス : 大道芸、演奏ライブ、ファッションショー など
 ⑨物品等の貸し出し : 自転車等の貸し出し、物品の貸し出し
 ⑩ワークショップ

[選択肢]

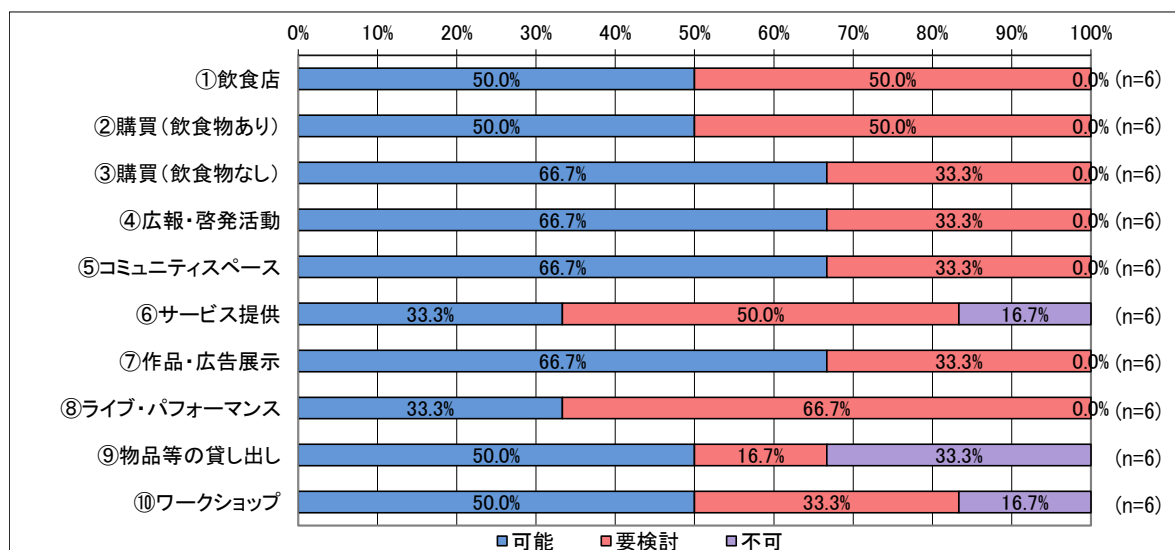
☐ 可能

☐ 要検討

☐ 不可

<回答結果>

	可能	要検討	不可	回答数
①飲食店	3	3	0	6
②購買（飲食物あり）	3	3	0	6
③購買（飲食物なし）	4	2	0	6
④広報・啓発活動	4	2	0	6
⑤コミュニティスペース	4	2	0	6
⑥サービス提供	2	3	1	6
⑦作品・広告展示	4	2	0	6
⑧ライブ・パフォーマンス	2	4	0	6
⑨物品等の貸し出し	3	1	2	6
⑩ワークショップ	3	2	1	6
計	32	24	4	60



Q 5. その場所でコンテンツを実施する際に、所有者としてホストへ提供が可能なもの
 がありますか？（※ホスト：コンテンツ実施者）

- ①水の使用
- ②電気の使用
- ③施設のトイレの利用（ホストのみ）
- ④期間中の夜間等での仮置きスペース
- ⑤施設所有の什器類（机や椅子）のレンタル
- ⑥その他、ホストへの提供が可能なものがあれば記述してください。

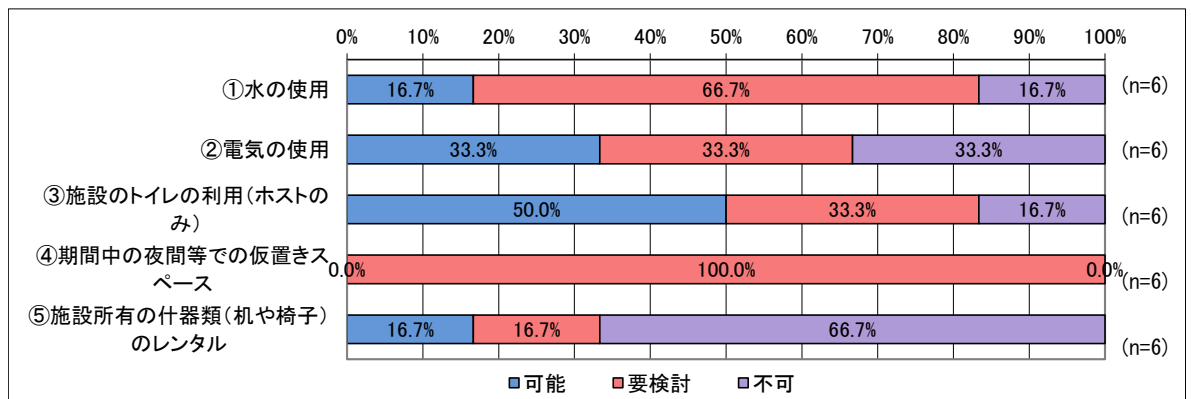
※自由意見

[選択肢]

- ☐ 可能
- ☐ 要検討
- ☐ 不可

<回答結果>

	可能	要検討	不可	回答数
①水の使用	1	4	1	6
②電気の使用	2	2	2	6
③施設のトイレの利用（ホストのみ）	3	2	1	6
④期間中の夜間等での仮置きスペース	0	6	0	6
⑤施設所有の什器類（机や椅子）のレンタル	1	1	4	6
計	7	15	8	30



Q 6. 仮に、それらコンテンツを実施する場合、懸念する事項としてどのようなものが想定されますか？※複数回答可

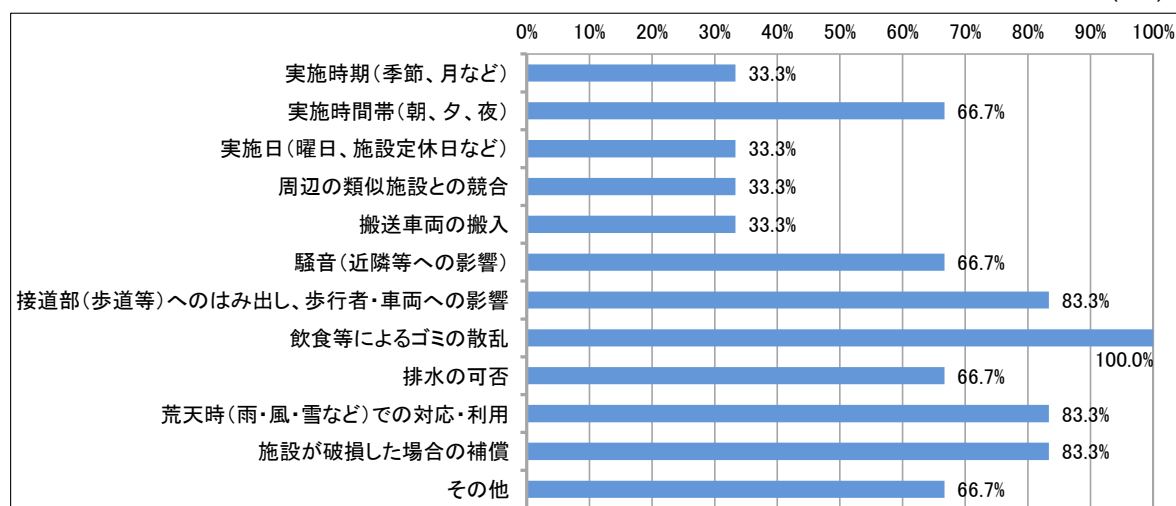
[選択肢]

- ☐ 実施時期（季節、月など）
- ☐ 実施時間帯（朝、夕、夜）
- ☐ 実施日（曜日、施設定休日など）
- ☐ 周辺の類似施設との競合
- ☐ 搬送車両の搬入
- ☐ 騒音（近隣等への影響）
- ☐ 接道部（歩道等）へのはみ出し、歩行者・車両への影響
- ☐ 飲食等によるゴミの散乱
- ☐ 排水の可否
- ☐ 荒天時（雨・風・雪など）での対応・利用
- ☐ 施設が破損した場合の補償
- ☐ その他（ ）

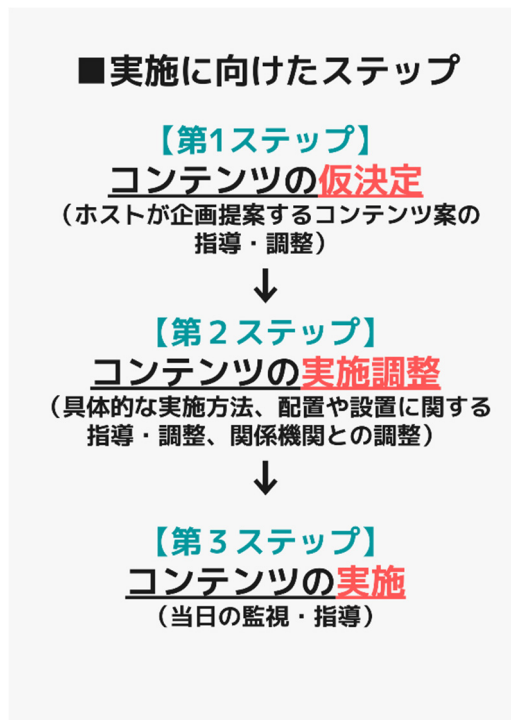
<回答結果>

選択肢	回答数
実施時期（季節、月など）	2
実施時間帯（朝、夕、夜）	4
実施日（曜日、施設定休日など）	2
周辺の類似施設との競合	2
搬送車両の搬入	2
騒音（近隣等への影響）	4
接道部（歩道等）へのはみ出し、歩行者・車両への影響	5
飲食等によるゴミの散乱	6
排水の可否	4
荒天時（雨・風・雪など）での対応・利用	5
施設が破損した場合の補償	5
その他	4
計	45

(n=6)



Q 7. ホストからコンテンツの申請（取組実施の希望）があった場合、実施するまでの間に、何度かホストと協議を重ねる必要があります。図に示すような手順を想定した場合、どのようなやり方を希望しますか？

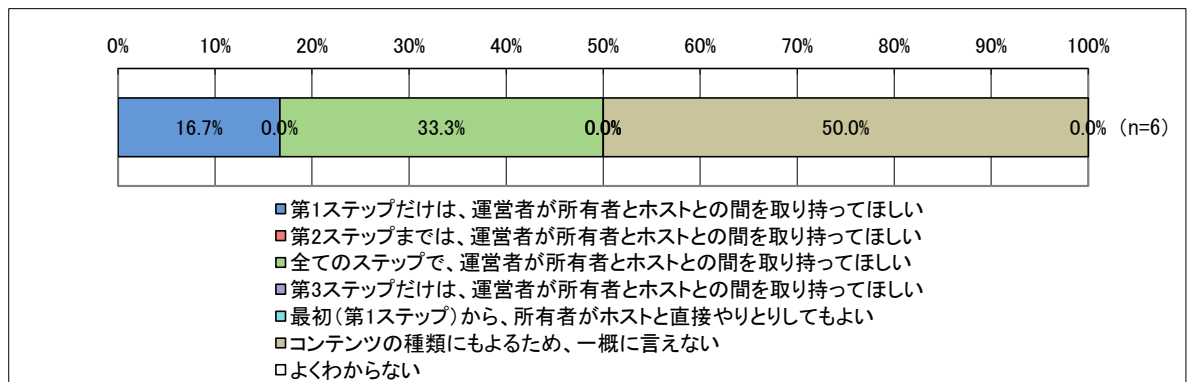


[選択肢]

- ☐ 第1ステップだけは、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい
- ☐ 第2ステップまでは、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい
- ☐ 全てのステップで、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい
- ☐ 第3ステップだけは、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい
- ☐ 最初（第1ステップ）から、所有者がホストと直接やりとりしてもよい
- ☐ コンテンツの種類にもよるため、一概に言えない
- ☐ よくわからない

< 回答結果 >

選択肢	回答数
第1ステップだけは、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい	1
第2ステップまでは、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい	0
全てのステップで、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい	2
第3ステップだけは、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい	0
最初（第1ステップ）から、所有者がホストと直接やりとりしてもよい	0
コンテンツの種類にもよるため、一概に言えない	3
よくわからない	0
計	6



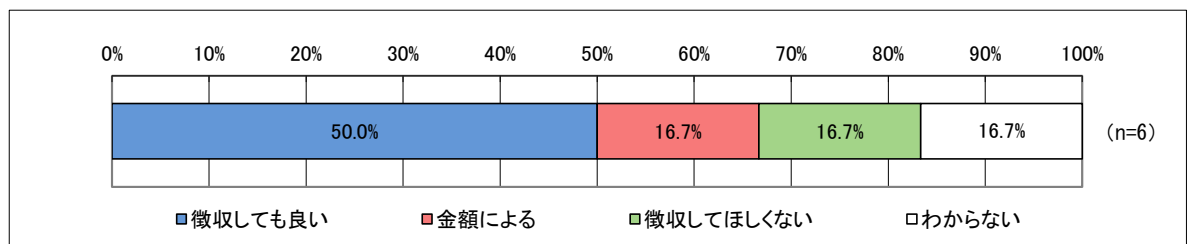
Q 8. ニキロモールの取組の運営資金を調達するため、コンテンツを行う際にホストから「空間使用料」として料金を徴収することについてどう思いますか？【お金の流れ：ホスト⇒運営者・所有者】

[選択肢]

- ☐ 徴収しても良い → Q 10 へ
☐ 金額による → Q 10 へ
☐ 徴収してほしくない → Q 9 へ
☐ わからない → Q 10 へ

<回答結果>

選択肢	回答数
徴収しても良い	3
金額による	1
徴収してほしくない	1
わからない	1
計	6



Q 9. 「徴収してほしくない」と答えた理由をお聞かせください。

[自由回答]

<回答結果>

- ・もともと公開空地として一般に開放された空間であることから、料金の徴収は想定していない。

Q10. 取組の運営資金の調達やホストへの報酬として、コンテンツを見に来たゲスト（一般市民）から”投げ銭”を徴収することについてどう思いますか？【お金の流れ：ゲスト⇒運営者・ホスト】

＊投げ銭とは：スマホのアプリなどを使ってオンラインで送金する行為

[選択肢]

☐ 徴収しても良い → Q12 へ

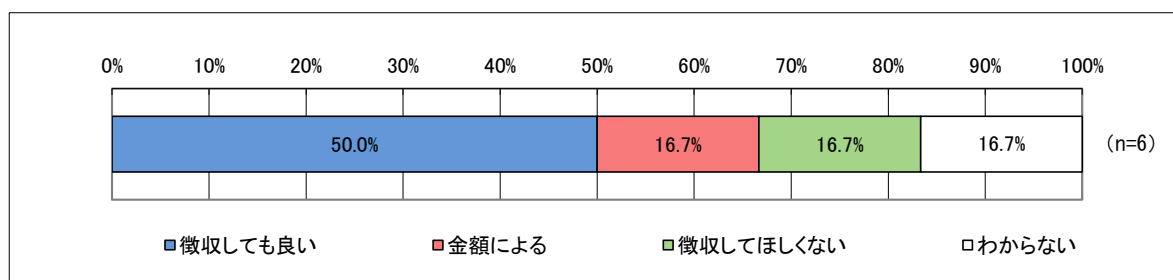
☐ 金額による → Q12 へ

☐ 徴収してほしくない → Q11 へ

☐ わからない → Q12 へ

<回答結果>

選択肢	回答数
徴収しても良い	2
金額による	1
徴収してほしくない	0
わからない	3
計	6



Q11. 「徴収してほしくない」と答えた理由をお聞かせください。

[自由回答]

<回答結果>

回答なし

Q12. ニキロモールの専用プラットフォームでは、「提供可能な場所」の登録や、場所を選択してコンテンツ実施の申請などを行うことができます。

仮に、「提供可能な場所」の登録を『有料』にした場合、いくらまでなら許容できますか？

【お金の流れ：所有者⇒運営者】

[選択肢]

☐ 1 か所あたり 10,000 円／回

☐ 1 か所あたり 5,000 円／回

☐ 1 か所あたり 3,000 円／回

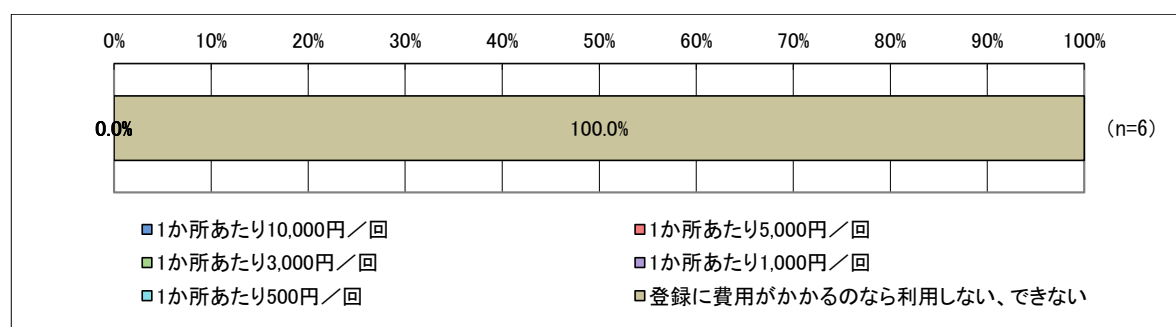
☐ 1 か所あたり 1,000 円／回

☐ 1 か所あたり 500 円／回

☐ 登録に費用がかかるのなら利用しない、できない

<回答結果>

選択肢	回答数
1か所あたり10,000円／回	0
1か所あたり5,000円／回	0
1か所あたり3,000円／回	0
1か所あたり1,000円／回	0
1か所あたり500円／回	0
登録に費用がかかるのなら利用しない、できない	6
計	6



Q13. ニキロモールの取組について御意見（ニキロモールの本格運用のために必要なこと、改善すべきこと、期待すること）などがあればお聞かせください。

〔自由回答〕

<回答結果>

- ・市民への認知度がまだ低い。広報をもっとすべき。
- ・今回、実証実験ということでホストのご要望をお伺いしてお応えしましたが、本格運用となったときには、内容にもよりますが、個々のホストへのご要望にお応えすることは、こちらの事務対応も煩雑になることからなるべくなら避けたいところです。あくまでこちらは「空間を提供」する立場で、その空間の中でホストの方が自由に使っていただくのが良いのではないかと思います。

(3) 考察

<取組に対する意向・賛同>

- ・回答者 6 名のうち 5 名は「大いに賛同できる」と回答。「賛同できない」と回答した方はいない。

<所有者としてどのような効果（メリット）>

- ・「実施場所を含む周辺や通りの賑わい創出」を 6 名中 5 名が選択。
- ・「その場所や周辺施設等への集客効果」を 6 名中 3 名が選択。
- ・「所有者（又はその建物）のイメージアップ、知名度向上」と「実施場所の環境維持」は、6 名中 2 名が選択。

<許容できるコンテンツ>

- ・回答者 6 名のうち 5 名は、「購買（飲食物なし）：フリーマーケット、物産展示即売会など」、「広報・啓発活動：観光交流イベント、環境フェア、福祉フェア、交通安全運動など」、「コミュニティスペース：休憩・待ち合せスペースなど」、「作品・広告展示：美術展覧会、アートイベント、児童・学生作品展示 など」を選択。
- ・飲食が伴うコンテンツは、要検討となる傾向がある。また、「サービス提供：文化教室、スポーツ教室、エクササイズ」と「物品等の貸し出し：自転車等の貸し出し、物品の貸し出し」は、不可とする回答者も存在。

<ホストへ提供が可能なもの>

- ・「施設のトイレの利用（ホストのみ）」と「電気の使用」は比較的可能とする意見が多いが、不可と回答する方も存在。
- ・「施設所有の什器類（机や椅子）のレンタル」は、回答者 6 名のうち 4 名は不可と回答。

<懸念する事項>

- ・回答者 6 名の全員が、「飲食等によるゴミの散乱」を選択。次いで 5 名が「接道部（歩道等）へのはみ出し、歩行者・車両への影響」「荒天時（雨・風・雪など）での対応・利用」「施設が破損した場合の補償」を選択。
- ・「実施時期（季節、月など）」や「実施日（曜日、施設定休日など）」のほか、「周辺の類似施設との競合」「搬送車両の搬入」を懸念する方は比較的少ない。

<実施するまでの間のホストとの協議>

- ・「コンテンツの種類にもよるため、一概に言えない」の回答が 6 名のうち 3 名と多いが、2 名は「全てのステップで、運営者が所有者とホストとの間を取り持ってほしい」と回答。

<空間使用料の徴収>

- ・回答者6名のうち4名は、「徴収しても良い」又は「金額による」と回答。
- ・「徴収してほしくない」と回答した1名の理由は、「もともと公開空地として一般に開放された空間であることから」。

<「提供可能な場所」の登録を『有料』にした場合について>

- ・回答者6名の全員が、「登録に費用がかかるのなら利用しない、できない」と回答。

<今後の所有者対応に関する検討事項(案)※>

- ・各空間種別（道路・公開空地・公園など）の中にも活用しやすい空間や効果が見込める空間が存在するが、一方で活用できそうな空間があったとしてもむやみに箇所数を拡大することは、運営者の負担増加や実施効果の低いコンテンツにつながる懸念がある。所有者側の活用意向にかかわらず、当面はターゲットとすべき空間条件等を整理したうえで、戦略的に実施スポットの絞り込みを検討する。
- ・また、ホストに対するコンテンツメニューの絞り込み、安全管理のためのルール・条件などを設定・明示し、所有者としても安心して空間を提供できる環境を構築していく。
- ・道路などについては、空間利用手続きに係る規制緩和等も見据えた制度設計を引き続き検討していく。

※その他調査結果も踏まえて記載

5-4-4 人流データの解析

実証実験時において、コンテンツサービスを享受したゲストの人流データを取得・分析した。

(1) 調査方法

調査は、実証実験においてコンテンツ実施場所（2 か所）で実際にサービスを享受したゲストの行動データを、専用のスマホアプリ等を通じて収集し分析した。データ収集は、別途、新潟市スマートシティ協議会が行った取組（タッチポイント）のしくみを活用した。

▼調査の方法（人流データ解析）

	内 容
方法	コンテンツあり（「空間活用の試行実施」実施時等）・なしの差を評価 ・人流データの取得は、スマートシティアプリ（統合アプリ）を用いる ・ゲスト（コンテンツ参加者）の判定は、タッチポイント（現地における QR コード読取り）により判定する
対象者	試行実施時にコンテンツに訪れた方（タッチポイントにタッチした方）
主な分析項目	a.エリア滞在時間 b.立寄り箇所数
分析サンプル数	2 件（ユニークユーザー）※

※タッチポイント利用者は、期間中 7 ユニークユーザーのログがあったが、コンテンツあり・なし（コンテンツ参加時・非参加時）の比較が可能なサンプルは 2 件であった。「(2) 調査結果」「(3)考察」において記述する。

才モテ

ウ ラ

ご案内

ゆうあい公園用

新潟市スーパースティシティ協議会実証実験

新潟シティアプリで新潟のまちを楽しもう!!

下記の二次元バーコードを読み取って、

お得なサービスを受けよう!!

実証実験用QRコード

新潟シティアプリ

ダウンロードを
している方
は、こちら!

新潟シティアプリ

ダウンロードを
していない方
は、こちら!

新潟シティアプリの
ダウンロードを
アプリしてはい

カメラワークの
確認のため、
アプリしてはい

QRコード

スーパーマーケットが
実証実験に
参加してくださ

新潟シティアプリを
ダウンロードし
アプリしてはい

新潟シティアプリの
ダウンロードを
アプリしてはい

カメラワークの
確認のため、
アプリしてはい

スーパーマーケットが
実証実験に
参加してくださ

アプリでお得なクーポン配布中!
店舗一覧よりご参加ください!

裏面参照

【実験への協力のお願い】

ニキロモールの取組を評価するため、この実証場所「ゆうあい公園」の二次元バーコードも用意しました。上記のサービスをご利用いただいている方は、是非読み取ってください。

[illegible]

▲現地にて配布したタッチポイント利用の協力のお願い（チラシ）



▲現地状況

(2) 調査結果

本実証関連のタッチポイントの利用状況は以下のとおり。いずれも1人1回の利用であった。

▼タッチポイント利用状況

タッチポイントの延べ利用回数（QRコード読取回数）	7回
タッチポイント利用者数（ユニークユーザー数）	7人

7人のユニークユーザーについて、コンテンツあり・なし（コンテンツ参加時・非参加時）の回遊状況を比較した。ただし、「位置情報が取得されていない」または「非参加時のログがない」ために、5人のユニークユーザーは分析対象にできなかった。

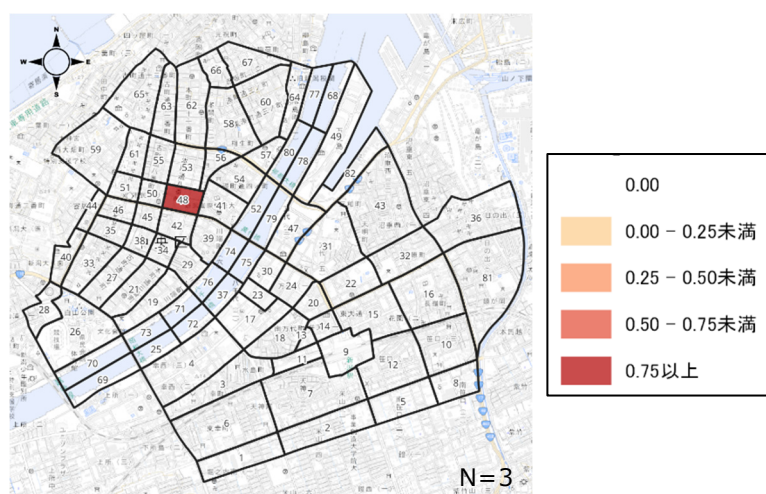
よって、下記に示すの回遊状況は2人のユニークユーザーの分析結果である。

▼タッチポイント利用者の回遊状況（N=2）

	対象エリア内総滞在時間	対象エリア内立寄り箇所数
コンテンツあり （コンテンツ参加時）	21分	1.5回
コンテンツなし （コンテンツ非参加時）	18分	1.5回
コンテンツ実施による効果※	3分	0回

※あり・なしの差分。サンプル数が少ないため、参考値

また、立寄り分布については以下のとおり取得できた。



▲立寄り分布（コンテンツあり）

以上のように、以下の課題はあるものの統合アプリ（位置情報の取得機能、タッチポイント機能）により、「二キロモールのゲストであること判定」と「二キロモールゲストを対象とした人流への影響分析」が可能であることが確認された。

【二キロモールゲストの人流データ解析における課題】

- ①二キロモールコンテンツにおけるタッチポイントの利用促進
- ②統合アプリにおける位置情報取得時間の増加

(3) 考察

＜人流データ解析の可否＞

- ・対象は2件と少なかったものの、統合アプリ（位置情報の取得機能、タッチポイント機能）により、「二キロモールのゲストであること判定」と「二キロモールゲストを対象とした人流への影響分析」が可能であることを確認。
- ・以下の課題に対する対応を検討していく必要がある。

＜二キロモールコンテンツにおけるタッチポイントの利用促進＞

- ・本実証では、二キロモールや二キロモールコンテンツとしてのインセンティブは設定せず、新潟都心エリアにある店舗でのインセンティブを設定した。これらは当該店舗でのタッチポイントでも受けることができるインセンティブであるため、実質は二キロモールのタッチポイント利用によるインセンティブは設定できていない。
- ・このため、タッチポイント利用は実証実験への協力を依頼した形であった。
- ・今後の方向性としては、「参加者のタッチポイント利用の必須化」や「ホストによるインセンティブの用意」、「地域の協力による二キロモール独自のインセンティブ付与」について検討していく必要がある。
- ・ただし、「参加者のタッチポイント利用の必須化」のためには、統合アプリの利用率を向上させた上でなければ、コンテンツ参加のハードルをあげてしまうため、当面は他の2点を具体化していく必要がある。

＜統合アプリにおける位置情報取得時間の増加＞

- ・タッチポイント利用者数は7ユニークユーザーであったが、コンテンツあり・なしの比較が可能であったのは2ユニークユーザーに留まった。
- ・この要因としては、統合アプリへの位置情報提供を許可していないユーザーがいることやタッチポイント非利用時の都心地区来訪時に統合アプリを起動していないユーザーがいることが考えられる。
- ・前者については、タッチポイント利用に際して位置情報提供を必須とすることで解決が図れるが、アプリ利用への抵抗感につながる可能性があるほか、後者の解決にならないため、後者への対応と合わせて考える必要がある。

- ・新潟市スマートシティ協議会で過去に実施した統合アプリを活用したスタンプラリーのように、アプリユーザーが能動的に位置情報提供を許諾するような仕掛けが必要である。これを恒常的に、かつ多くの利用者が見込めるような内容で実施していく必要があると考える。

5-4-5 その他

前述した調査に加えて、本取組を評価するために必要な以下の調査を実施した。

(1) プラットフォームの閲覧状況の把握

1) 内容・方法

Google Analytics を活用し、プラットフォームの閲覧ユーザー数を把握した。広報等の実施タイミングを重ね合わせ、有効な広報手段等を考察した。

▼調査の方法（プラットフォームの閲覧状況の把握）

	内 容
方法	Google Analytics を活用し、プラットフォームの閲覧件数を把握
対象者	プラットフォームを閲覧した全てのユーザー
主な分析項目	・ 日別閲覧ユーザー数
分析期間	2022 年 2 月(プラットフォーム公開)～2022 年 7 月(コンテンツ実施)

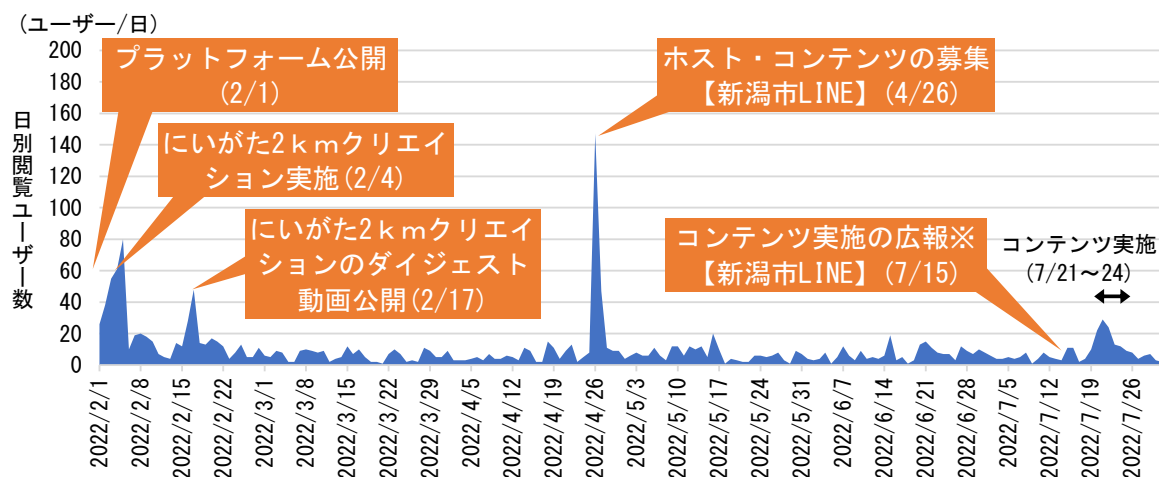
2) 結果・考察

公開当初は、新潟市のホームページ掲載や記者発表および関係者を通じた口コミにより、広報を実施。にいがた 2km クリエイションでは、インフルエンサーに登壇していただくことで、2/5（にいがた 2km クリエイションの翌日）に 80 ユーザー/日を記録した。

期間内での最大値は、ホスト・コンテンツの募集を新潟市 LINE で配信した 4/26（その他新潟市の記者発表等も実施）で、147 ユーザー/日を記録した。一方、同様に新潟市 LINE でコンテンツ実施について配信した 7/15 は、プラットフォームのリンクを記載しなかった（コンテンツ実施の広報を主目的にしたため）ことから、プラットフォームへのアクセスに大きな変化は見られなかった。

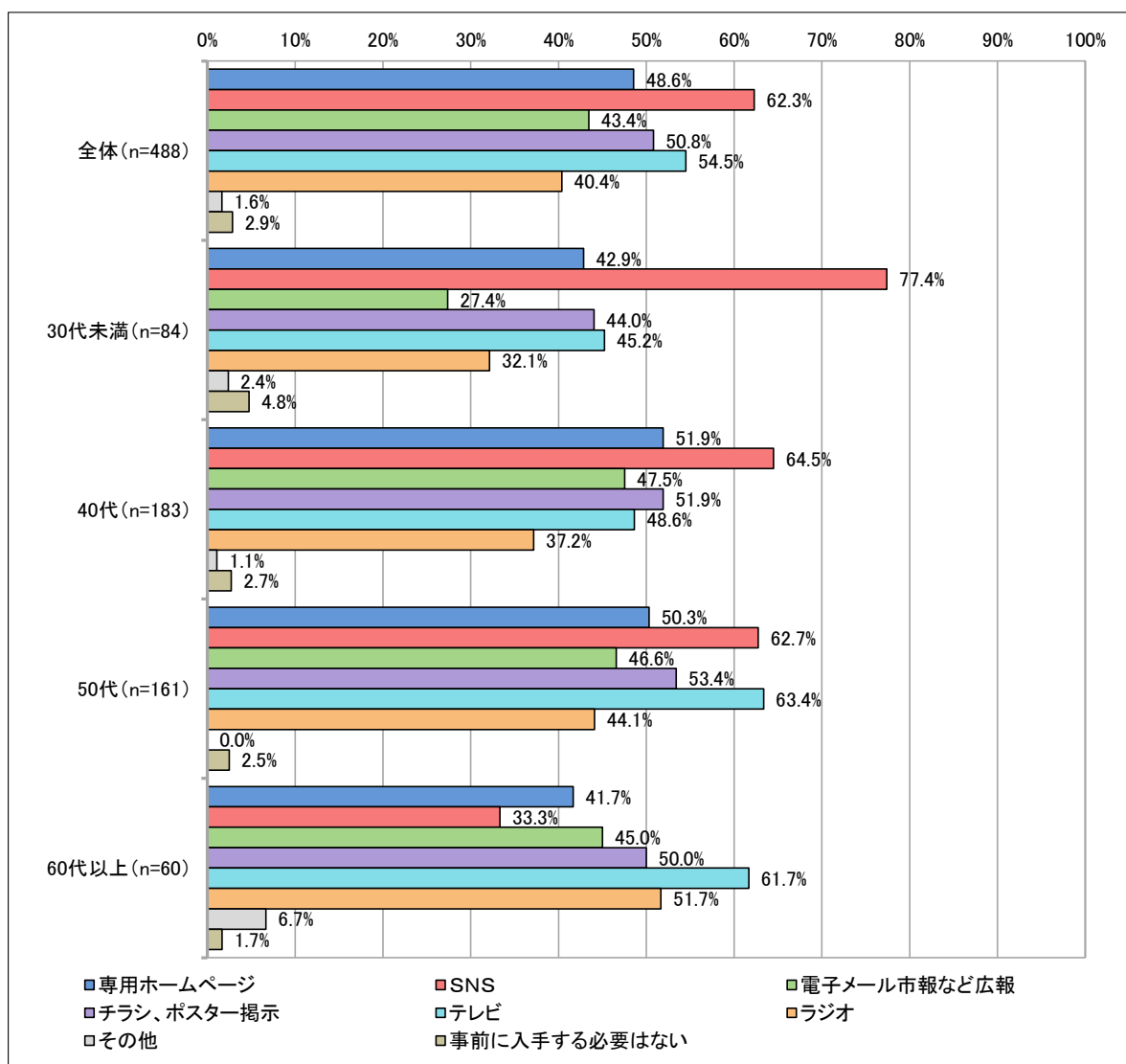
また、市民 Web アンケートでも「取組実施の情報を事前に入手するために望ましい方法」には、『SNS』が望ましいと回答した割合が最も高く 62.3%となっており、この割合は若い世代ほど高い。次点は『テレビ』であり 54.5%であるが、この割合は高齢の世代で高い傾向にある。また、『テレビ』は活用にかかる費用が高く、多くの収入が期待できない本取組では現実的ではない。

以上のことから、新潟市 LINE は無料でありながらも強力な広報ツールであり、今後も効果的な活用をしていくべきと考える。



※7/15 新潟市 LINE では、コンテンツ実施を主目的としたため、プラットフォームのリンクは記載なし

▲プラットフォームの日別閲覧件数



▲世代別取組実施の情報を事前に入手するために望ましい方法

(市民 Web アンケート結果より)

(2) 活用スポット候補調査

1) 方法

活用スポットの候補としてにいがた 2km 周辺のオープンスペースの現地確認を行った。

対象エリアは新潟市中心市街地活性化基本計画における重点活性化地区とした。

※候補の抽出であるため、所有者の意向確認は行っていない。

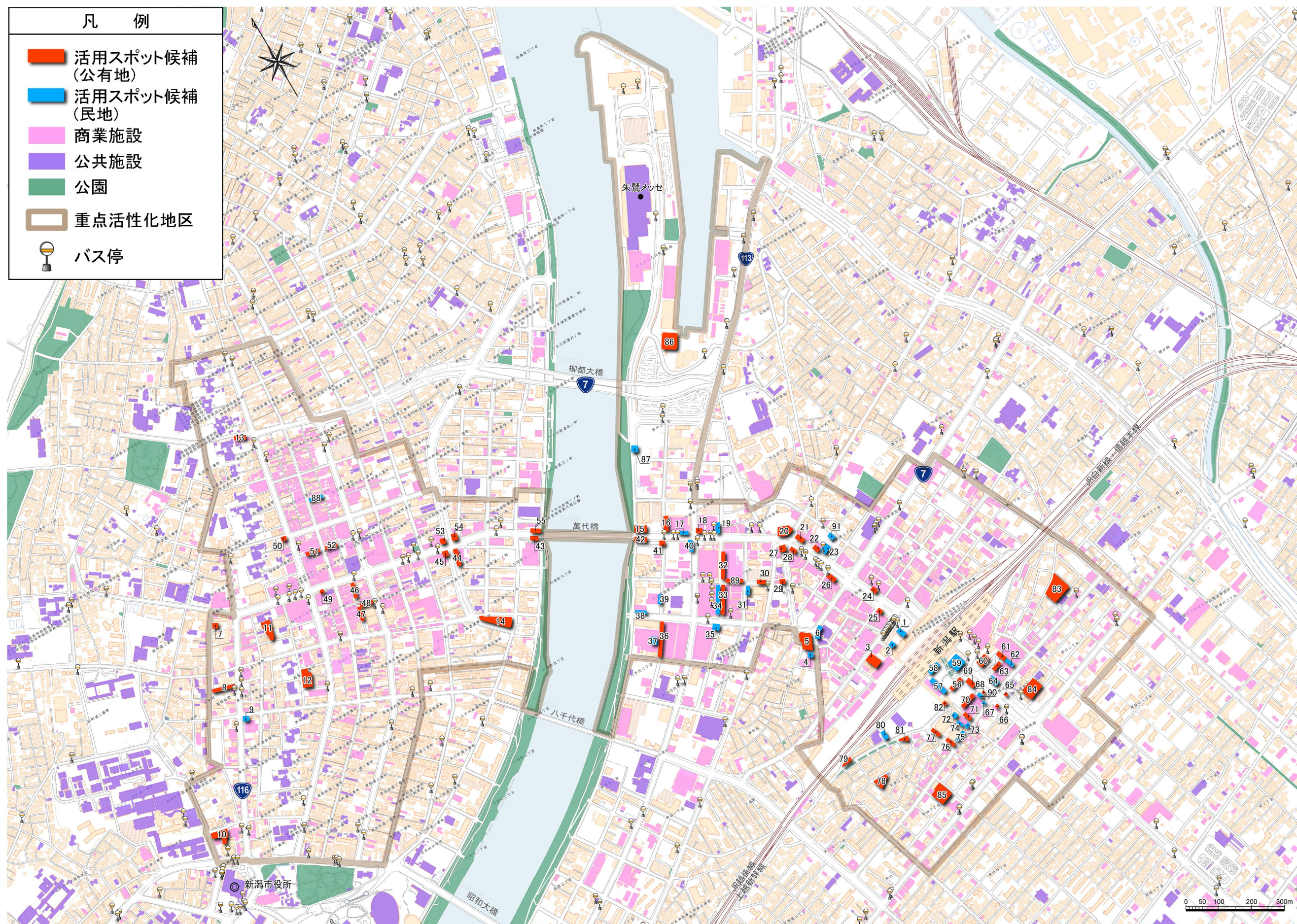
▼調査の方法（活用スポット候補調査）

	内 容
方法	現地において目視で確認し、通路やその他用途に利用されていない空間（オープンスペース）を確認する
対象範囲	新潟市中心市街地活性化基本計画における重点活性化地区
主な分析項目	・オープンスペースの数
実施日	2021 年 5 月 6 日(木)

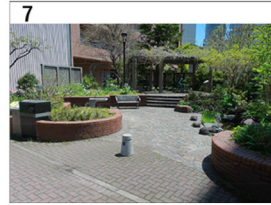
2) 結果・考察

現地確認により、91 か所のオープンスペースを確認した。確認されたオープンスペースの位置と写真を次ページ以降に示す。

空間は大小様々あり、空間によって空間活用への向き不向きも考えられるが、十分な数があることから、取組の意義はあるものと考えられる。



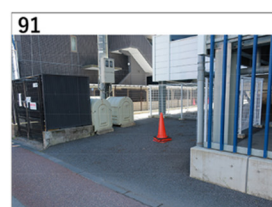
▲確認された活用スポット候補の位置



▲確認された活用スポット候補の写真（その１）



▲確認された活用スポット候補の写真（その２）



▲確認された活用スポット候補の写真（その3）

(3) 有識者等の意見聴取

1) 方法

本調査の実施にあたり行った以下の取組をもとに、有識者等の意見を整理した。

a. イベントプランナー

試行実施に先駆け、先行チャレンジ（ホストの募集や空間活用予約に対し、プラットフォームを使用せずにコンテンツを実施）を実施した。

新潟県より委託を受けたイベントプランナーの武石氏（株式会社ニュース・ライン）および大岩氏（infix）と協力し、例年は屋内で実施していた「農福マルシェ」を令和 3 年 11 月に古町 7 番町モールで実施した。

実施後に、本取組についてヒアリングを実施した。農福マルシェの概要および実施結果、ヒアリング結果を以下に示す。

▼農福マルシェ概要

①趣旨・目的	・「農福連携」について県民への普及啓発を図り、障害者の農業分野への就労促進を図るとともに商品の販路拡大や障害者の工賃向上につなげることを目指す ・大目標を「共生社会の実現」とし、マルシェでは往来する方に「農福連携」と接していただくことで、“外部との接点”や“周知・認知拡大の場所”としたい ・例年、「福祉・介護・健康フェア」の一環として開催。今年度からは単独実施。
②ホスト	・新潟県（運営事務局：新潟県社会福祉協議会）
③実施内容	・障がい者が携わって生産した県内各地の逸品（農産品、菓子、雑貨等）を販売するブースを複数出店
④実施日	令和 3 年 11 月 14 日(日)
⑤実施場所	古町 7 番町モール（道路空間※歩行者専用空間）



▲農福マルシェ実施状況

▼参加事業者アンケート結果（イベントプランナーによる聞き取り）

NO	事業者名	分類	期待値 に対する 売上	単独 出店	次も参加 したいか？	コメント
1	豆の木	福祉	○	△	○	思ったより人手もあり、売上もあったのでありがたかった。
2	コトイロ日和	福祉	○	△	○	テントと机があってよかった。寒かった。10月でもよかったかも。
3	特非あおぞら／久遠チョコレート	福祉	○	△	○	思ったより人の流れがあり、屋内でやるよりも楽しさがあってよかった。
4	クローバー歩みの家	福祉	○	△	○	農家さんが売っている商品を知ることができる。農福のコミュニケーション
5	八米	農業	○	△	○	天候に左右されないのが良かった。イベント目当てでなくても足を止め
6	ディアクティビティセンターはろはろ	福祉	○	△	○	想定を上回るお客様だったので、とても良かった。ワークショップも50
7	しろやま作業所	福祉	○	○	○	開催場所が近く、ふるまちの会場も良かった。天候に恵まれてよかつ
8	ジョブプレイスのぞみふぁーむ	福祉	○	○	○	思ったより人出があった。たくさん売れてよかった。
9	のんびり青山	福祉	○	△	○	クイズラリー家族連れで楽しめるイベントで良かった。集客にも貢献で
10	ラグーン	福祉	○	○	○	ワークショップ30個限定。早々に完売。ハーブを使ったブーケ作りも好
11	スペースBe	福祉	○	△	○	天候に左右されると思うので、場所は全天候型を希望。時期に関し ても検討してほしい。10月くらいを希望。
12	ベジタリアファーム新潟	農業	○	○	○	天気が良かったのが良かった。沢山の人がきた。
13	樋口宏明＆夢ファームくまい	農業	○	△	○	冬にやるなら三方囲いを用意してほしい。風対策を検討してほしい。
14	Iworks	福祉	○	○	○	インスタがあんまりフォロワーが少なかった。フォロワー数を増やして発信
15	農園ささき	農業	△	△	○	思ったより人は来るけど売れなかった。時期が厳しい。10月くらいが
16	ほがらか福祉園	福祉	○	×	○	ふるまちという場所で集客が少ないと思ったが、人が多く良かった。
17	KIKI FARM	農業	○	△	○	様々な事業者と交流が持てて、とても良かった。
18	あけぼのクラブ	農業	○	△	○	様々な事業者と交流が持てて、とても良かった。ポッチャ、クイズがよ
19	パンも大谷	福祉	△	△	○	たくさんお客様がいらしていただき、楽しく過ごさせていいただきました。 10万円売上目標でした。
20	サポートセンター青りんご	福祉	○	○	○	思った以上にお客様がいらしゃってよかった。

▼イベントプランナーへの事後ヒアリング結果

①スポット活用によって必要になったことと対応者（屋内実施との比較）	・沿道関係者との調整（事務局） ・道路占用申請（事務局） ・道路使用申請（事務局） ・通行禁止道路通行許可申請 ・水道、電力の確保 ・机、イスの確保 ・駐車場（荷物搬入車両用）の確保 ・交通誘導員の配置
②まちなかの空間を使ったことでの効果	・イベント実施を知らない往来の方の来場 →ゲスト属性の多様化（家族連れ） →コンテンツや目的の認知向上 →予想以上の来場（告知できていない人達） ※出店者からは想定以上の売上と評価 ・屋内施設利用よりも会場費が低減されれば、イベント実施しやすい。出店者負担も少なくなることで、いろいろな事業者が出店・PR しやすくなる。 ※今回は負担なし ・新型コロナ対応も考えやすい ・出店者の意識・イベントの位置づけも変化
③まちなかの空間を使ったことでの課題	・上記①の手配 ・事前の内容決定（申請関連）が必要（柔軟な対応をしていただければ、活用も増えると考えられる） ・公共空間であるため、視覚障害者への配慮が必要（点字ブロック） ※今回は、出店スタッフが福祉関係だったため、直接対応できた ・トイレの確保 ※今回は隣接する古町ルフル（一部市役所も入居）を案内できた ・イス・机・発電機・テント・仮設シンク（飲食店設置の場合必要）などもシステムを通じて一括でレンタルできると利用しやすい
④今後の活用意向	・同様の体制で実施できるのであれば、利用したい ・一部単独出店を希望する事業者もいた

b. 交通管理者（警察）

本取組による申請の必要性や取扱い、注意点について意見聴取した。その結果を以下にとりまとめた。

▼交通管理者（警察）への意見聴取結果

①道路使用許可の主旨	・道路の使用目的は人や車の通行。交通の危険または妨害のおそれのある行為を禁止している ・しかし、道路工事、工作物の設置、イベント等の通行目的以外の目的についても認めているのが実態 ・この際、道路本来の目的である人や車の往来が妨げられ、通行に危険を生じさせるおそれがあることから、警察署長が必要な条件を付与して道路の使用を許可するのが、道路使用許可
②許可の要件	・当該行為が通行に及ぼす危険性または支障の程度と当該行為の社会的な価値（公益性または社会慣習）を勘案して個別に検討する ・社会的な価値は、地域振興、街おこしなど公共の利益が認められる場合やインフラ工事等の公益性が認められる場合、祭礼行事などの社会慣習上広く認められる場合にその程度が高いと判断される。
③許可の手続き	・許可申請には、申請者および現場責任者が必要 ・通常、イベント等においてはその主催者が申請者になり、法人団体等の場合には、代表権を持つ者が申請者となる ・警察署長が付与する許可条件に違反した場合、その責を負うのは申請者となり、検挙される場合もある。 ・現場責任者は、現場において当該行為を実際に監督する者で、基本的に常駐することが求められる。 ・事故等が発生した場合に責任を負うのは申請者であるため、申請者と直接関係のない者に現場責任者にするのはリスクがある。
④その他	・道路使用許可の対象となる場所は原則として道路上であるが、道路外のイベントでも、そのイベントの影響により多数の人が道路上まで滞留する場合（滞留するおそれがある場合を含み）道路使用許可が必要となる。 ・道路使用許可を出さないで済む形式や用途に限定して実施することも考えられるのではないかと。

先行チャレンジでは、道路空間を利用するために、道路使用許可申請を行った。実施場所である古町 7 番町モールは歩行者専用空間であるため危険性または支障の程度が低く、「新潟県が主催」「福祉目的である」「広く集められた複数の事業者が参加する」ことから社会的な価値が認められ、許可が降りた。申請した道路使用許可証（申請書および許可条件）を次ページ以降に示す。



道路使用許可申請書

2021年 11月 4日

新潟中央 警察 署 長 殿

住 所 新潟市中央区美咲町1丁目7番25号
申請者 氏 名 新潟市スマートシティ協議会
エヌシーイー株式会社 代表取締役 大平 豊
TEL 025-285-8540

道路使用の目的	新潟市スマートシティ協議会の「ニキロモール」の取組み（国土交通省都市局補助事業）について、社会実装に向けた課題や取組みの効果を評価する社会実験として、農福マルシェを実施するため		
場所又は区間	市道 一番堀通町東堀通線		
期 間	2021年 11月 14日 7時から 2021年 11月 14日 18時まで ※農福マルシェのイベント実施は10時～16時（上記は準備・撤去を含む）		
方法又は形態	ブース（テントおよびテーブル）を25ブース、のぼりを3か所、イーゼルを1か所に設置し、販売・ワークショップ・イベントを実施		
添 付 書 類	位置図、平面図、現況写真、『農福マルシェ』について（概要）、農福マルシェチラシ、農福マルシェに伴う道路占用について（お願い）、委任状		
現 場	住 所	新潟市中央区女池南3丁目2番32号	
責任者	氏 名	株式会社ニューズ・ライン	電 話



道 路 使 用 許 可 証

上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。

条 件

別紙許可条件書記載のとおり

3 年 11.10 日

新潟中央 警察 署 長 印

- 備考 1 申請者が法人であるときは、申請者の欄には、その名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 方法又は形態の欄には、工事又は作業の方法、使用面積、行事等の参加人員、通行の形態又は方法等使用について必要な事項を記載すること。
- 3 添付書類の欄には、道路使用の場所、方法等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。
- 4 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

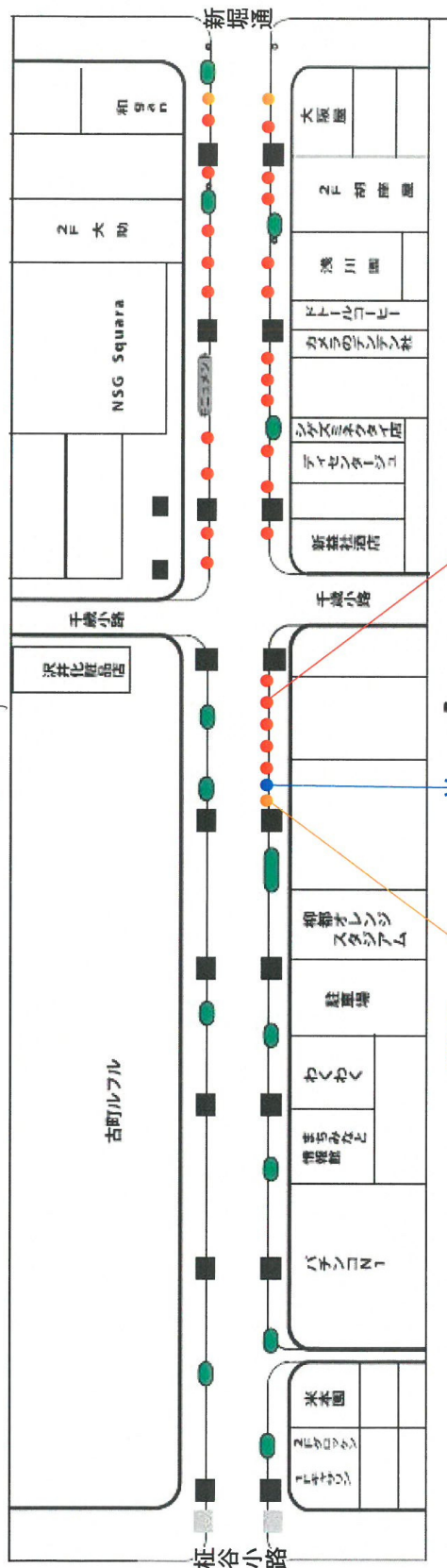
▲道路使用許可証（1／9）



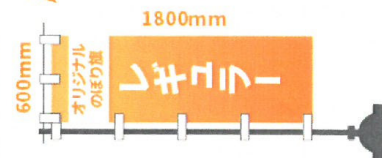
▲道路使用許可証（2／9）

農福マルシェ 平面図

スタッフを配置し、交通誘導にあたる



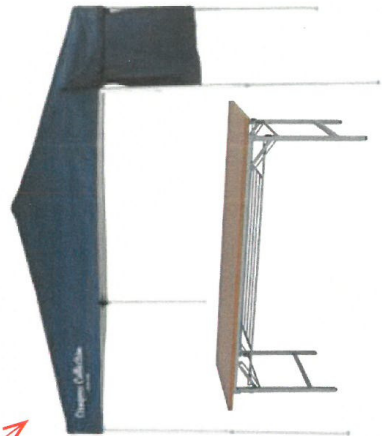
凡	例
●	ブース
○	のぼり
●	イーゼル
■	アーケード柱 (既存)
●	植栽 (既存)



- のぼり
- ・基礎は35cm × 35cm



- イーゼル
- ・50cm × 70cmを占有



- ブース
- ・タープテント1張 (間口: 3000)
- ・テーブル
- ※ テーブルのみの仕様もあります。

現況写真



(千歳小路より新堀通方向)



(千歳小路より榎谷小路方向)

▲道路使用許可証（４／９）

1. 趣旨・目的

- ## 2. ホスト（コンテンツ実施者）

- ### 3. 实施内容

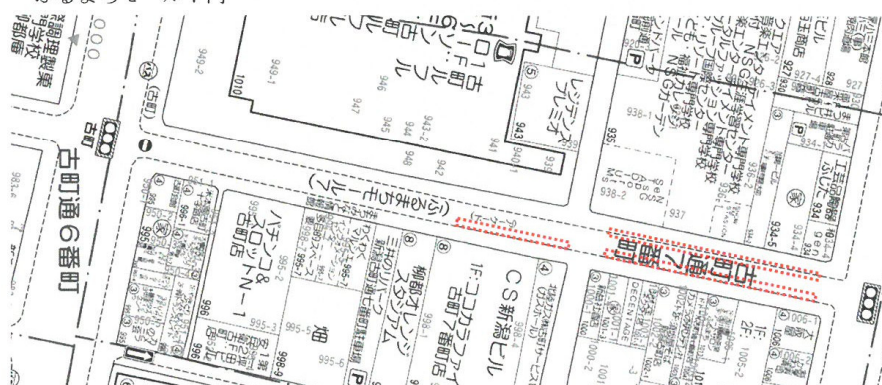
-

※参加者数のべ1,301人

4. 実施日

- ## 5. 実施場所

- ・ふるまちモール7内



「農業」と「福祉」がつながる

2021
noufuku marché

農福 マルシェ

11月14日 日 10:00-16:00
ふるまちモール7

新潟市中央区吉町通7番町

障がい者が携わってきた、新鮮な農産物や加工品など、
県内各地の逸品を是非お買い求めください。

本イベントは新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでおります。ご理解とご協力をお願いいたします。

参加施設

(順不同)

ディアクティビティセンターはろはろ

小松菜・サツマイモ・ほうれん草・焼き菓子・生麺類等

ジョブプレイス のぞみふぁーむ

生しいたけ・生きくらげ・はさかけ米・乾燥しいたけ等

クローバー歩みの家

栗・納豆・うち豆・
ドリップコーヒー等

スペースBe

豆乳シフォンケーキ・
越後姫のジャム・おからぱーる等

豆の木

サツマイモ・里芋・大根・
落花生・エコパック等

サポートセンター青りんご

春菊・オースタムボエム・冬菜・
ピーマン・布製品・焼き菓子等

コトイロ日和

もち麦・焼き菓子・パン等

しろやま作業所

クッキー・パンフォンケーキ・西区の農家野菜等

ほがらか福祉園

糖製品等

あどばんす

大豆粉ドーナツ・乾燥野菜等

ラグーン

落花生・農福スパイスカレー等

のんびり青山

「PONPONこんにゃく」・シフォンケーキ等

特非 あおぞら

久遠チョコレート

パンも大谷

パン

ファーマーズ

(順不同)

樋口宏明 & 夢ファームくまい(共同出展)

ねぎ・ブロッコリー・にんじん・米(併売)・ドライフルーツ(りんご)・キャベツ・もち麦クッキー等

ベジタリアファーム新潟

さつまいもの詰め放題

八米

はちみつ・米販売等

あけぼのクラブ

カメヨコなっとう・米・カメヨコなっとうのきりぎりし井等

農園ささき

米・柿・里芋等

KIKI FARM

コーヒー・米(コシヒカリ・新之助)・野菜数種等

ワークショップ

(順不同)

はちみつ瓶詰め体験

クローバー歩みの家

豆の血移しチャレンジ

ジョブプレイス のぞみふぁーむ

新鮮野菜の重さ当て

ディアクティビティセンターはろはろ

Xmasオーナメント作り

ラグーン

土をろうろ! [菌ちゃん作り]

農園ささき

じゃがいも詰め放題

夢ファームくまい

イベント

ポッチャ体験

パラリンピック正式種目を体験
参加者にはプレゼントも!

農福連携クイズ

クイズに答えて秋の味覚をゲット!

梨の詰め放題

マジックハンドで梨の詰め放題

主催 新潟県

事業連絡先 新潟県社会福祉協議会
TEL:025-281-5521

内容は予告なく変更する場合があります。
予めご了承ください。

農福マルシェに伴う道路占用について（お願い）

新潟市では、新潟駅、万代、古町をつなぐ都心軸を「にいがた2km」と名付け、「次の世代も希望を持てる新潟」のバトンをつなぎ、市民の皆さまとともに「好き」や「楽しい」を感じられるまちづくりに取り組んでいます。

また、新潟市スマートシティ協議会でも「居心地よく歩きたくなる賑わいのあるまちなかへ」を事業テーマとし、回遊性が向上する都心の魅力創出等の取組を実施しています。

その取組みの1つとして、「ニキロモール」の取組み（国土交通省都市局補助事業）を推進しております。社会実装に向けた課題や取組みの効果を評価する社会実験として下記のとおり、実施したいと考えており、道路占用許可につきまして、ご理解、ご協力いただくようお願いいたします。

農福マルシェは、過年度より実施してきた取組ですが、これまでは朱鷺メッセなどの施設内を会場としてきました。この度、道路上で実施することで、大目標である「共生社会の実現」に向け、往来する方に「農福連携」と接していただくことで、“外部との接点”や“周知・認知拡大の場所”の効果がより大きく発揮されるものと考えております。

記

1 占用主体

新潟市スマートシティ協議会
※農福マルシェの主催は新潟県

2 実施日

令和3年11月14日

3 実施内容

ふるまちモール7内において、ブース（テントおよびテーブル）を設置し、障がい者が携わる農産物や加工品などを販売・ワークショップ・イベントを実施。

問合せ先

新潟市都市計画課（担当：阿部）

電話 025-226-2825

メールアドレス t.abe3127@city.niigata.lg.jp

委任状

(受任者)

協議会名) 新潟市スマートシティ協議会

代表者 住 所 新潟県新潟市中央区美咲町 1-7-25

電話番号 025-285-8540

会 社 名 エヌシーイー株式会社

代 表 者 代表取締役 大平 豊

私は、上記の者を協議会の代表者と定め、『早期実装にむけた先進的技術やデータを活用したスマートシティの実証調査（その８）』に係る下記事項の権限を委任します。

委任事項

1. 社会実験[通称：ニキロモール]の実施に関する一切の件
(道路占用許可申請・道路使用許可申請の手続きを含む)

委任期間

令和３年９月２１日から契約期間満了後３ヵ月を経過するまでの間

令和３年９月２１日

新潟市長殿

北陸地方整備局長殿

新潟警察署長殿

新潟中央警察署長殿

委任者

新潟市スマートシティ協議会

(協議会代表)

住 所 新潟市中央区八千代 1 丁目 3 番 9 号

商号又は名称 株式会社 NTT ドコモ 新潟支店

代 表 者 支店長 久保田 敦紀

▲道路使用許可証（８／９）

【イベント等用】

道路使用許可条件書

- 1 期間及び時間
道路使用許可申請書の期間記載のとおりとする。
 - 2 使用場所
道路使用の場所は、申請書添付の図面記載のとおりとする。
 - 3 使用方法
 - (1) 申請書及び添付資料にて申請した内容を遵守すること。
やむを得ず、申請内容を変更する場合には、事前に所轄警察署と協議すること。
 - (2) 許可時間以外は、道路に資器材を置くなどし、作業を行わないこと。
 - (3) 道路を汚損した場合は、道路清掃を確実に行うこと。
 - (4) 使用区間内の工作物、資器材等については、交差点、消火栓、水防施設、その他法定禁止場所には置かないこと。
 - (5) 交通誘導員は、ガードマンまたは一般歩行者と識別できる交通腕章などを装着した成人の者を配置すること。
 - (6) 緊急自動車の通路を確保すること。
- * この条件に違反した場合は、許可を取り消すことがあります。

指導事項

- 1 現場警察官の指示に従うこと。
- 2 本許可証を携帯し、警察官等に提示を求められた場合は、提示すること。
- 3 出店にあたっては、事前に設置場所付近住民の承諾を得るなど、トラブルのないよう措置すること。

(教示)

1 審査請求について

この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内（以下「不服申立期間」といいます。）に、新潟県公安委員会に対して審査請求をすることができます。

ただし、不服申立期間が経過する前に、この処分があった日の翌日から起算して1年を経過した場合は、審査請求をすることができなくなります。

なお、正当な理由があるときは、不服申立期間やこの処分があった日の翌日から起算して1年を経過した後であっても審査請求をすることが認められる場合があります。

2 処分の取消しの訴えについて

(1) この処分については、上記1の審査請求のほか、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、新潟県を被告として（訴訟において新潟県を代表する者は新潟県公安委員会となります。）、処分の取消しの訴えを提起することができます。

(2) また、上記1の審査請求をした場合には、処分の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に提起することができます。

(3) ただし、上記(1)（審査請求をした場合には(2)）の期間が経過する前に、この処分（審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決）があった日の翌日から起算して1年を経過した場合は、処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

なお、正当な理由があるときは、上記(1)（審査請求をした場合には(2)）の期間やこの処分（審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決）があった日の翌日から起算して1年を経過した後であっても処分の取消しの訴えを提起することが認められる場合があります。

c. まちづくりのインフルエンサー

地域の意識醸成とともに、今回の取組を周知することを目的に令和4年2月に実施した広報イベント「にいがた2kmクリエイション」において、参加したゲストファシリテーターやゲストスピーカーから得られた意見を以下にとりまとめた。

What's ニキロモール？



Vol.3 “クリエイション”してみました 編

01

新潟市スマートシティ協議会



トークイベントを開催！

新潟市スマートシティ協議会 公共空間等活用実証実験 事前企画
にいがた2KMクリエイション
令和4年2月4日(金) 18:00～20:00
@MOYORé :

新潟市スマートシティ協議会では、にいがた2kmを中心に、道路、水辺、空地などの、まちなかのちょっとした空間を色々な人が利用しやすい仕組みづくりに取り組んでいます。今後予定の実証実験に先立ち、まちなかに存在する空間をどのように活用し、どのような創造的なまちがつかれるのか、にいがた2kmのポテンシャルについて語り合いました。

ゲストファシリテータ



建築家／クリエイティブディレクター

西村 浩

株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役
オン・ザ・ルーフ株式会社 代表取締役
呉服元町ストリートマーケット株式会社 取締役
マチノシゴトバCOTOCO215 代表

- ・1967年佐賀市生まれ
- ・東京大学工学部土木工学科卒業、同大学院工学系研究科修士課程修了後、ワークヴィジョンズ一級建築士事務所を設立。
- ・土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案にも取り組む。
- ・佐賀市呉服元町に同社オフィス兼シェアオフィス「COTOCO215」を構え、ベーグル専門店「MOM's Bagel」の事業主となる等、マイクロデベロッパーとしても佐賀のまちづくりに取り組んでいる。

ゲスト スピーカー



稲葉 一樹

本町8Banリノベーション



風間 彰充

株式会社ジョイフルタウン
月刊にいがた編集部



原田 智子

株式会社リビタ／MOYORé：
コミュニケーションマネージャー



肥田野 正明

株式会社バウハウス代表取締役

プログラム

テーマ1 にいがた2kmの課題

にいがた2kmに足りないもの、眠っている魅力や潜在する可能性は何か

テーマ2 にいがた2kmの 将来像

にいがた2kmの目指すべき姿や方向性は何か

テーマ3 ニキロモールの可能性

ニキロモールにどのような使われ方を期待するか
ニキロモールがどのようなターゲットに、どのような価値や変化をもたらすのか

テーマ1 にいがた2kmの課題



原田

たまに古町に行くとイベントをやっているのに、その情報がわからない。
ここに行けば情報が分かる、みたいなところがないから、もっと情報が行き渡れば…というのは思います。

にいがた2kmということばを浸透させて、ここに行けばどういうことができるのかということを市民のみなさんと共有していくあたりだろうと思います。
メインの通りからちょっと横に入ったところに面白いお店や集える場所があったりと、まだまだ知られていないところがあるだろうし、原田さんが話したとおり、そういう情報を一元化できたら面白くなるかなと感じています。



風間



穂葉

新潟市は他の政令市にくらべて地価が停滞し、歩行者の数も10年間で20%くらい減少していて。中心市街地から大型商業施設がどんどん撤退して、そこに向かう人たちも減ってしまっている。郊外でひとり1台車を持つ生活がスタンダードになり公共交通に乗る人が減って、まちなかの利便性を失うことにつながっていると思っています。

テーマ2 にいがた2kmの将来像（1/2）



西村

にいがた2kmで活動するにしても将来どんなまちにしたいかということを思っていないと、ただイベントをやっているだけになっちゃうと思うんですけど、どうですか？



原田

北前船が来ていたときは、川や港を通して色んな文化が入って色んなものを生み出していて。今の新潟の人たちは新しい情報を求めて東京に遊びに行くけど、そうじゃなくて地元に情報が来るようになると、誇りを持てるようになると思います。



西村

新潟には北前船があって、人と情報とモノが集まる拠点として発展したわけだから、そういう歴史的な経緯をこれからの未来とちゃんとリンクさせて、1本の糸でつながっている物語にするということも新潟のまちなかを変えていく上で大事ですね。



稲葉

にいがた2kmにはビルがいっぱいあって、その中で企業の人たちがコミュニティをつくっている。古町で面白いことをやっている人たちと企業の人たちが関わる場所がない。にいがた2kmをきっかけに、そういう人たちが関わりはじめるきっかけになるといいし、関わりしろをいっぱい作れるといいんじゃないかなと。

テーマ2 にいがた2kmの将来像（2/2）



西村

今の話なんですけど、にいがた2km沿道の不動産オーナーや企業が参加して、1階部分を活用して盛り上げていくとか、不動産を活用することができるとすごく面白くなっていくのかなという気がします。そうなったら、メディアとしても新しいまちが見えてきませんか？



風間

そうですね。聞いているだけでも楽しそうな絵が想像できます。僕が将来像というか、こういうふうになったらいいと思うのは、車なし生活ができるということだと思っていて。古町に移住された方にインタビューすると、「意外と車なしでも全然いけますよ」という人が多いんです。にいがた2kmが車なし生活ができるエリアとして広がっていったら、すごく面白いと思うし、便利だなと思う。



西村

今お話されたことはこれからの暮らし方としてすごく大事な話で、にいがた2kmのブランディングのひとつとして、車なし生活ができるのを掲げるのも大きなことだと思うんです。そのためにしなければいけないのはおそらく、車だらけの道というものを、少しずつ子連れのお母さんでも安心して歩ける環境に変えるとか。MaaSみたいな話と運動させて、ここからここに行きたいとなったら、ここでバスに乗ってそこで降りて、すぐ前がシェアサイクルだったら自転車で行けばすぐですよとか、そういうことがすぐ伝わるようなプラットフォームができるとすごくいいですね。車を使わずに暮らそう、みたいなこともにいがた2kmのメッセージとして加えるというのも、すごく大きいと思います。

(グラフィックレコーディング)

2/2



2) 結果・考察

上記で得られた各有識者の意見から、仮説検証に向けたポイントや着眼点などを以下に整理した。

▼仮説検証に向けたポイントや着眼点

分類	仮説検証に向けたポイント・着眼点など
イベントプランナー	○街なかの屋外空間で実施により、ゲスト属性の多様化、普段の告知できていない往来の方たちの来場などの効果が期待できる。 ○内容も含めた申請のためには事前の内容決定が必要になるが、柔軟な対応をしていただきたい ○屋内施設利用よりも会場費が低減されれば、イベント実施しやすい。様々な事業者が出店・PR しやすくなる。 ○トイレの確保は課題 ○イス・机・テントなどもシステムを通じて一括でレンタルできると利用しやすい
交通管理者	○当該行為が通行に及ぼす危険性または支障の程度と当該行為の社会的な価値（公益性または社会慣習）を勘案して許可の可否を決める ○許可申請には、申請者および現場責任者が必要だが、申請者と現場において実際に監督する現場責任者が無関係であることは、申請者のリスクが大きい ○道路外のイベントでも、そのイベントの影響により多数の人が道路上まで滞留する場合（滞留するおそれがある場合を含み）道路使用許可が必要 ○道路使用許可を出さないで済む形式や用途に限定して実施することも考えられるのではないか
インフルエンサー	○ホストから申請されたコンテンツをジャッジする方法。基準をガチガチに決めない方がよい。 ○人とのつながりからできることが増えていくための場になるとよい ○通りで何かをやる、それは景色になる。今まで触れていない人たちと、情報交換をする良い機会となる。 ○対象エリアは学校が比較的多い。学生たちの、自分たちのやっていることを見せる場としての可能性。 ○リサーチの視点から、コンテンツを実施したときの来訪結果などのデータベース化。ホスト側として、そのサポートやサービスが提供されるとよい。まちの潜在的な可能性が分かる情報を集約するイメージ。 ○企業のビルの1階部分と接する道路とを含めて社会価値創造の場として参画してもらう形は、新しいアイデア。街中の道路空間とか公共

	空間で企業が SDGs を表現するもの。 ○にいがた 2 Km 全体のイメージをつくる必要があると思っていたが、色々なカラーがあっている。 ○小さな取り組みから始めて、どんどんいいものにしていくということをやっていくことが必要。何かやらなければ適合できない。 ○行政だけとか、一部の市民だけではなくて、本当に地域住民の人たちが協力してやることが、可能性の窓口を広げていく。 ○小さく始めること。小さいチャレンジをどんどん大きくして、事業の大成功みたいなことにつなげていく。
--	---

6. 横展開に向けた一般化した成果

6-1 仮説の検証と成果及び今後の課題

前章で掲げた 5 つの仮説について、調査結果を踏まえた検証を行うとともに、成果と今後の課題を整理した。

▼本取組において設定した仮説 ※再掲

- ①公民にかかわらず多様な主体が所有する空間を包括的にまとめ、その活用を促す仕組みを構築することができる
- ②空間の活用手続きを一元化することで、所有者の事務作業の省力化や維持管理にかかる負担軽減につながる
- ③これまで使われていなかった空間の活用により、従来のコンテンツの高度化や新たなコンテンツの創造につながる
- ④スマート・プランニングによるまちづくりに有効な新たなデータを取得することができる
- ⑤来街者の数及び滞在時間が増加し、地域全体への経済的な波及効果が期待できる

(1) 公民にかかわらず多様な主体が所有する空間を包括的にまとめ、その活用を促す仕組みを構築することができる【仮説1】

1) 仮説の検証及び得られた成果・知見

仮説1について、検証及び得られた成果・知見〔○：期待される成果、△：改善すべき成果〕を以下に列記する。

a. ホスト・所有者・ゲストの各主体において、一定の割合（約80%以上）で取組への理解と賛同は得られる〔○〕

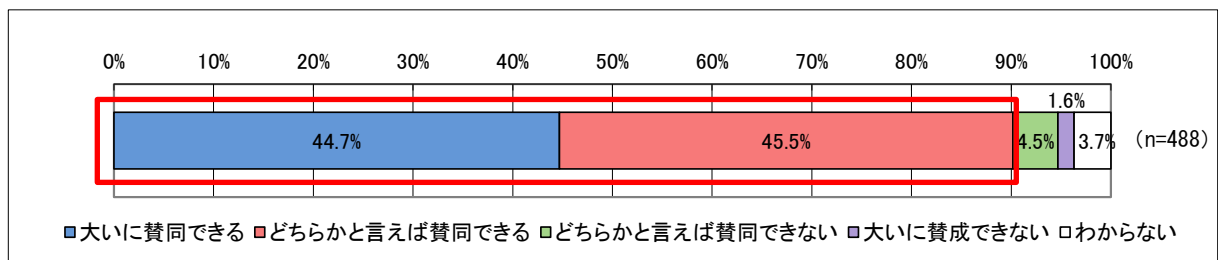
- ・コンテンツに来場したゲストは、100%が「賛同できる」と回答。また、3か月に1回以上都心部に来訪する市民（新潟市民の56%）は、90%が「賛同できる」と回答。「賛同できない」と回答した6%は、「通行の邪魔」「新潟の天候では不向き」等を理由としており、それらを改善することによって賛同する方の割合はさらなる向上が期待できる。 ※4%は「わからない」と回答。
- ・コンテンツを実施するホストは、こうした取り組みを「実施したい」と回答した方は、全体の80%を占めた。
- ・都心部の空間の所有者は、6名中5名（80%）が「賛同できる」と回答。

Q. このような「街なかの空間を活用して賑わい創出する取組」をどう思いますか？

選択肢	コズミックス	ゆうあい公園	計
大いに賛同できる	9	10	19
どちらかと言えば賛同できる	4	3	7
どちらかと言えば賛同できない	0	0	0
大いに賛同できない	0	0	0
わからない	0	0	0
	13	13	26

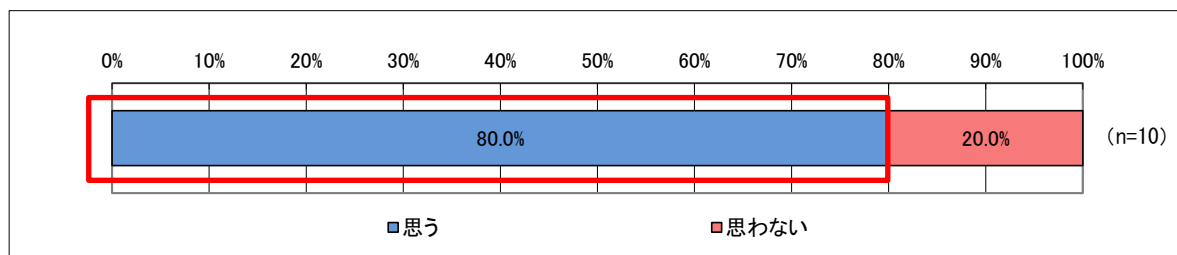
▲取組に対する賛同（コンテンツ参加者）

Q. このような「街なかの空間を活用して賑わい創出する取組」をどう思いますか？



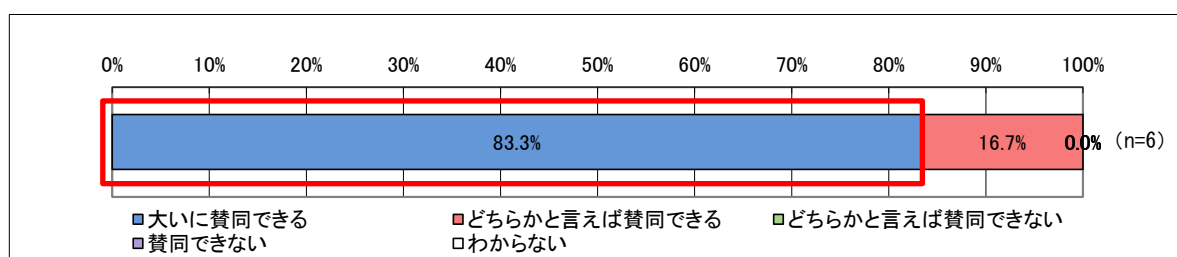
▲取組に対する賛同状況（市民）

Q. 街なかの空間を活用して自分たちのコンテンツを実施したいと思いますか？



▲取組に対する参加意識（ホスト）

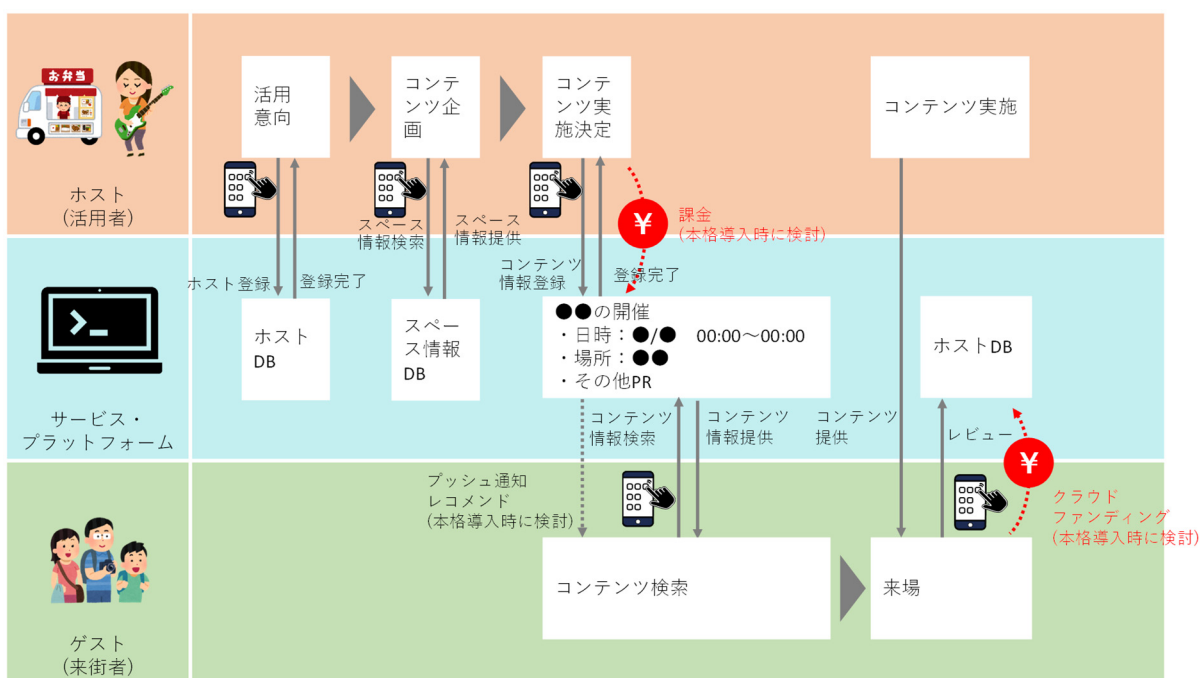
Q. 空間提供を「する・しない」に関わらず、このような「街なかの空間を活用して賑わい創出する取組」についてどう思いますか？



▲取組に対する賛同状況（空間所有者）

b. 想定したしくみでの取組が実施できることを試行により実証 [○]

- ・実証実験で対象とした2種類の空間（公園・民地[公開空地]）においては、コロナ禍にあって複数のホストが参加意思を表明し、また空間を提供した所有者または管理者の賛同と協力が得られ、コンテンツの実施に至るまで概ね円滑に進めることができた。実施後の関係した各主体の満足度も比較的良好である。
- ・先行チャレンジとして、道路空間（古町7番町モール）を活用。当該空間は、歩行者専用空間であり、安全性が担保することで他の道路空間の活用も実現可能性が高まる。
※その他、プラットフォームの効果については(2)1) b. に記述。
- ・本調査を通じ空間提供に前向きな所有者は複数認められた。実際にはより多数潜在しているものと想定される。一方で、実施可能なコンテンツの内容や規模、期間などは各空間によって条件は様々で意向や制約がある。
- ・種類については、例示したいずれのコンテンツも不可とされることはほとんどなかったが、飲食についてはにおい・ごみ、ライブパフォーマンスについては騒音、その他周辺事業者との競合などの周辺への影響や天候・気候に対しての不安の声は共通した。
- ・いずれの所有者も他者による活用の経験が少なく、二キロモールへ協力する意思を示していただけだが、その信頼に応えるためにも十分に配慮しながら実績を積み、運営者側でノウハウを蓄積していくことが重要と考える。

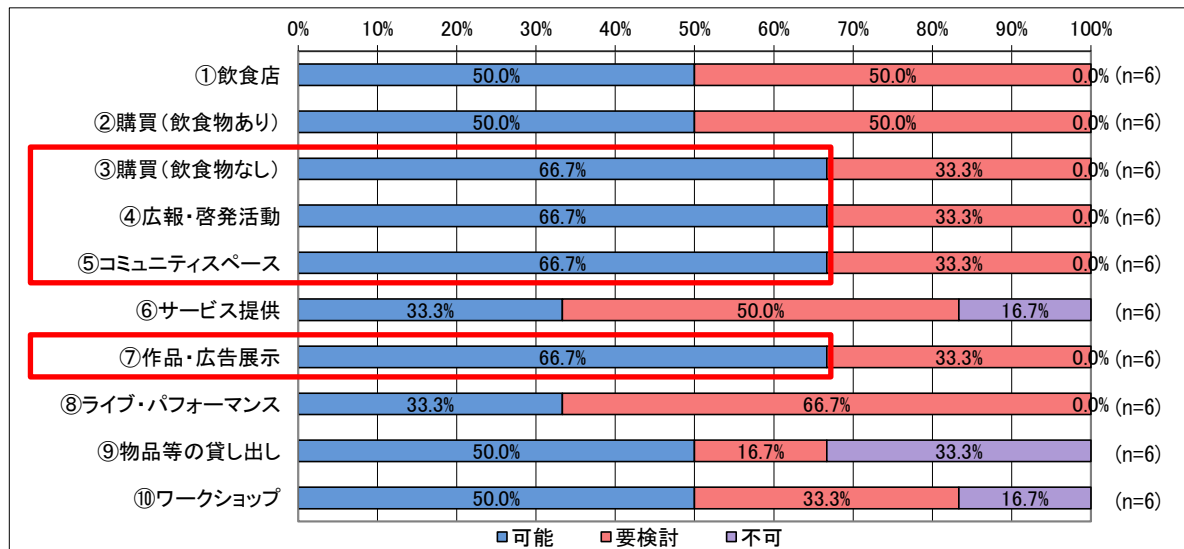


▲想定するサービスの流れ（将来形）

▼各空間に応じた意向・制約

No.	空間管理者	主な意向・制約
A. 道路	新潟市[中央区] 国交省[新潟国道事務所]	・無余地性への対応が必要。公共性が高い取組・仕組みであれば許可が出しやすい ・TMO に道の駅の道路占用許可を出し、キッチンカー事業者にさらに貸し出した事例があるが、ルールを守れない事業者がいることが課題 ・申請が重なった際のルール設定には公平性が必要
B. 公開空地	管理者（地権者等） ※建築行政課	・普段使用していないスペースの活用で地域に貢献できるのあれば協力したい ・建物等の破損等は心配 ・行政としては、所有者・管理者に問題ないが取組であれば制約はない
C. その他民有地	地権者等	・入居店舗等と競合しないものであれば活用してほしい（活用ルール、料金が設定されている民有地） ・建替え工事が始まるまでは積極的に協力したい（建替えを計画中の所有者）
D. 河川	国交省[信濃川下流事務所] ※港湾エリアは新潟県等	・ミズベリングの空間は使用していない時期もあることから、利用調整等の仕組みがあるとよい（※施設使用者であるスノーピーク） ・港湾エリアは個人利用としては常に開放している。商業利用は不可。
E. 公園	新潟市[中央区] ※公園水辺課	・許可および使用料が必要だが商業利用を含め使用は可能 ・積極活用していきたいが、電子化には十分な協議が必要 ・借地公園（桤谷小路ゆうあい公園など）は、所有者の許可があれば、報告のみでよい

Q. 仮にその場所を提供するとしたら、どのようなコンテンツなら許容できますか？

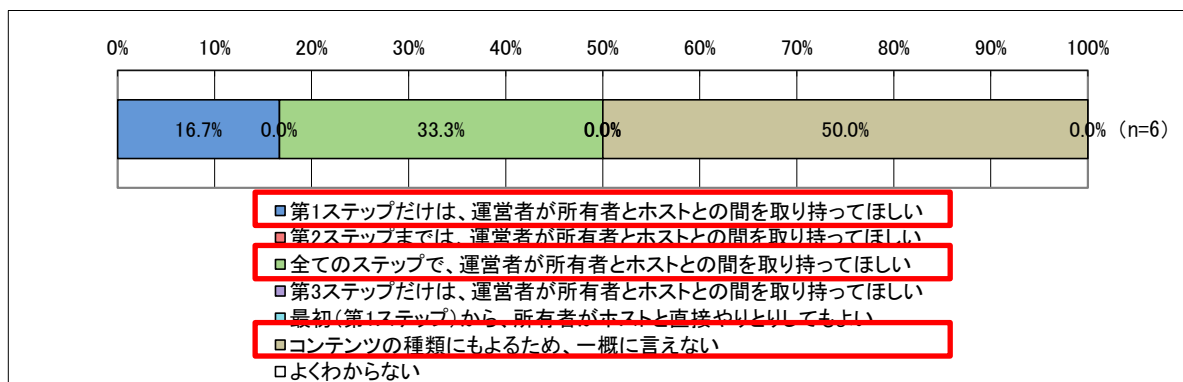


▲ 許容されるコンテンツ (空間所有者)

c. ホスト申請から実施に至るまで、所有者とホストとの間の調整対応が必要 [△]

- ・ホストがその場所でコンテンツ実施の意思表示をしてから実施に至るまでの間に、ホストと所有者との間で確認協議を重ねる必要となる。今回の実証実験では、コンテンツ申請の段階から、運営者である協議会が両者の間を取り持ったが、細かな条件確認やリクエスト対応など、想定した以上の労力が生じた。
- ・事後調査でもホストとの調整対応を求める所有者の声は大きく、運営者側の負担を軽減する方策が必要となる。
- ・利用のルールや条件の明確化と平易な提示に加え、プラットフォームの機能強化等による ICT 技術を通じたホストと所有者それぞれとの調整作業（コミュニケーション）の円滑化が望まれる。
- ・実証実験では、ホストからの TENT 設置の要望を受けた際に、TENT 設置と夜間の存置について別々に確認してしまったことがあった。所有者・運営者双方の負担軽減のためにも、前項同様に運営者側でノウハウを蓄積していくことが重要と考える。

Q. ホストからコンテンツの申請（取組実施の希望）があった場合、実施するまでの間に、何度かホストと協議を重ねる必要があります。どのようなやり方を希望しますか？

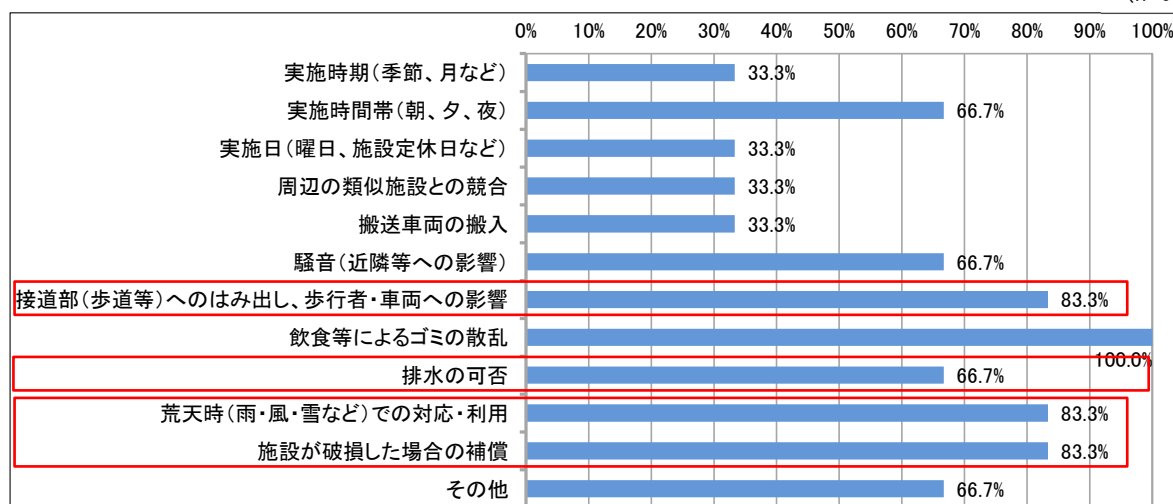


▲運営者の関わり方に対する空間所有者の意向

Q. 仮にコンテンツを実施する場合、懸念する事項としてどのようなものが想定されますか？

※複数回答可

(n=6)



▲空間所有者が試行実施時に懸念する事項

▼ホスト向けの運用ルール（案）

No.	種別	運用ルール（想定案）
1	空間の活用可能者	- プラットフォームにホスト登録を行ったもの（登録要件） ※18歳以上の代表者または法人 ※その他、運営者が指定する事項
2	基本ルール	・連続活用期間の上限：同一箇所連続4日間 ・既得権益化の防止への配慮 ・活用可能時間：9:00～18:00 ・使用後は原状回復
3	空間活用が可能な用途	・飲食施設、購買施設、フリーマーケット、芸術・表現的活動、コミュニティスペース、その他運営者の認めるもの ※実施場所により認めるものを設定（運営者側がコーディネートする）→別途プロジェクトマネージャーの設置も想定
4	禁止行為	・交通に支障となる行為 ・騒音を生じる行為 ・悪臭を生じる行為 ・道路や既存の施設等に損傷を与える行為 ・施設外での客引き ・特定の方だけを対象とするサービス
5	運用に当たっての条件	・コンテンツ実施時は定期的に運営者が巡回

d. 道路空間の利用申請は、責任者の不一致により現状では実施困難。[△]

- ・道路使用・占用など道路空間の利用申請は、申請書の所定欄に記載する「責任者」（運営者≒現状では新潟市スマートシティ協議会）と「実施者」（コンテンツを実施するホスト）での不一致により現状では実施が困難な状況である。
- ・ただし、取組自体の認知度向上や運営組織の信頼性を高めたうえで、プラットフォームの活用などにより、広く公募・審査することで、コンテンツの選択・実施に対する平等性や公益性を確保することができれば実現可能性が高まる。
- ・また、令和4年4月より、新潟市では都心の2区間を歩行者利便増進道路に指定しており、古町7番町モール（歩行者専用空間かつ地域のイベントでの利用実績あり）等も含め、こうした条件が整った道路空間での取組実施が現実的と考えられる。
- ・警察からは、道路以外でのコンテンツ実施であっても、道路上の交通へ影響するおそれがある場合には道路使用許可申請が必要と指導されている。道路以外の活用スポットであっても、道路上へ交通への影響をさけるため、接道部から概ね6m以上（コンテンツ実施空間3m＋ゲスト滞在空間3mを目安）奥行きが確保できる空間を対象とし、安全性を担保するべきと考える。

道路使用許可申請書			
2021年 11月 4日			
新潟中央警察署長 殿			
住所	新潟市中央区美咲町1丁目7番25号		
申請者氏名	新潟市スマートシティ協議会 エヌシーイー株式会社 代表取締役 大平 豊		
TEL	025-285-8540		
道路使用の目的	新潟市スマートシティ協議会の「ニキロモール」の取組み（国土交通省都市局補助事業）について、社会実装に向けた課題や取組みの効果を評価する社会実験として、農福マルシェを実施するため		
通線	7時から 2021年 11月 14日 18時まで イベント実施は10時～16時（上記は準備・撤去を含む） テーブルを25ブース、のぼりを3か所、イーゼル 売・ワークショップ・イベントを実施 写真、『農福マルシェ』について（概要）、農福マルシェ 半日道路占用について（お願い）、委任状		
現場住所	新潟市中央区女池南3丁目2番32号		
責任者氏名	株式会社ニュース・ライン	電話	

所属が異なる
→許可は出るが、事故があった際の責任は申請者にあるため、不特定多数のホストの申請を行うことはリスクが大きい

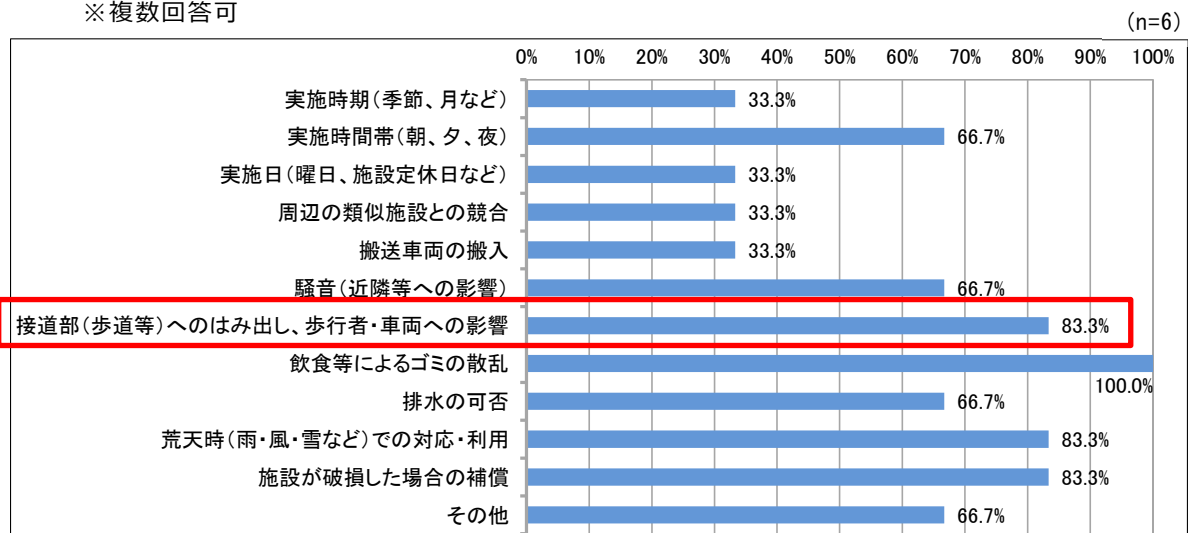
▲道路使用・占用の申請書類（責任者と実施者の記述欄）

e. コンテンツの種類や空間規模、接道部との関係性などにより、交通管理者の許可が必要。[△]

- ・交通管理者（警察）からは、接道している空間を活用する際に車道・歩道の通行者から注視される可能性がある場合には、安全対策（誘導員の配置など）を実施のうえ、道路使用許可の申請が必要と指導された。
- ・今回試行実施したコンテンツでは、歩道上で興味を示した歩行者を空間内に引き込むなどの対応を実施した。（道路使用許可は申請していない。）
- ・人員体制に余裕のないホストのコンテンツ実施を支援するためには、IoT 等を活用した効率的な現場管理手法を運営者側で用意することなどが考えられる。

Q. 仮にコンテンツを実施する場合、懸念する事項としてどのようなものが想定されますか？

※複数回答可



▲空間所有者が試行実施時に懸念する事項（注意喚起）



▲試行実施時での注意喚起（試行実施時）

2) 今後の課題

上記の検証及び得られた成果・知見を踏まえて、今後の課題を以下に示した。

- ①空間利用手続きに係る規制緩和等も見据えた制度設計
- ②実施スポットの絞り込み（むやみに箇所数を拡大しないこと）
- ③運営資金調達方法の確立（費用負担[有料化検討]、資金調達方法の具体化[マネタイズ]、管理方法など）

(2) 空間の活用手続きを一元化することで、所有者の事務作業の省力化や維持管理にかかる負担軽減につながる【仮説2】

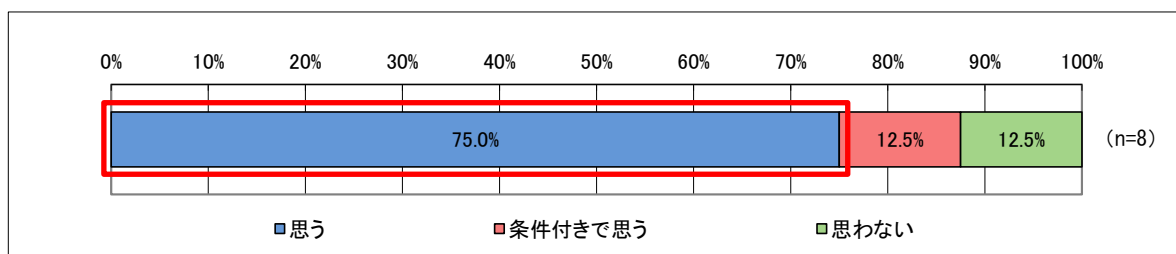
1) 仮説の検証及び得られた成果・知見

仮説2について、検証及び得られた成果・知見〔○：期待される成果、△：改善すべき成果〕を以下に列記する。

a. プラットフォームの活用により空間活用の手続きの一元化が可能であることを実証〔○〕

- ・実証実験を通じて、構築したプラットフォームを活用して、ホスト登録からコンテンツ実施申請を行い、空間活用の手続きを一元的に行うことが実証できた。
- ・一方で、対象とする空間は2種類（2か所）に限定したほか、実証したコンテンツメニューの種類や数も限定していたため、今後、それらが増えた場合の状況を検証確認する必要がある。
- ・また、ホストから構築したプラットフォームに対して、「ホスト情報」、「コンテンツ情報」の改善が必要と指摘されており、情報を登録するとともに、プラットフォームで公開するだけでなく、積極的に情報を発信する機能（SNS連携等を想定）についての検討が必要である。

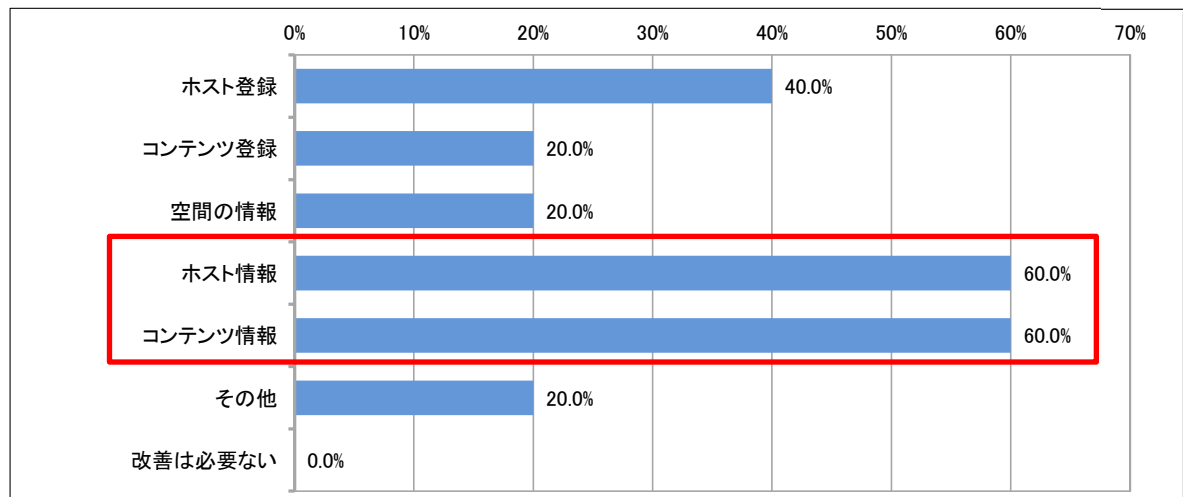
Q. プラットフォームを活用して、街なかの空間を活用した自分たちのコンテンツを実施してみたいと思いますか？



▲プラットフォームを活用した取組への参加意欲（ホスト）

Q. プラットフォームで改善が必要と思う部分をすべて選択してください。

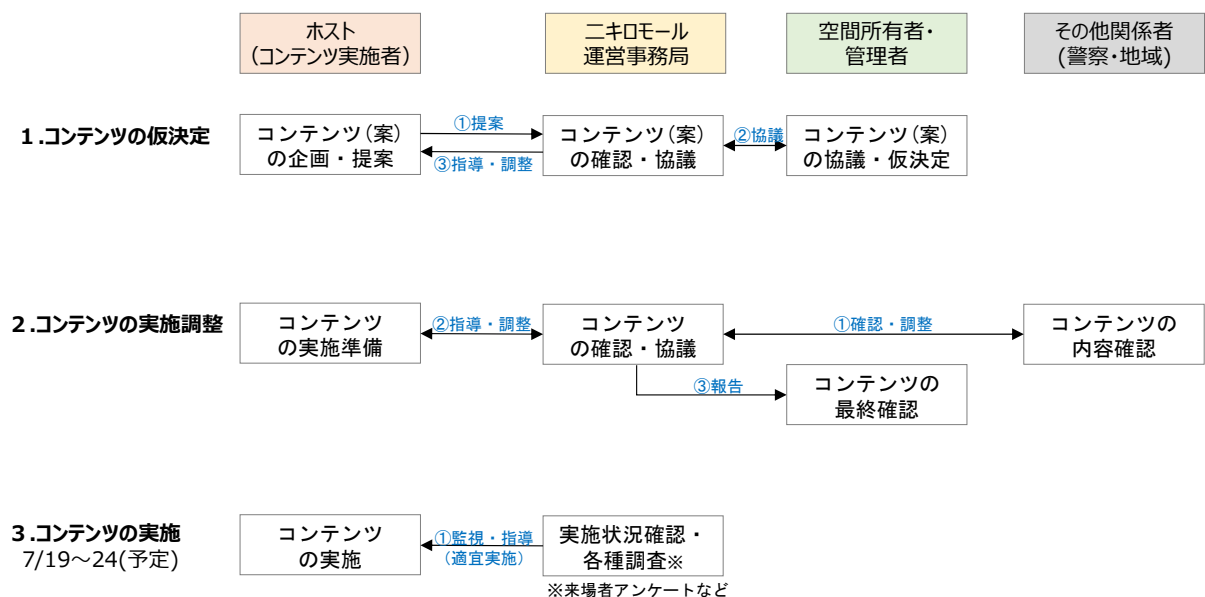
(n=5)



▲プラットフォームを改善すべき箇所（ホスト）

b. 地域の関係者への配慮や公益性・安全性を含め、運営者が審査・調整する仕組みにより事務作業の省力化につながる。[○]

- ・所有者側にとっては、運営者がコンテンツの仮決定から実施調整、実施時の管理に至るまで、ホストと空間所有者の間での各種調整・対応を担うことで、事務作業の省力化が図られている。それは、運営者側が、そうした調整を行うための知識や経験を備えており、所有者との間で一定の信頼関係を構築していることが前提となる。
- ・また、今回試行しなかった道路空間については、特に安全性への配慮が求められるため、ルール設定とともに安全性も含めて審査できる信頼のおける運営者が必要。
- ・本格運用に向けて、実施空間やホストの数やコンテンツの種類や数が増えた場合を想定し、運営者に過度な負荷がかからないようにするための対応が必要。
- ・運営者に過度な負荷がかからないようにするための対応には、活用スポットやコンテンツ種別の絞り込みやコンテンツ種別毎のルール設定などが考えられる。
- ・一方で、取組みの効果の最大化や新たなコンテンツの創造のためには、コンスタントなコンテンツ実施とは別枠で、ホストの新たなチャレンジに協力するための仕組みも検討が必要である。

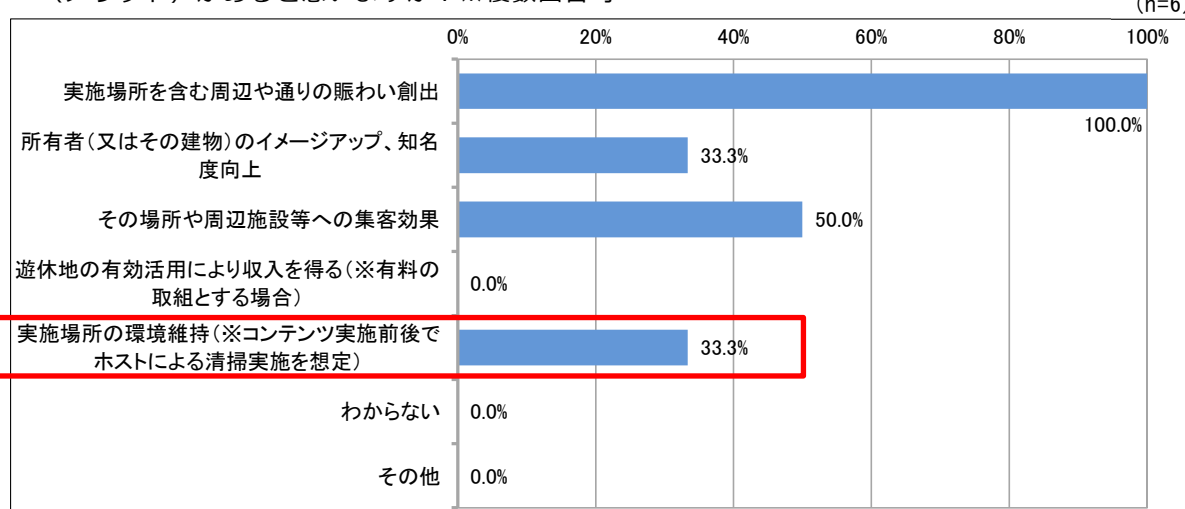


▲ホスト及び空間所有者との調整ステップ（試行実施時に用いた資料より）

c. 空間の維持管理の負担軽減効果は認められない。[△]

- ・空間を所有する側においても、コンテンツの実施を通じた空間の維持管理に関する負担軽減効果はあまり期待していない。
- ・むしろ、コンテンツの種類によっては、空間内での施設（建物の壁面や床面等）の破損等のリスクが懸念されている。イベント保険への加入など、ホスト・運営者・空間所有者のそれぞれが安心できる環境構築が必要と考えられる。
- ・特に冬期での実施に対しては、積雪や強風の影響を受けるため、所有者は不安視している。

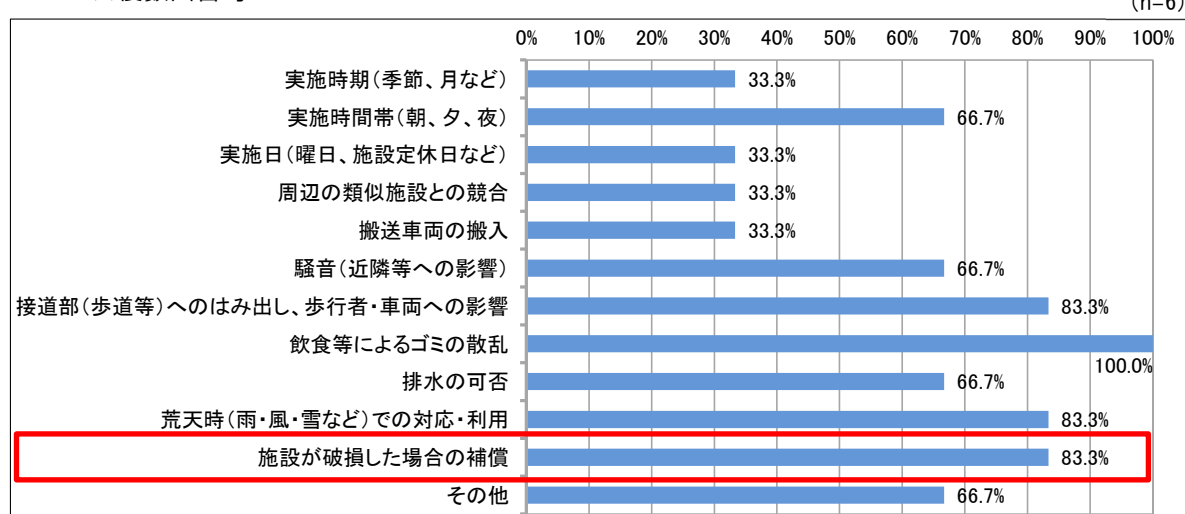
Q. この取り組みに参加（コンテンツの実施場所を提供）することで、所有者としてどのような効果（メリット）があると思いますか？※複数回答可



▲取組を実施することで得られる効果（空間所有者）

Q. 仮にコンテンツを実施する場合、懸念する事項としてどのようなものが想定されますか？

※複数回答可



▲空間所有者が試行実施時に懸念する事項（施設の破損・補償）

▼責任の範囲の明確化（想定案）

No.	項 目	ホスト	運営者
1	ルールから逸脱した利用に伴い生じた損害	○	
2	No. 1 以外の損害		○
3	荒天、災害、感染症対策等、不可抗力によるコンテンツの中止等	○	
4	運営者に起因しないホストの所有物等の損害・盗難	○	
5	運営者に起因するホストの所有物等の損害・盗難		○

2) 今後の課題

上記の検証及び得られた成果・知見を踏まえて、今後の課題を以下に示した。

- ①運用の効率化（運営者側の負担軽減方策）
- ②安全管理のためのルール、条件設定（警察の許可、イベント保険加入等）
- ③コンテンツメニューの絞り込み

(3) これまで使われていなかった空間の活用により、従来のコンテンツの高度化や新たなコンテンツの創造につながる【仮説3】

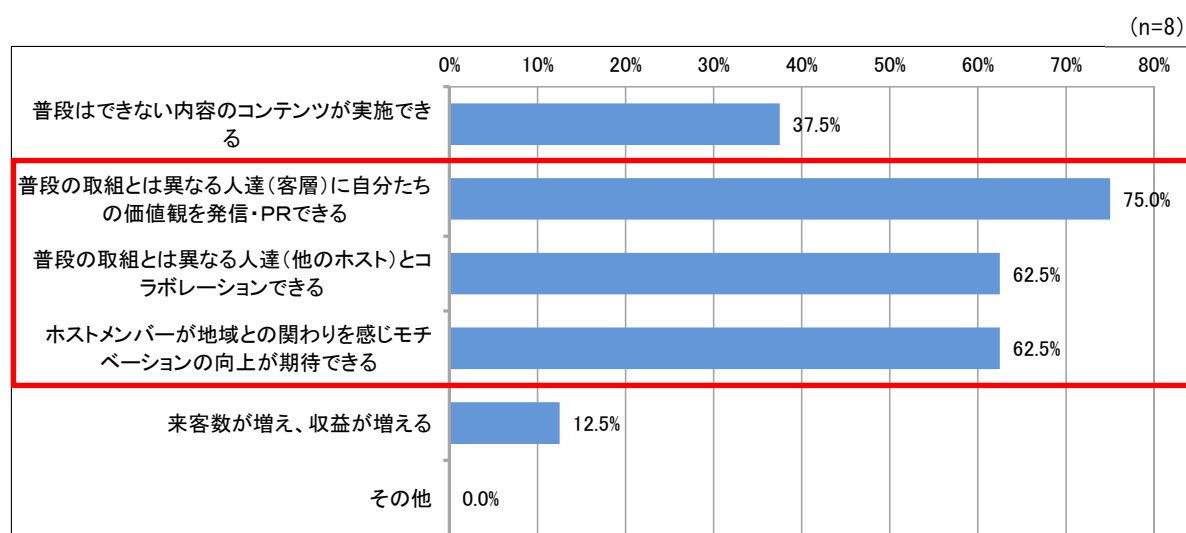
1) 仮説の検証及び得られた成果・知見

仮説3について、検証及び得られた成果・知見〔○：期待される成果、△：改善すべき成果〕を以下に列記する。

a. まちなか空間の活用により、新たな発見や創造など、コンテンツの高度化を見込むことができる。〔○〕

- ・ホスト又はホスト候補者の意向把握によると、「普段とは異なる人達に自分たちの価値観を発信・PRできる」、「普段とは異なる人達とコラボレーションできる」、「ホストメンバーが地域との関わりを感じモチベーションの向上が期待できる」などの効果が特に期待される。
- ・「普段とは異なる人達に自分たちの価値観を発信・PRできる」は、ゲスト（コンテンツ参加者）の立場としても、「新たな出会い」であり、街なかへの来訪の動機づけとなる可能性がある。これらは、ゲストの意向把握での回答内容でも裏付けられる。
- ・また、街なかでのコンテンツを実施する効果として、「普段はできない内容のコンテンツが実施できる」と回答したホストもあり、新たなコンテンツの創造にもつながる可能性は考えられる。今回の実証実験でのコンテンツでも、新潟まちづくりライブペイントにおいて、ARコンテンツの作成に初めてチャレンジ（ARコンテンツ作成業者がコラボレーション）した。

Q. 自分たちにとっての効果として、期待できるものをすべて選んでください。



▲ 取組に参加することで期待される効果（ホスト）

Q.「街なかの空間を活用して賑わい創出する取組」に賛同する理由をお聞かせください

- ・ 街が面白くなる、楽しいと感じられる場所が必要
- ・ 街に賑わいできて活気がでる
- ・ 周りのお店の消費にも繋がる
- ・ スペースの有効活用
- ・ 通りすがりで興味の沸くものに出会えるかもしれない
- ・ 様々な実験ができる、若い人が発表する場にもなると思う
- ・ 邪魔にならないなら、やってもいいと思う

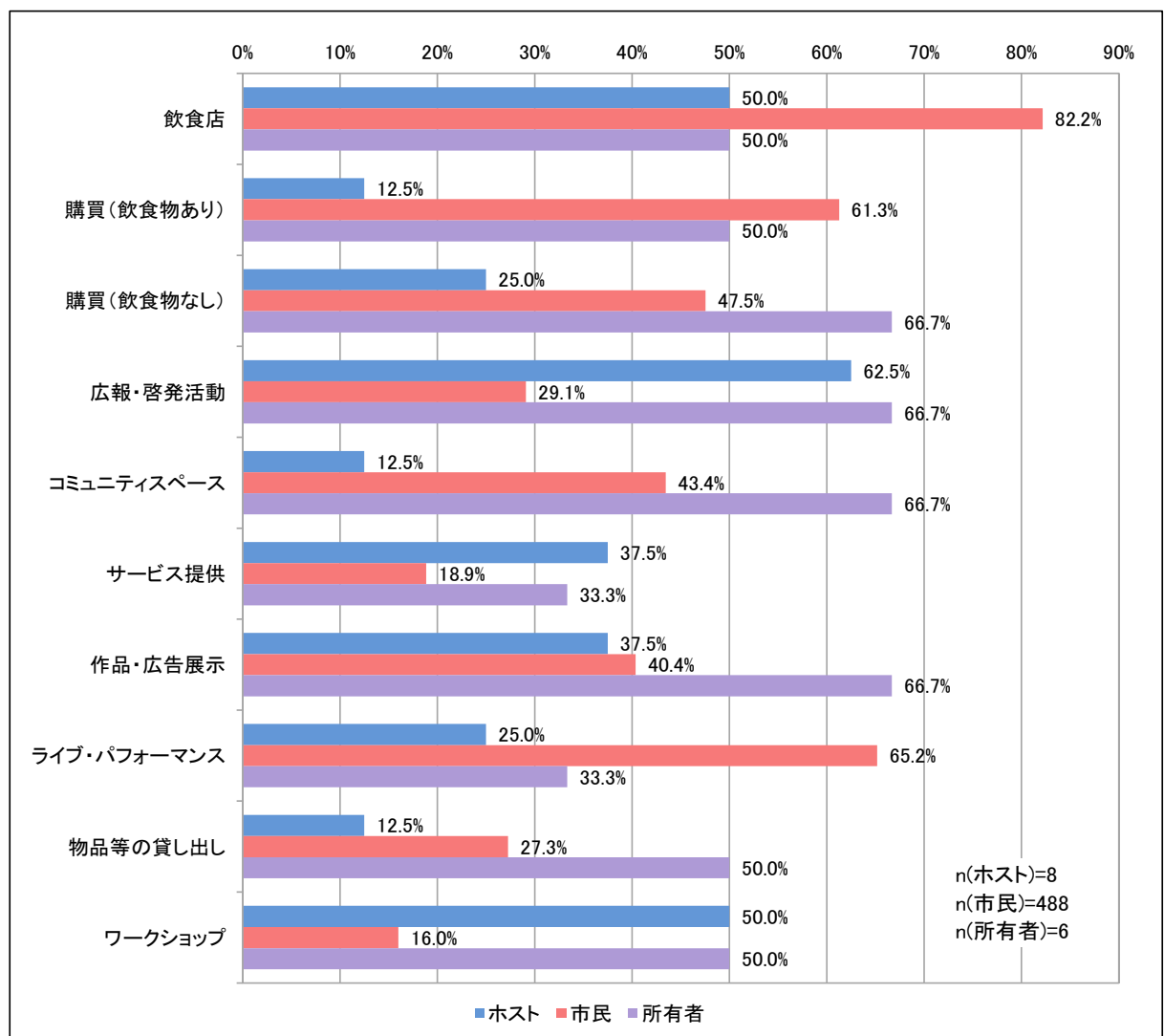
▲取組に賛同する理由（市民）



▲新潟まちづくりライブペイントによる AR コンテンツの案内

b. 街なかの活性化や賑わい創出に貢献できる運営者の素養が必要。[△]

- ・コンテンツに対する各主体の意向をみると、望ましいコンテンツの順位は、ホスト・ゲスト（市民）・空間所有者のそれぞれで違いがみられる。
- ・そのコンテンツが街なか空間全体に馴染むものか、賑わい創出に貢献できるものか、活用する空間に応じコンテンツの種類を設定する必要がある。
- ・その上で、ホストから申請されたコンテンツの内容をチェック・調整するとともに、地域（街なかの活動団体や居住者等）との対話やコーディネートが可能な運営者が必要である。
- ・更に運営者には、地域の実態を理解し、公平かつ公益的な姿勢を備え、多方面から認知・信頼され、かつ多くの市民の理解を得ることができる素養が求められる。
- ・特に、個々の空間・コンテンツのコーディネート（実施可否判断含む）する役割は重要性が高く、地域の実態のみならず関連する主体と連携し、将来像を描き実現していく能力が必要となることから、プロジェクトマネージャー的な人物を別途設けることが望まれる。



▲コンテンツに対する各主体の意向（ゲスト・空間所有者・ホスト）

順位	市民(ゲスト)	⇒ホストの場合	⇒所有者の場合
1 位	飲食店	2 位(同率 1 件)	5 位(同率 3 件)
2 位	ライブパフォーマンス	6 位(同率 1 件)	9 位(同率 1 件)
3 位	購買(飲食物あり)	8 位(同率 2 件)	5 位(同率 3 件)

▲コンテンツに対する各主体の意向（ゲスト・空間所有者・ホスト）

▼運営者が担う主な業務（想定）

No.	種別	作業概要
1	申請承認	・空間提供申請承認(申請時) ・ホスト申請承認(申請時) ・コンテンツ申請承認(申請時)
2	個々の空間・コンテンツのコーディネート	・使用のルール、対象とするコンテンツの種類などの調整 ・ホストの発掘 ※プロジェクトマネージャーは別途設置
3	道路占用・使用許可手続き ※公共空間の場合	・道路占用許可手続き ※仕組みによる ・道路使用許可手続き ※仕組みによる ・都市公園使用許可申請手続き ※仕組みによる ・許可申請書の作成 ※仕組みによる ・申請内容に応じて各関係者と協議
4	コンテンツ実施時	・対象空間が適正に利用されるための管理(適宜巡回) ・トラブルシュート ・実施の情報発信（各種ツール、メディア）
5	平時	・空間データ・ホストデータの管理 ・サービスに関する問い合わせ対応

c. コンテンツの高度化や創造は、空間のロケーションや使用条件等に左右される。[△]

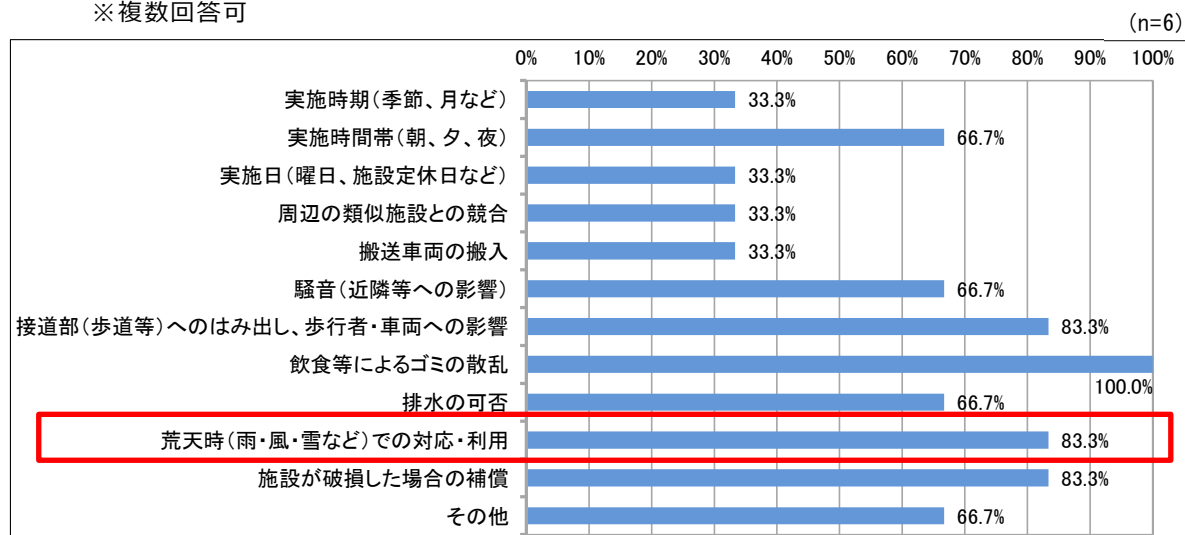
- ・ 街なかであれば、どこで実施しても高度化や創造等の効果が期待できるわけではなく、実施する場所・空間の条件の違いに左右される。
- ・ 実証実験の対象とした2か所の空間では、同日であっても風あたりの強さや歩行者量に大きな差があった。また、うち1か所は平日の歩行者交通量は一定程度あったものの、休日の歩行者交通量が少ないなど、立地環境（周辺土地利用、接道部の歩行者量など）の差が大きい。
- ・ 空間の効率的・効果的な利用のためには、これらデータの継続的な取得と空間の評価及び事前の情報提供が必要。
- ・ 新潟市都心部は、日本海に近く、市街地中央部に信濃川を有することから、冬期は積雪や強風の影響を受けやすい。（多くの所有者が不安視している）。
- ・ 上記のようなデータの取得・評価により、実施時期を限定することも検討する必要がある。
- ・ スペースの規模（面積や屋根の有無など）の物理的な条件だけでなく、その空間の視認性や接道の歩行者通行量や属性などの条件が重要と考えられる。
- ・ 運営者側は、それら条件を考慮し戦略性を持って提供する空間を選択する必要がある。取組実施スポットは一定の数量は必要であるものの、1カ所々々の質を重視すべきである。
- ・ また、ホストに対して、コンテンツに適した場所であるかどうかを自ら判断できるように、基礎的な情報を整理し、分かりやすく伝える環境を用意する必要がある。
- ・ 基礎的な情報には、空間で活用可能な施設・設備（トイレ、水道、電気など）や運営者側からの支援可能な内容（物品の貸与など）も含めて整理が必要である。

▼ホストに提供すると有効と考えられる情報（案）

No.	情報（案）	活用イメージ
1	前面道路の自動車交通量（平日・休日別、時間帯別など）	・ コンテンツ実施日・時間帯の検討 ・ PR の訴求力の比較
2	前面道路の歩行者交通量（同上）	・ コンテンツ実施日・時間帯の検討 ・ PR の訴求力の比較 ・ 来場者期待値の想定
3	周辺建物（１階部分）の用途	・ 相乗効果の検討 ・ 競合の回避
4	人口（昼間人口、夜間人口）	・ 来場者期待値の想定
5	主要な店舗・施設の情報	・ 来場者期待値の想定
6	駅やバス停、主要施設からの距離圏域	・ 来場者期待値の想定
7	活用空間からの 360° カメラ画像	・ 施設の詳細（舗装種別、段差の有無、電源や水道等の有無）の確認 【本年度実証】
8	電源、水道、トイレの有無	・ コンテンツの実施に際し、必要なものの確認

Q. 仮にコンテンツを実施する場合、懸念する事項としてどのようなものが想定されますか？

※複数回答可

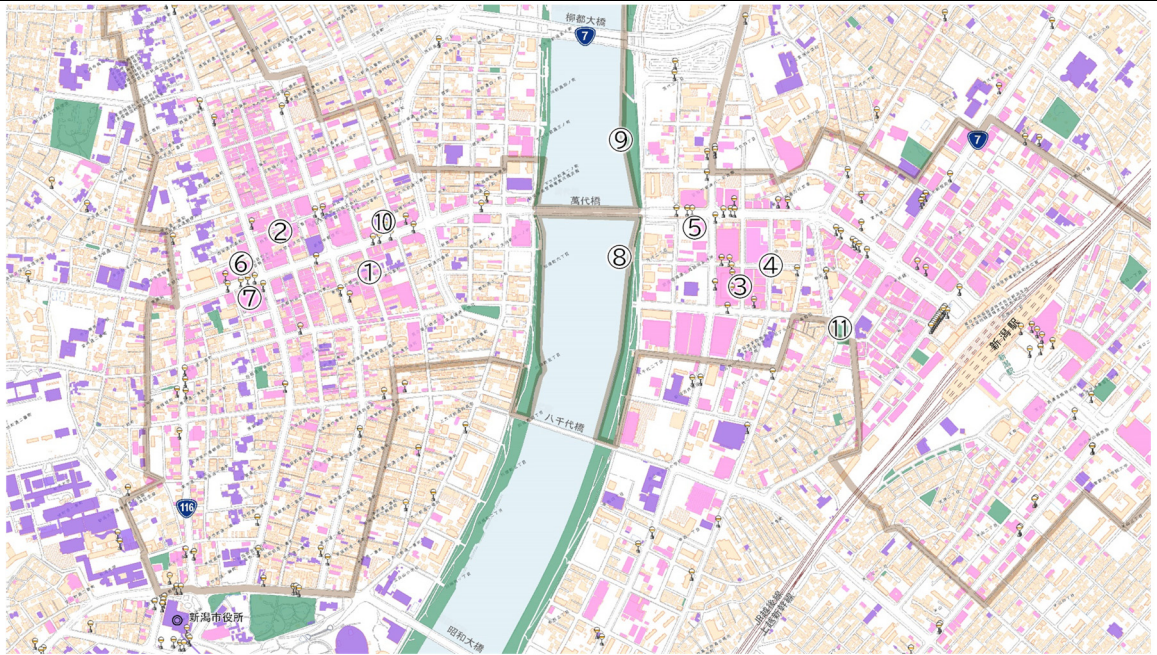


▲空間所有者が試行実施時に懸念する事項（荒天時での対応）

▼戦略的にターゲットとすべき空間の条件等

対象空間	戦略的にターゲットとすべき空間条件	具体的な候補場所※
(共通項)	・ 接道部交通量 ・ 視認性（周囲から目立つ場所） ・ ロケーション（周囲の眺め・景色） ・ 空間の利用条件が定まっていない場所	—
A. 道路	・ 空間活用を前提にルールが決められている場所 ・ 過去に空間活用事例がある場所 ・ 歩行者専用空間 ・ 歩行者利便増進道路指定区間	○ 本町商店街 ○ 古町7番町モール ○ 万代シテイ通り ○ 万代ガルベストーン通り
B. 公開空地	・ 規模の大きなオフィスなど（昼頃の入出）	○ コズミックス ○ NEXT21
C. その他民有地	・ 建替えまで一定期間要する建物敷地	○ 三越跡地
D. 河川	・ 既に一定期間の使用許可が得られている場所	○ ミズベリング ○ 万代テラス
E. 公園	・ 公園外から内部空間が視認しやすい場所 ・ 舗装部分があり、多用途に利用しやすい場所	○ 桤谷小路ゆうあい公園 ○ 弁天公園

※現時点で想定される具体的な対象空間名



①本町商店街



②古町⑦番町モール



③万代シテイ通り



④万代ガルベストーン通り



⑤コズミックス



⑥NEXT21



⑦三越跡地



⑧ミズベリング



⑨万代テラス



⑩桎谷小路ゆうあい公園



⑪弁天公園



出典)新潟県HP

▲ターゲットとすべき空間のイメージ

2) 今後の課題

上記の検証及び得られた成果・知見を踏まえて、今後の課題を以下に示した。

- ①コンテンツメニューの絞り込み
- ②運営体制の構築（ホストと空間所有者の間を調整・コーディネートできる運営者）
- ③実施スポットの絞り込み（戦略的にターゲットとすべき空間条件を備えた場所）
- ④個々のコンテンツ実施の可否判断の基準や方法の設定（コンテンツの賑わい創出や Will-Being への貢献度を考慮）

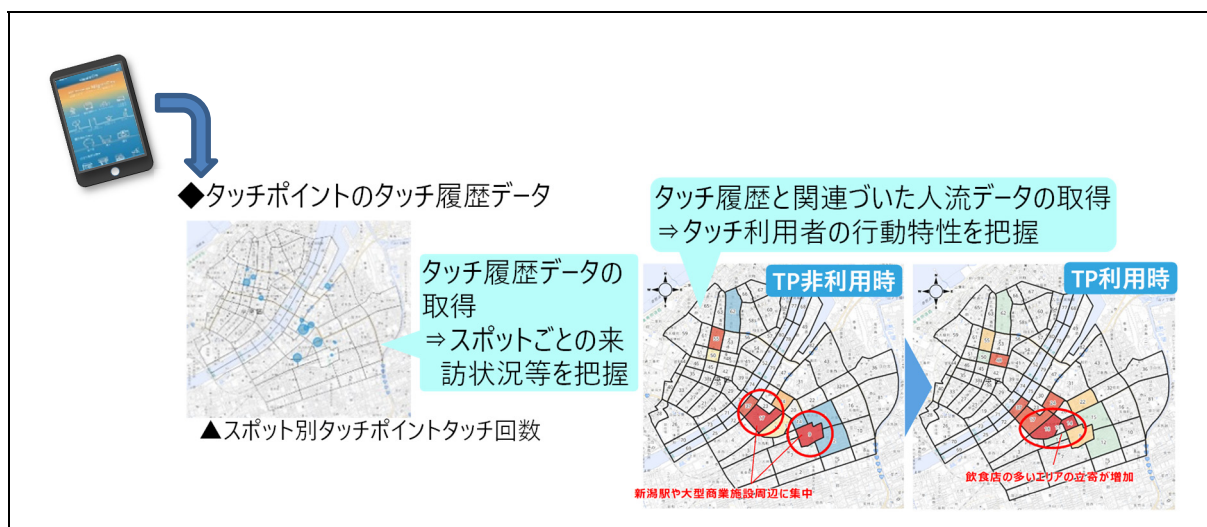
(4) スマート・プランニングによるまちづくりに有効な新たなデータを取得することができる【仮説4】

1) 仮説の検証及び得られた成果・知見

仮説4について、検証及び得られた成果・知見〔○：期待される成果、△：改善すべき成果〕を以下に列記する。

a. ゲストの行動データを収集し、スマート・プランニングに活用することは技術的に可能。〔○〕

- ・実証実験では、別途の施策で構築したツール「タッチポイント」と連携することにより、コンテンツに訪れたゲストの行動データを取得することが可能であることは確かめられた。
- ・具体的なサンプル数は限られているが、エリア滞在時間や立寄り箇所数・分布を取得できた。今後、コンスタントなコンテンツの実施および、統合アプリやタッチポイントの利用促進により取得データの拡大を図る（別途考察）。
- ・そのうえで、コンテンツ種別や時間帯の違いによる効果や影響を与える外部要因を分析し、スマート・プランニングに組み込み、事前シミュレーションにより効果的な活用スポットやコンテンツ実施方法について検討していく。



▲タッチポイントによるデータ取得・活用イメージ

b. 行動データの収集には統合アプリ等のデバイスツールの活用推進が必要。[△]

- ・大前提として、行動データを収集するには、ゲストに統合アプリをインストールしてもらう必要がある。
- ・その上で、タッチポイントのしくみを利用してもらうには、ゲストに対し様々なコンテンツの場において専用 QR コードの存在を常に気づいてもらうために、各空間における“共通の設え”が必要と考える。
- ・また、気づかせるだけでなく QR コードを読み込んでもらうための動機付け（インセンティブなどの仕掛け）が必要であり、統合アプリやタッチポイントの認知度や訴求力向上が望まれる。



現状は、認知度が低いため、
現地においてニキロモールス
スタッフがタッチポイントにつ
いて説明

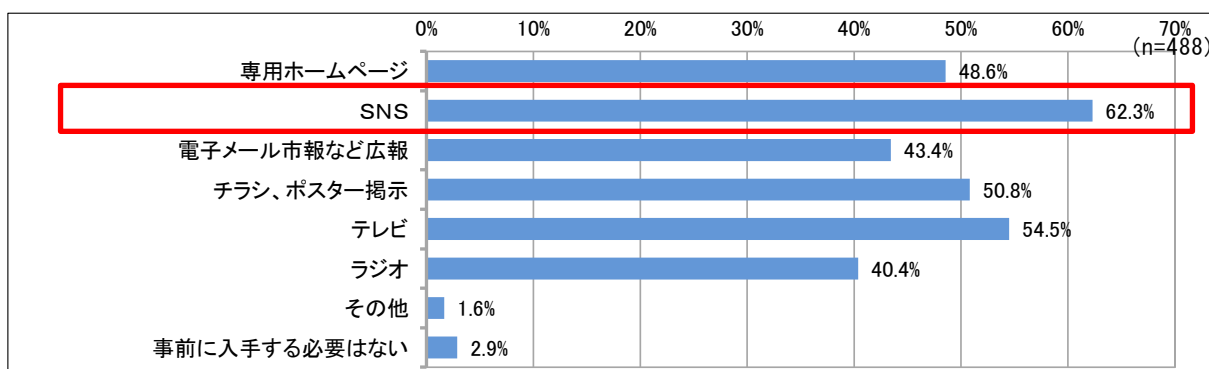
▲タッチポイント施策との連携

c. 一定量のデータを確保するためには、コンテンツの実施頻度とゲストの拡大が必要。

[△]

- ・データ提供者であるゲストを増やすためには、より魅力的なコンテンツを一定の頻度で実施していく必要があり、そのためにはホスト数の拡大が求められる。
- ・またゲストを増やすためには、ニキロモールの取組の認知度向上とともに、コンテンツ実施の情報提供の効果的な実施も必要である。
- ・行動データ取得のためデバイスツール（統合アプリ）について、例えばコンテンツ実施時に一定のエリア内に入ったら自動プッシュ通知されるなど、アプリの情報発信機能の強化も検討が必要である。
- ・ゲストの意向把握では、コンテンツ実施の情報を事前に入手するためのツールとして6割を超える方が「SNS」を選択しており、有効な活用方法の検討が必要である。
新潟市では市民全体の1割を超える登録者がいる「新潟市公式LINE」を有しており、都心部エリア「にいがた2km」のメニューも既に存在している。これらとの効果的な連携方法を検討・協議していく方向性が考えられる。

Q. こうした取組実施の情報を事前に入手する方法としてどれが望ましいと考えますか？



▲取組実施の情報を事前に入手する方法（市民）

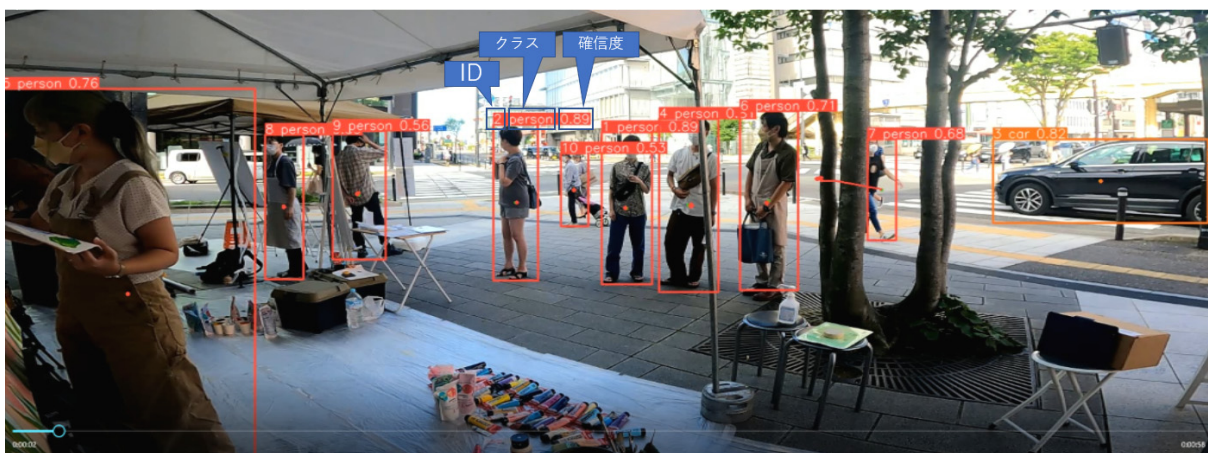
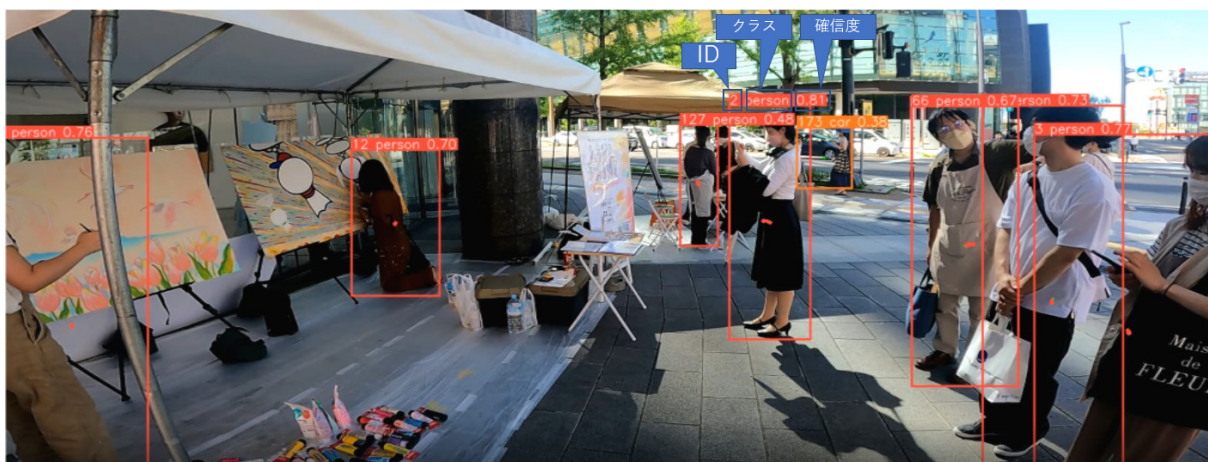
Q. この取り組みをより良いものにするため、改善すべき点・工夫すべき点がありますか？

- ・ホームページなどを見なくてもいいように、毎月日程を決めて、定期的に活動してほしい。
- ・まちにでると誰かが何かやっている状況になるとよい
- ・まずは分散せずにある程度集中して継続する
- ・この場所にはこういうコンテンツ。のようにある程度決まっていると、出掛けやすい
- ・近い場所で関連したコンテンツを出すとか、連携があったほうがよい

▲取組に対して改善すべき点・工夫すべき点[抜粋]（市民）

d. コンテンツを実施する場での新たなデータの取得が可能 [○]

- ・ホストへ提供する情報およびスマート・プランニングに資するデータ取得を想定し、実証実験のうち1箇所（コズミックス）において試験的に動画撮影と解析を実施した。
- ・ホストへの情報提供としては、ゲスト（コンテンツに参加した方）の人数や個人属性（年齢・性別など）、前面道路の歩行者交通量や個人属性など、コンテンツ実施中にその場所を活用した新たなデータの取得が想定され、そのデータを活用した実施コンテンツの評価・改善検討や箇所毎の実施コンテンツ内容種別の妥当性に関する検証などが期待される。実際に、コンテンツを実施したホストからは、「限られたスタッフで、参加者数をカウントすることは難しいが、実施したコンテンツの評価のためにもゲストの情報はほしい」「活用スポットが増えた状況を想定すると、活用スポット前の歩行者交通量や個人属性により、より効果が高められそうな場所や企画に対する向き・不向きを判断する材料になる」といった声があった。
- ・また、これらのデータは、スマート・プランニングの発展においては、統合アプリでの取得データから実数値への拡大係数としての活用可能性があり、複数箇所で取得することにより、精度向上を図ることが可能と考えられる。
- ・実現するためには、より有効な実施場所の選定とともに、極力簡易な計測方法の確立などが必要。
- ・また、運営者にとっては、コンテンツ実施時での現場管理作業の省力化を図るため、リアルタイムの現場確認が可能なツールとして活用ができると効果的である。



(テスト結果)

- ・歩行者、観客を大きく写すことで、AIで確実に認識（確信度が高い）。カメラをより高く設置し、広角で撮影すれば、良い認識結果を期待
- ・これにより、歩行者交通量やゲスト1人あたり滞在時間の計測が可能。（性別・年代等の属性の把握の可能性も検討したい。）

▲AIを活用したデータ取得のイメージ（試行実施時の撮影動画をもとに検証）

2) 今後の課題

上記の検証及び得られた成果・知見を踏まえて、今後の課題を以下に示した。

- ①ホスト数の拡大
- ②取組の効果的な PR の実施（認知度向上）
- ③実施スポットの絞り込み（データ取得を前提に有効な場所を選ぶ）
- ④統合アプリのサービス内容向上
- ⑤ニキロスポットで簡易にデータ収集するツールの開発（※現場管理も兼ねたツール）
- ⑥コンスタントなコンテンツの実施

(5) 来街者の数及び滞在時間が増加し、地域全体への経済的な波及効果が期待できる
【仮説 5】

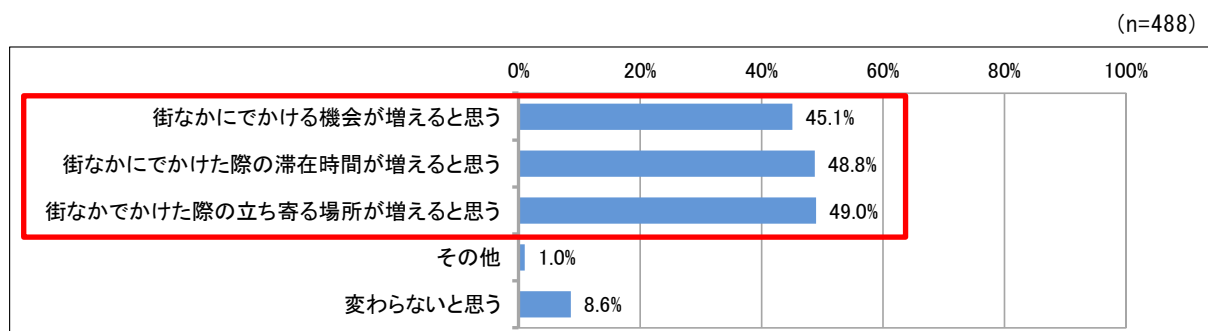
1) 仮説の検証及び得られた成果・知見

仮説 5 について、検証及び得られた成果・知見 [○：期待される成果、△：改善すべき成果] を以下に列記する。

a. コンテンツは内容により来訪時の立ち寄り先の 1 つになり、来街機会や滞在時間を増やす効果が期待できる。[○]

- ・試行実施では、約 30 分程度足を止めたゲストや、2 箇所の活用スポットの片方でコンテンツ実施を認知し、もう一方の活用スポットへ周遊したゲストも存在していた。
- ・ゲストの意向把握では、半数の回答者が街なかのいろいろな場所でいつも実施されている状況においては、「街なかでかけられる機会」、「でかけた際の滞在時間」、「でかけた際の立ち寄り場所」が増えると思うと回答しており、コンスタントに魅力的なコンテンツの実施ができれば、上記の効果は期待できると考えられる。
- ・実施空間の面積規模に余裕がある場合や接道の歩行者通行量などによるが、例えばゲストが腰かける椅子等の設置など、ニキロモールの活用スポット自体で滞在時間を増やすための環境づくりも検討する余地がある。

Q. コンテンツが街なかのいろいろな場所でいつも実施されている状況を想像してください。あなたの行動は変わりますか？ ※複数選択

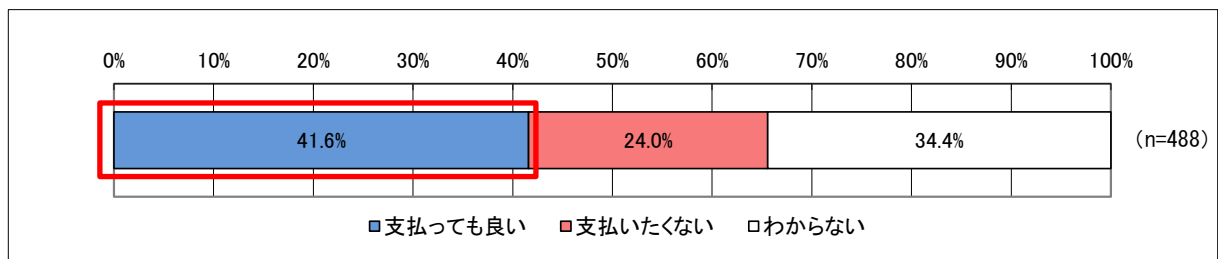


▲コンテンツ実施による行動変容の可能性（市民）

b. ゲストからの投げ銭による収入確保が期待できる。[○]

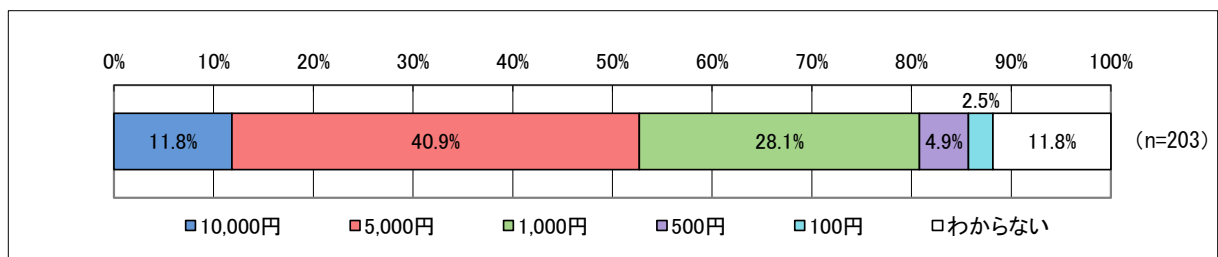
- ・ 3 か月に 1 回以上都心部に来訪する市民（新潟市民の 56%）は、42%が「投げ銭を支払っても良い」と回答。コンテンツの内容によっては、ゲストからの投げ銭による収入確保が期待できる
- ・ 「投げ銭を支払っても良い」と回答した人の金額の平均値は 1,100 円であり、魅力的なコンテンツの実施や、ゲストに抵抗感の抱かせず簡易に投げ銭を可能とする方法を実装することで、収入確保が期待できる。

Q. 気に入ったコンテンツの実施者に、“投げ銭”を支払っても良いと思いますか？



▲”投げ銭”の支払意思（市民）

Q. いくらまでなら払っても良いですか？（「支払っても良い」と答えた方）

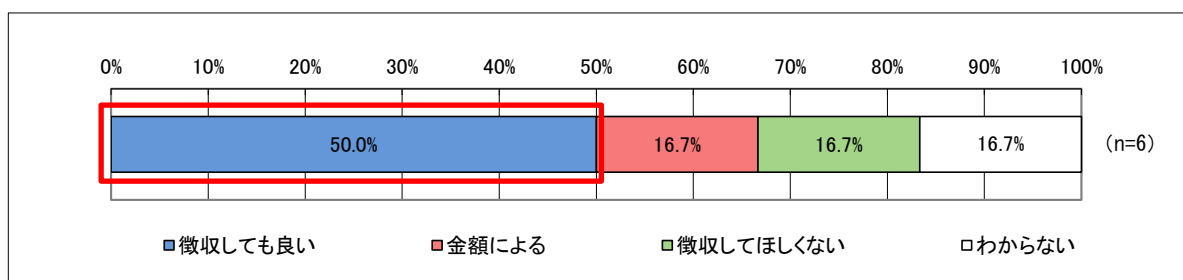


[平均支払意思額（支払いたくない、わからないはゼロとして単純平均）]

- ・ 全サンプル 309 円／賛同者のみ：463 円／金額選択者のみ：979 円

▲”投げ銭”の支払意思額（市民）

Q. 取組の運営資金の調達やホストへの報酬として、コンテンツを見に来たゲスト（一般市民）から“投げ銭”を徴収することについてどう思いますか？【お金の流れ：ゲスト⇒運営者・ホスト】



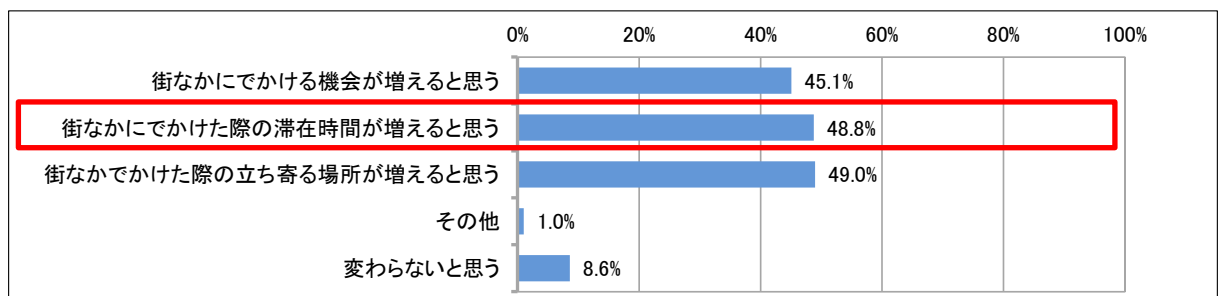
▲ゲストから”投げ銭”を徴収することに対する意向（空間所有者）

c. 空間の位置やコンテンツの種類に応じ、地域経済への波及効果が期待できる。[△]

- ・ゲストの意向把握ではゲストの意向把握では、半数の回答者が街なかのいろいろな場所でいつも実施されている状況においては、「街なかでかける機会」、「でかけた際の滞在時間」、「でかけた際の立ち寄り場所」の増加の可能性が認められた。
- ・ニキロモールで行うコンテンツ自体は、面積規模等の制約から消費行動を誘発する効果は期待できないが、街なかでの総滞在時間の延ばすことや、そこに足を運ばせることで、回遊性を高め、更なる消費行動を喚起する効果は期待できる。
- ・実施する場所、実施するコンテンツの種類について、周辺建物の用途や交通結節点等との位置関係も考慮し、戦略や意図をもった選定を行うことで効果を高める可能性がある。

Q. コンテンツが、街なかのいろいろな場所でいつも実施されている状況を想像してください。あなたの行動は変わるといいますか？ ※複数選択

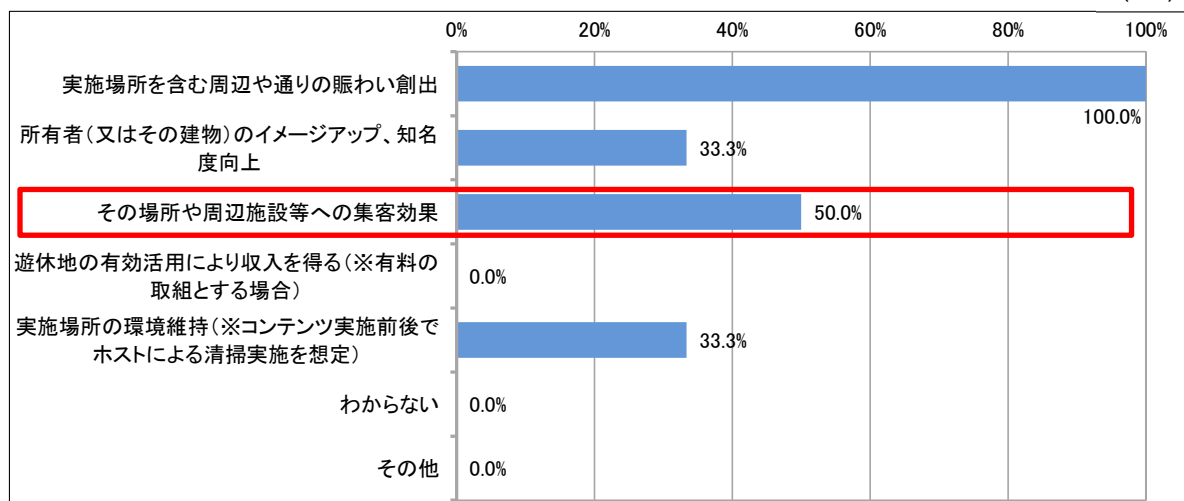
(n=488)



▲ゲストの行動変容の可能性 [滞在時間の延長] (市民)

Q. コンテンツの実施場所を提供することで、所有者としてどのような効果（メリット）があると思いますか？ ※複数回答可

(n=6)



▲集客効果に対する期待 (空間所有者)

d. 地域経済波及効果向上のため、取組自体の認知度やゲストが参加しやすい実施方法の工夫が必要。[△]

- ・ゲストが参加しやすい実施方法として、コンスタントなコンテンツの実施や複数のコンテンツの同時実施などが想定される。複数のコンテンツ同時実施は、今回の実証実験でも実施し、ホストもその効果を体感していた。
- ・ゲストアンケートや市民アンケートでも、「行けばいつでもなにかやっている」状況を期待する声も多く見られた。「活用スポットによりコンテンツの種別を限定する（ある程度決まっている）ことで、出かけやすくなる」といったゲストの参加しやすい実施方法への意見もあり、今後検討が必要である。

○新潟まちづくりライブペイント [単独実施]



「新潟まちづくりライブペイント」は、単独実施でも一定のゲスト参加を確保

○新潟まちづくりライブペイント×まなぼ〜れ☆防災 in ニキロモール
[複数同時実施]

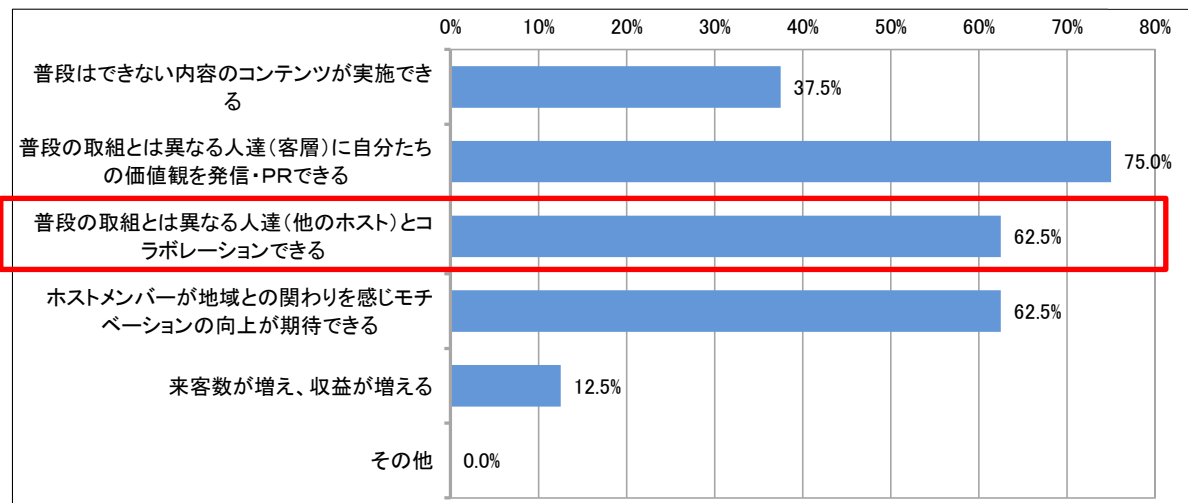


「まなぼ〜れ☆防災 in ニキロモール」は、ゲスト参加に不安を持っていたが、「新潟まちづくりライブペイント」の参加ゲストを誘引するなどし、期待値以上の来客を確保

▲複数のコンテンツ実施による効果の例（試行実施）

Q. 自分たちにとっての効果として、期待できるものをすべて選んでください。

(n=8)



▲複数コンテンツの同時実施の可能性（ホスト）

Q. この取り組みをより良いものにするため、改善すべき点・工夫すべき点がありますか？

- ・まちにでると誰かが何かやっている状況になるとよい
- ・ホームページなどを見なくてもいいように、毎月日程を決めて、定期的に活動してほしい
- ・コンセプトが街の空間に上手く調和していること
- ・この場所にはこういうコンテンツ。のようにある程度決まっていると、出掛けやすい
- ・成功させるにはリーダーが必要
- ・潜在するニーズを分析する事。一方で規制を緩和する事が必要
- ・行政が責任を持つ、補助金を出す、地域の一般企業も協力する

▲取組に対して改善すべき点・工夫すべき点[抜粋]（市民）

連携相手			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	連携実施 しやすさ	
			飲食店	購買（飲 食物あり）	購買（飲 食物なし）	広報・啓 発活動	コミュニ ティス ペース	サービス 提供	作品・広 告展示	ライブ・ パフォー マンス	物品等の 貸し出し	ワーク ショップ		
1	飲食店	オープンカフェ、キッチン カー、屋台など	○	○	○	○	○			○			6	◎
2	購買（飲食物あり）	食品販売、農水産物直売など	○	○	○								3	○
3	購買（飲食物なし）	フリーマーケット、物産展示即 売会など	○	○	○								3	○
4	広報・啓発活動	観光交流イベント、環境フェ ア、福祉フェア、交通安全運動 など	○			-	○		○			○	4	○
5	コミュニティスペース	休憩・待ち合せスペースなど	○			○	-		○	○	○	○	6	◎
6	サービス提供	文化教室、スポーツ教室、エク ササイズ						-				○	1	△
7	作品・広告展示	美術展覧会、アートイベント、 児童・学生作品展示 など				○	○		○			○	4	○
8	ライブ・パフォーマンス	大道芸、演奏ライブ、ファッ ションショー など	○				○			-	○		3	○
9	物品等の貸し出し	自転車等の貸し出し、物品の貸 し出し					○			○	-		2	△
10	ワークショップ					○	○	○	○				4	○

○：連携実施が想定できる関係、-：ほぼ想定できない関係

▲相乗効果が考えられるコンテンツの連携実施の組み合わせ（案）

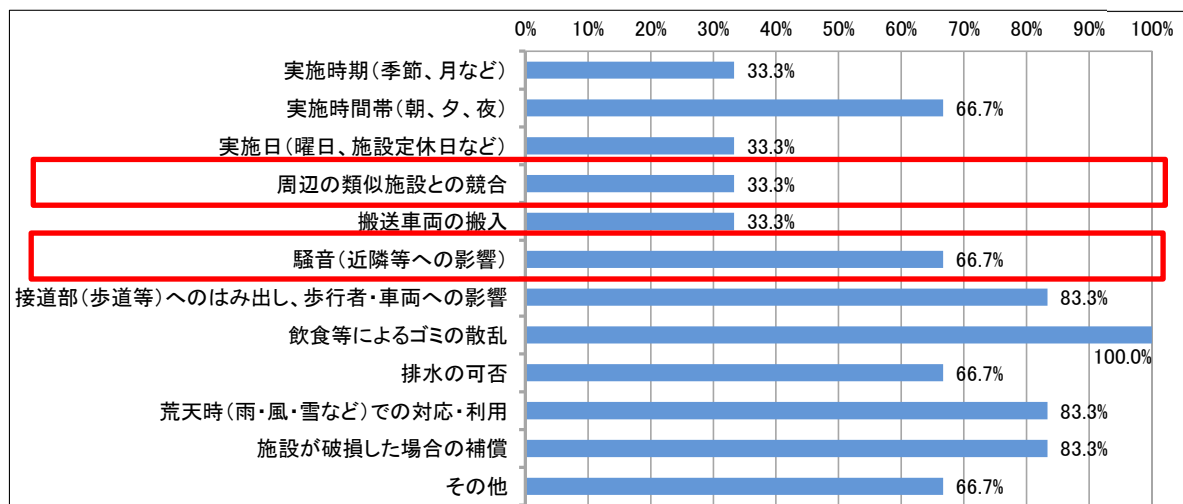
e. 実施スポット周辺の既存施設と競合するコンテンツの選択実施は、所有者側が敬遠する可能性が高い。[△]

- ・対象とした空間の所有者から、隣接する商店街の同業種の事業者がコンテンツを実施する場合は、商店街と協議することを求められた。結果として同業種ではなかったが、実施内容の事前報告を事務局（運営者）側で実施している。
- ・既存施設と競合するコンテンツの実施は、地域からの賛同を得られないことも想定される。
- ・同業であったとしても、競合ではなく相乗効果が考えられるものにコンテンツの種別（ライブ・パフォーマンスや作品展示、広報・啓発活動など）を限定することや、飲食・購買については地域の事業者や地域に縁がある個人に限定することで、地域の合意・協力が得やすいと考える。

Q. 仮にコンテンツを実施する場合、懸念する事項としてどのようなものが想定されますか？

※複数回答可

(n=6)



▲空間所有者が試行実施時に懸念する事項（周辺施設との競合、騒音）

2) 今後の課題

上記の検証及び得られた成果・知見を踏まえて、今後の課題を以下に示した。

- ①ホスト数の拡大
- ②取組の効果的な PR の実施（ゲストの認知度向上）
- ③実施スポットの絞り込み（1 つの場所では実施頻度を高める）
- ④コンスタントなコンテンツの実施（本格運用するための実施方法・スケジュールの検討※開催日の絞り込みなどメリハリのある実施）
- ⑤運営資金調達方法の確立（費用負担[有料化検討]、資金調達方法の具体化[マネタイズ]、管理方法など）

6-2 全体とりまとめ

(1) 成果及び今後の課題

6-1 で整理した成果について、一覧で整理した。

▼成果及び今後の課題（まとめ）

仮 説	検証及び得られた成果		今後の課題
	期待される成果[○]	改善すべき成果[△]	
(1) 公民にかかわらず多様な主体が所有する空間を包括的にまとめ、その活用を促す仕組みを構築することができる	a. ホスト・所有者・ゲストの各主体において、一定の割合（約 80%以上）で取組への理解と賛同は得られる b. 想定したしくみでの取組が実施できることを試行により実証	c. ホスト申請から実施に至るまで、所有者とホストとの間の調整対応が必要 d. 道路空間の利用申請は、責任者の不一致により現状では実施困難。 e. コンテンツの種類や空間規模、接道部との関係性などにより、交通管理者の許可が必要。	①空間利用手続きに係る規制緩和等も見据えた制度設計 ②実施スポットの絞り込み（むやみに箇所数を拡大しない）* ③運営資金調達方法の確立（費用負担[有料化検討]、資金調達方法の具体化[マネタイズ]、管理方法など）*
(2) 空間の活用手続きを一元化することで、所有者の事務作業の省力化や維持管理にかかる負担軽減につながる	a. プラットフォームの活用により空間活用の手続きの一元化が可能であることを実証 b. 地域の関係者への配慮や公益性・安全性を含め、運営者が審査・調整する仕組みにより事務作業の省力化につながる。	c. 空間の維持管理の負担軽減効果は認められない。	①運用の効率化（運営者側の負担軽減方策） ②安全管理のためのルール、条件設定（警察の許可、イベント保険加入等） ③コンテンツメニューの絞り込み*
(3) これまで使われていなかった空間の活用により、従来のコンテンツの高度化や新たなコンテンツの創造につながる	a. まちなか空間の活用により、新たな発見や創造など、コンテンツの高度化を見込むことができる。	b. 街なかの活性化や賑わい創出に貢献できる運営者の素養が必要。 c. コンテンツの高度化や創造は、空間のロケーションや使用条件等に左右される	①コンテンツメニューの絞り込み* ②運営体制の構築（ホストと空間所有者の間を調整・コーディネートできる運営者） ③実施スポットの絞り込み（戦略的にターゲットとすべき空間条件を備えた場所）* ④個々のコンテンツ実施の可否判断の基準や方法の設定（コンテンツの賑わい創出や Will-Being への貢献度を考慮）
(4) スマート・プランニングによるまちづくりに有効な新たなデータを取得することができる	a. ゲストの行動データを収集し、スマート・プランニングに活用することは技術的に可能。 d. コンテンツを実施する場での新たなデータの取得が可能	b. 行動データの収集には統合アプリ等のデバイスツールの活用推進が必要。 c. 一定量のデータを確保するためには、コンテンツの実施頻度とゲストの拡大が必要	①ホスト数の拡大* ②取組の効果的な PR の実施（ゲストの認知度向上）* ③実施スポットの絞り込み（データ取得を前提に有効な場所を選ぶ）* ④統合アプリのサービス内容向上 ⑤ニキロスポットで簡易にデータ収集するツールの開発（※現場管理も兼ねたツール） ⑥コンスタントなコンテンツの実施*
(5) 来街者の数及び滞在時間が増加し、地域全体への経済的な波及効果が期待できる	a. コンテンツは内容により来訪時の立ち寄り先の 1 つになり、来街機会や滞在時間を増やす効果が期待できる。 b. ゲストからの投げ銭による収入確保が期待できる。 c. 空間の位置やコンテンツの種類に応じ、地域経済への波及効果が期待できる。	d. 地域経済波及効果向上のため、取組自体の認知度やゲストが参加しやすい実施方法の工夫が必要 e. 実施スポット周辺の既存施設と競合するコンテンツの選択実施は、所有者側が敬遠する可能性が高い。	①ホスト数の拡大* ②取組の効果的な PR の実施（認知度向上）* ③実施スポットの絞り込み（1 つの場所で実施頻度を高める）* ④コンスタントなコンテンツの実施* ⑤運営資金調達方法の確立（費用負担[有料化検討]、資金調達方法の具体化[マネタイズ]、管理方法など）*

*：各仮説で重複する課題

(2) 社会実装に向けた対応

今回の調査成果をふまえ、ニキロモール（空間活用の取組）を社会実装するために必要な対応案を整理した。

1) 当面目指すサービスのイメージ

今回の調査成果をふまえ、今後、取組を継続実施する際の配慮事項を整理した。

▼継続実施に向けた配慮事項

項目	配慮事項（改善事項など）
【1】コンテンツ	・対象とするコンテンツは、以下に限定。※次頁表参照 ①飲食店／②コミュニティスペース／③作品・広告展示／ ④ライブパフォーマンス
【2】対象空間	[空間の種類] ①民有地（公開空地など）、②公園、③河川（使用許可済み箇所）、 ④道路（歩行者利便増進道路指定箇所） [箇所数] ※運営側の負担も考慮する。 10 箇所程度 [選定条件(原則)] ※所有者の意向だけで判断しない。 ①歩行者動線や歩行者が滞留する場所に至近であること ②周辺道路からの視認性が高いこと ③接道部から奥行きが概ね 6m 以上確保できること（道路への影響を配慮）
【3】実施時期・方法	・年間計画を定め、あらかじめ実施日を指定。 ・5 月～11 月を実施期間 ・ひと月に 1 回以上、週末の 3 日間を対象。
【4】手順	・プラットフォームによる申請受付、確認協議。※原則として現在と同じ ・ホストと所有者間での個別調整は、原則運営者が対応

▼今後、取組で対象とすべきコンテンツ（絞り込み）

コンテンツの種類			ニーズ※				連携の 可能性	実施スパー ス	想定されるリスク					対象候補	
No	項目名	主な内容	市民		空間所有者				ごみ発生	騒音	周辺施設 との競合	歩道への 影響		候補	考慮するポイント
1	飲食店	オープンカフェ、キッチン カー、屋台など	82.2%	1位	50.0%		◎	○	▲	▲	▲		△	◎	・省スペースで対応できる店 ・軽食や飲み物限定など
2	購買（飲食物あり）	食品販売、農水産物直売など	61.3%	3位	50.0%		○				▲	▲	△		
3	購買（飲食物なし）	フリーマーケット、物産展示即 売会など	47.5%	4位	66.7%	1位	○					▲	○	○	・1～2団体程度で規模を抑える ・列をつくらないもの
4	広報・啓発活動	観光交流イベント、環境フェ ア、福祉フェア、交通安全運動 など	29.1%		66.7%	1位	○					▲	○	○	・サテライト的な活用（別にメイ ン会場がある形）
5	コミュニティスペース	休憩・待ち合せスペースなど	43.4%	5位	66.7%	1位	◎	○					◎	◎	・ベンチやソファの設置など。 ・空間の設えに工夫
6	サービス提供	文化教室、スポーツ教室、エク ササイズ	18.9%		33.3%		△			▲		▲	△		
7	作品・広告展示	美術展覧会、アートイベント、 児童・学生作品展示 など	40.4%		66.7%	1位	○	○					◎	◎	・その場での作品制作、参加体験 型など
8	ライブ・パフォーマンス	大道芸、演奏ライブ、ファッ ションショー など	65.2%	2位	33.3%		○	○		▲		▲	△	◎	・小人数でのパフォーマンス ・楽器や鳴り物は極力控えたもの
9	物品等の貸し出し	自転車等の貸し出し、物品の貸 し出し	27.3%		50.0%		△						◎		
10	ワークショップ		16.0%		50.0%		○	○					◎		・需要の確認が必要
備 考			アンケート結果より				多様な連携が 可能であるか	小規模なス ペースでも実 施できるか	▲が「なし：◎、1つ：○、2つ以上：△」						

2) 今後取り組むべき事項

今回の調査成果をふまえ、取組の社会実装に向けて、今後取り組むべき事項を以下に整理した。引き続き、技術的な検証を行う必要がある。

▼今後、取り組むべき事項

項目	内 容
①データ収集	○実施スポット(コンテンツを実施する場所)で有益なデータを収集できるかく検証> ・参加したゲストの人数、属性、行動（滞在時間） ・ゲストのエリア内行動データ ・前面道路の交通量（歩行者・自転車・自動車）
②データ提供	○ホストにとって有効なデータを提供できるか 【ホスト向け】 ・既存データの活用 ※行政資料、オープンデータなど ・上記の収集データ ・見える化（ダッシュボード作成）
③スポット選定	○戦略的な実施スポットの選定 【ホスト・所有者向け】 ・既存データからの分析 ・ビックデータからの分析 ・空間管理者、所有者の意向聴取 ・魅力の見える化 ※実現可能性の高い場所を絞り込んだうえで検討
④運用ルール・設え	○効率的かつ安全な運用方法・ルール・設え 【ホスト・所有者・その他管理者向け】 ・非対面での協議実施方法、ツール ・協議経過の見える化、関係者間での共有 ・実施可否判断の方法（公益性、公平性、客観性など） ※プロジェクトマネージャーの設置も検討 ・責任所在の明確化、保険加入など ・活用スポットでの安全管理、設え、貸与物
⑤PR 方法	○効果的な PR 方法の確立 【ゲスト・ホスト向け】 ・プラットフォームでの PR 機能強化 ・既存ツールとの連携、活用 ・実施スポット（空間内）での設え
⑥ホスト数	○登録ホスト数の拡大 【ホスト向け】 ・登録する価値の整理、見える化 ※プレゼン方法 ・運営者の信頼性向上（実施体制確立、協議過程の透明性）

項目	内 容
	※プロジェクトマネージャーの設置も検討 ・出来ること・出来ないこと、支援内容の明確化（コンテンツの実施イメージ） ・効果的な募集活動、協力体制 ・情報提供の方法、頻度（定期的な情報配信）
⑦マネタイズ・地域波及効果	○実際に収益を得ることができるか　＜検証＞ ・ゲストからの収益（投げ銭） ・ホストからの収益（利用料金） ・賛同者（エリア内企業、市民等）からの収益（寄付等） ・行政からの支援金（補助金） ○その他便益・価値の算定　＜検証＞ ・定量的指標（交通量、滞在時間など） ・well-being（ウェルビーイング）指標 ・地域経済波及効果（売上げ、来客数）

(2) ゲストの挙動を数値化するツール

・コンテンツ実施場所（スポット）に訪れたゲストの行動を把握するためのデータ取得方法及びツールを開発する。

①取得したいデータ

- ・スポットへの立ち寄り人数、立ち寄り時間、立ち寄り者の属性(性別・年齢)など。
- ・スポットから視認できる前面道路の歩行者交通量・自動車交通量など

②コンテンツ実施を促すための情報提供

- ・ホストがコンテンツを実施する場所を選択する際の判断材料にする。
- ・データをダッシュボード等で見える化することで活用を促す。

③都市基盤データとして蓄積

- ・取得したデータは、本取組だけでなくスマートシティ協議会の取組全体に活用。
- ・特にスマート・プランニングによる行動予測分析への活用を想定。

(3) 3D コンテンツ

・コンテンツ実施場所の情報を、3D 都市空間データとして情報提供する。

①仮想空間での PR 活動

- ・ホストがリアル空間で実施したコンテンツをデジタル空間において提供する

②コンテンツ実施を促すための情報提供

- ・ホストがコンテンツを実施する場所を選択する際の判断材料として活用する。

7-2 施設・設備の設置、管理、運用に係る留意点など

7-1 で提案した施設、設備について、その設置・管理・運用に係る留意点を以下に整理する。

(1) ゲストの行動データを取得するしくみ

1) 設置

- ・データ取得デバイスは、タッチポイントの取組において作成した専用の QR コードを想定する。
- ・各コンテンツ実施場所（実施スポット）に、ユニークな QR コードを設置し、統合アプリを用いて読み込むことで利用者のタッチ履歴データを取得する。あわせて、タッチ履歴データと関連づいた人流データを取得することで、利用者の行動特性の把握を可能とする。

2) 管理・運用

- ・タッチポイントについては、対象とするエリア全体において面的に管理ができる主体が必要であり、本スマートシティにおいて将来的に設置予定のスマートシティ運営法人が候補として挙げられる。加えて、現在、新潟市都心部において新たなエリアマネジメントのしくみづくりが進められており、これらとの連携の可能性を検討する。

(2) ゲストの挙動を数値化するツール

1) 設置

- ・各コンテンツ実施場所（スポット）において、動画撮影カメラを設置する。
- ・データの取得は、コンテンツを実施期間中に行う。撮影カメラとカメラを取り付けるための三脚などを用意する。
- ・AI による計測分析を想定し、できるだけ視認がしやすいアングルからの撮影とする。ゲスト（対象物）が、人同士や車などと重なり合って追跡ができなくなる場合を想定し、高いポールを設置しカメラを頂端に取り付けて俯瞰撮影する。
- ・撮影用の機材は、運営者（スマートシティ協議会等）が用意する。

2) 管理・運用

- ・コンテンツ実施場所（スポット）での動画撮影は、運営者が基本的に実施するが、コンテンツを実施するホストも機器類の管理を依頼する。
- ・取得したデータの分析・数値化は、運営者（スマートシティ協議会等）が行うが、その作業の省力化や効率化を図るため、より簡易で安価な方法の提案が求められる

3) 地域特性にあわせた提案

- ・新潟市スマートシティ協議会には、AI 等の ICT 技術に明るい企業等も構成員として参画している。
- ・ツール開発については、新潟市スマートシティ協議会のワーキングの 1 つである「都心の魅力創出ワーキング」において、構成員等と情報共有を図りながら具体的な方法を検討する。

(3) 3D コンテンツとしての活用

1) 設置

- ・現在、新潟市が構築を進めている 3D 都市空間データを活用するものとする。
- ・従って、スマートシティ協議会としては、新潟市のフォーマットに合わせた 3D コンテンツ用データを作製し、新潟市へ提供する。

2) 管理・運用

- ・設置の場合と同様、3D 都市空間において整備を行う場合は、管理者（新潟市）との合意形成を必要とする。

3) 地域特性にあわせた提案

- ・新潟市は、国土交通省が進める 3D 都市モデル整備・活用・オープンデータ化プロジェクト (PLATEAU) のモデル都市となっている。
- ・現在、新潟市では、現実空間と仮想空間を繋ぐ XR プラットフォームを通じて、さまざまな業界・業種の事業者や団体、クリエイターが XR を活用し、それぞれの技術や強みを生かしながら、新たな価値を創造できる環境づくりを進めていることから、この XR プラットフォームとの連携も検討する。

早期実装にむけた先進的技術やデータを活用した
スマートシティの実証調査(その8)
調査報告書

令和4年9月

国土交通省 都市局

新潟市スマートシティ協議会